

葛飾区 若者・子育て・現役世代アンケート調査報告書

令和4年10月

葛飾区 都市整備部 都市計画課

目次

1. 調査の目的・概要	1
2. 単純集計.....	2
3. クロス集計.....	17
3-1. 年齢別のクロス集計.....	17
3-2. 居住地域別のクロス集計	37
3-3. 子育て世帯に関するクロス集計.....	57
4. 参考資料.....	79
4-1. アンケート依頼文・調査票	79
4-2. 自由記入欄の整理.....	95

1. 調査の目的・概要

次のとおり、アンケート調査を実施した。

目的	葛飾区都市計画マスタープラン（平成 23 年 7 月）の改定に向けて、区内在住の若者・子育て世代・現役世代（20 代～50 代）を対象に、葛飾区に対する認識や意向を調査し、まちづくり方針等の再構成に係る根拠データとして活用することを目的とする。
調査方法	WEB アンケート（民間調査会社登録モニターに対するオンライン調査）
調査機関	楽天インサイト株式会社
調査時期	令和 4 年 7 月 1 日～6 日
対象者	区内在住の 15 歳～59 歳の登録モニター
回収数	1,000 名（目標に対する回収率 100%）
調査内容	<ul style="list-style-type: none">・回答者の基本属性・将来にわたって残したい葛飾らしさ・まちづくりの目標で重要と思うもの・理想像、豊かな水や緑を保全するエリア、高台化など浸水対応を促進するエリアについてどう思うか・各分野において特に重要と思う取組み・各地域の将来像と特に重要と思う取組み
備考	回答者は、葛飾区の youtube チャンネルにアップロードした「葛飾区都市計画マスタープラン」の動画（15 分程度）を視聴してから設問に回答

2. 単純集計

アンケートの単純集計結果は、次のとおりである。

■ 回答者の性別

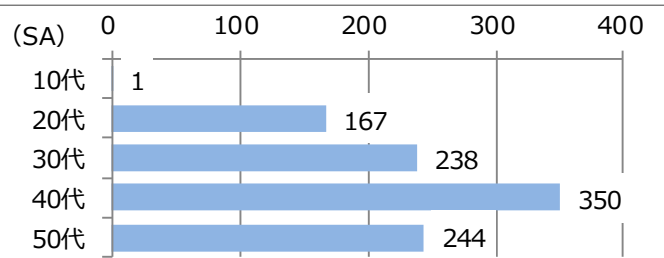
選択肢	人数	割合
男性	500	50.0%
女性	500	50.0%
回答者合計	1,000	100.0%



○「男性」「女性」ともに50.0%ずつとなっている。

■ 回答者の年齢

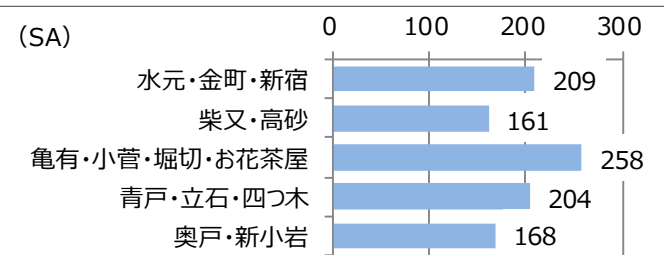
選択肢	人数	割合
10代	1	0.1%
20代	167	16.7%
30代	238	23.8%
40代	350	35.0%
50代	244	24.4%
回答者合計	1,000	100.0%



○「40代」が350件(35.0%)と最も多く、次いで「50代」が244件(24.4%)、「30代」が238件(23.8%)となっている。

■ 回答者の居住地

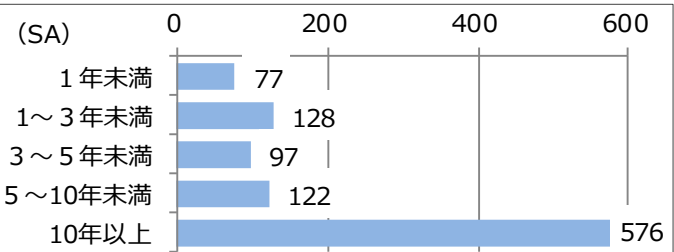
選択肢	人数	割合
水元・金町・新宿	209	20.9%
柴又・高砂	161	16.1%
亀有・小菅・堀切・お花茶屋	258	25.8%
青戸・立石・四つ木	204	20.4%
奥戸・新小岩	168	16.8%
合計	1,000	100.0%



○「亀有・小菅・堀切・お花茶屋」地域が258件(25.8%)と最も多く、次いで「水元・金町・新宿」地域が209件(20.9%)、「青戸・立石・四つ木」地域が204件(20.4%)となっている。

問 1 回答者の居住年数（1つ選択）

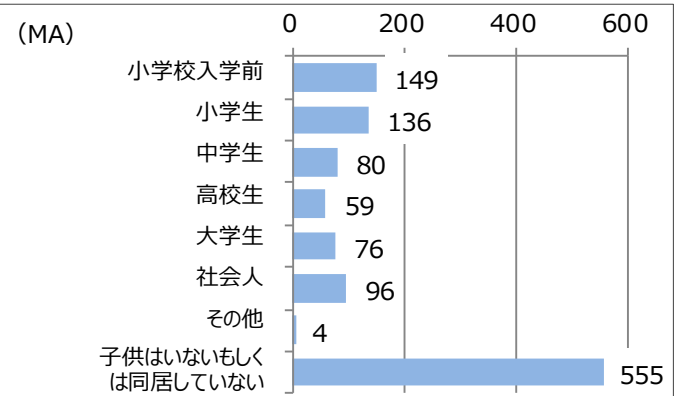
選択肢	人数	割合
1年未満	77	7.7%
1～3年未満	128	12.8%
3～5年未満	97	9.7%
5～10年未満	122	12.2%
10年以上	576	57.6%
合計	1,000	100.0%



○「10年以上」が576件(57.6%)と最も多く、次いで「1～3年未満」が128件(12.8%)、「5～10年未満」が122件(12.2%)となっている。

問 2 同居している子ども（当てはまるものすべて選択）

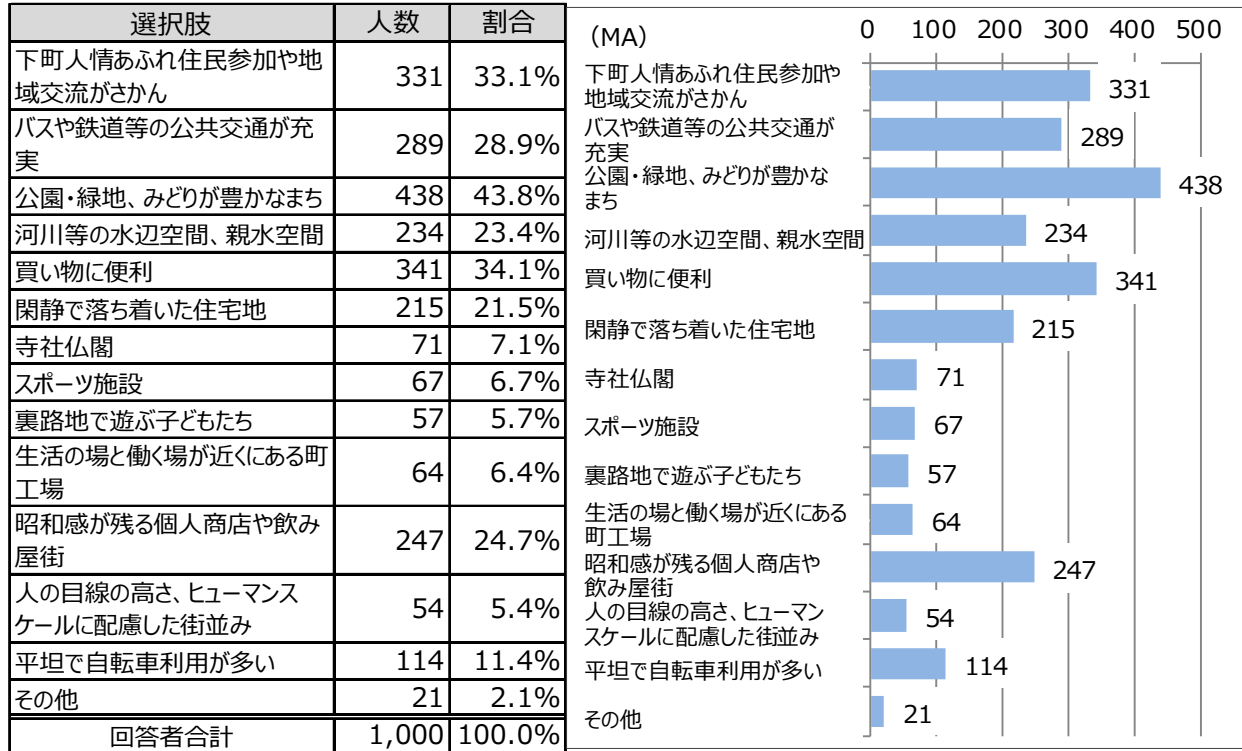
選択肢	人数	割合
小学校入学前	149	14.9%
小学生	136	13.6%
中学生	80	8.0%
高校生	59	5.9%
大学生	76	7.6%
社会人	96	9.6%
その他	4	0.4%
子供はいないもしくは同居していない	555	55.5%
回答者合計	1,000	100.0%



○「子供はいないもしくは同居していない」が555件(55.5%)と最も多く、次いで「小学校入学前」が149件(14.9%)、「小学生」が136件(13.6%)となっている。
 ○「その他」の内訳は、「浪人生」が1件(0.1%)、「主婦」が1件(0.1%)、「フリーター」が1件(0.1%)、「専門学校生」が1件(0.1%)となっている。

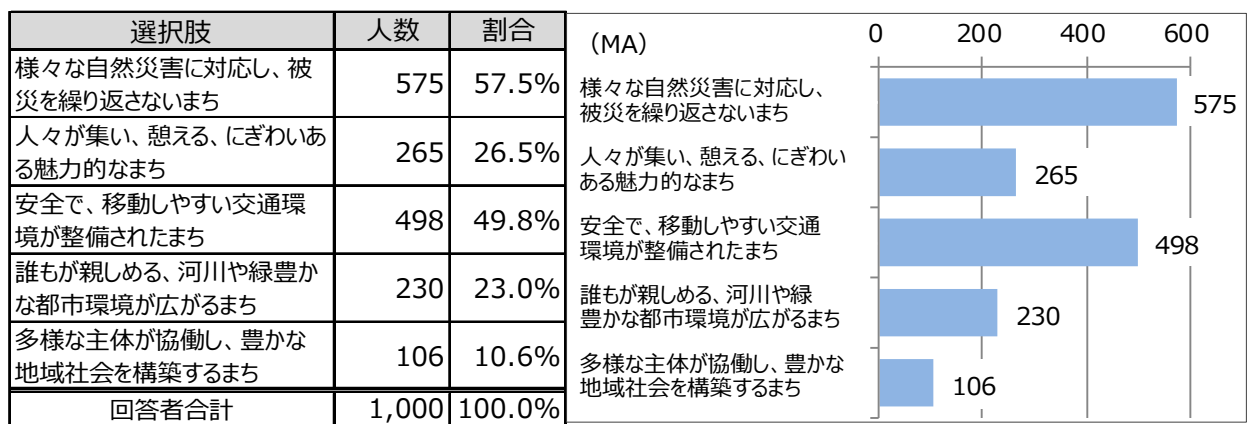
なお、本設問は、当てはまるものをすべて選択するため、各選択肢の人数の合計と回答者合計は一致しない。同居している子どものうち小学校入学前から高校生までの子どもを選択し、大学生、社会人、その他を選択していない回答者を子育て世帯として、p.57にクロス集計結果を整理した。

問3 将来にわたって残したい葛飾らしさ（3つまで選択）



- 「公園・緑地、みどりが豊かなまち」が 438 件 (43.8%) と最も多く、次いで「買い物に便利」が 341 件 (34.1%)、「下町人情あふれ住民参加や地域交流がさかん」が 331 件 (33.1%) となっている。
- 「その他」の内訳は、「特になし」が 14 件 (1.4%)、「下品な人間」が 1 件 (0.1%)、「安心安全な地区」が 1 件 (0.1%)、「物価が安い」が 1 件 (0.1%)、「庶民的な物の価格」が 1 件 (0.1%)、「安い」が 1 件 (0.1%)、「IT 設備の拡充」が 1 件 (0.1%)、「図書など文化面の充実」が 1 件 (0.1%)、となっている。

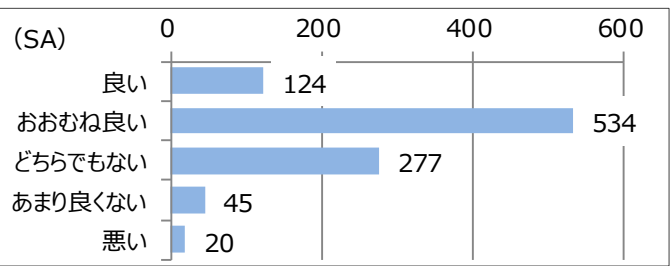
問4 まちづくりの目標で重要と思うもの（2つまで選択）



- 「様々な自然災害に対応し、被災を繰り返さないまち」が 575 件 (57.5%) と最も多く、次いで「安全で、移動しやすい交通環境が整備されたまち」が 498 件 (49.8%) となっている。

問 5 50年程度先のまちの姿を描いた理想像（1つ選択）

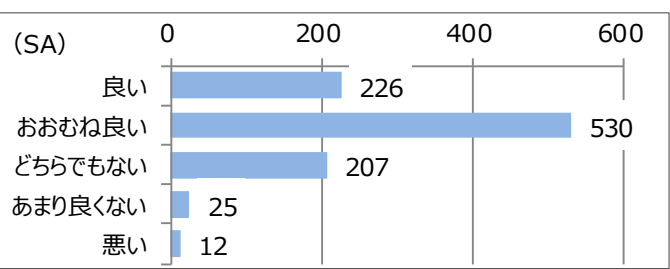
選択肢	人数	割合
良い	124	12.4%
おおむね良い	534	53.4%
どちらでもない	277	27.7%
あまり良くない	45	4.5%
悪い	20	2.0%
回答者合計	1,000	100.0%



○「おおむね良い」が534件（53.4%）と最も多く、次いで「どちらでもない」が277件（27.7%）となっている。

問 6 地域構造の「豊かな水や緑を保全するエリア」において、低層・低密度で緑豊かなゆとりある住宅地や農地を保全していくことについて（1つ選択）

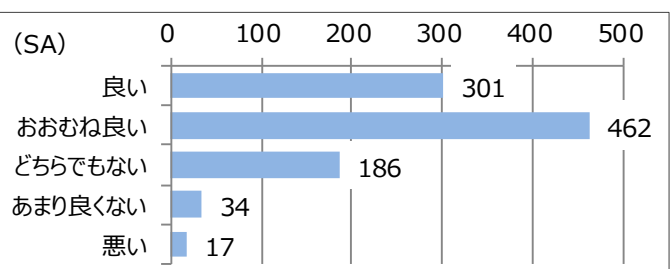
選択肢	人数	割合
良い	226	22.6%
おおむね良い	530	53.0%
どちらでもない	207	20.7%
あまり良くない	25	2.5%
悪い	12	1.2%
回答者合計	1,000	100.0%



○「おおむね良い」が530件（53.0%）と最も多く、次いで「良い」が226件（22.6%）、「どちらでもない」が207件（20.7%）となっている。

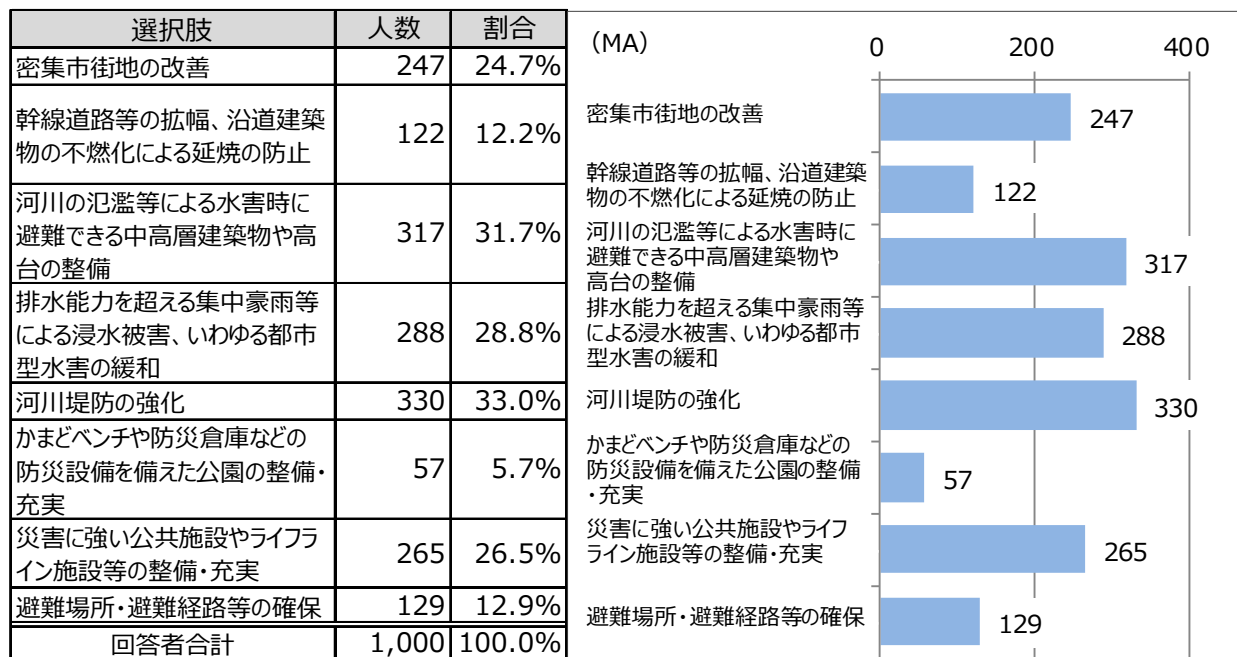
問 7 地域構造の「高台化など浸水対応を促進するエリア」において、自宅などの建物を建替える際、洪水時に2・3階へ避難できるなど、浸水に対応した建物にすることについて（1つ選択）

選択肢	人数	割合
良い	301	30.1%
おおむね良い	462	46.2%
どちらでもない	186	18.6%
あまり良くない	34	3.4%
悪い	17	1.7%
回答者合計	1,000	100.0%



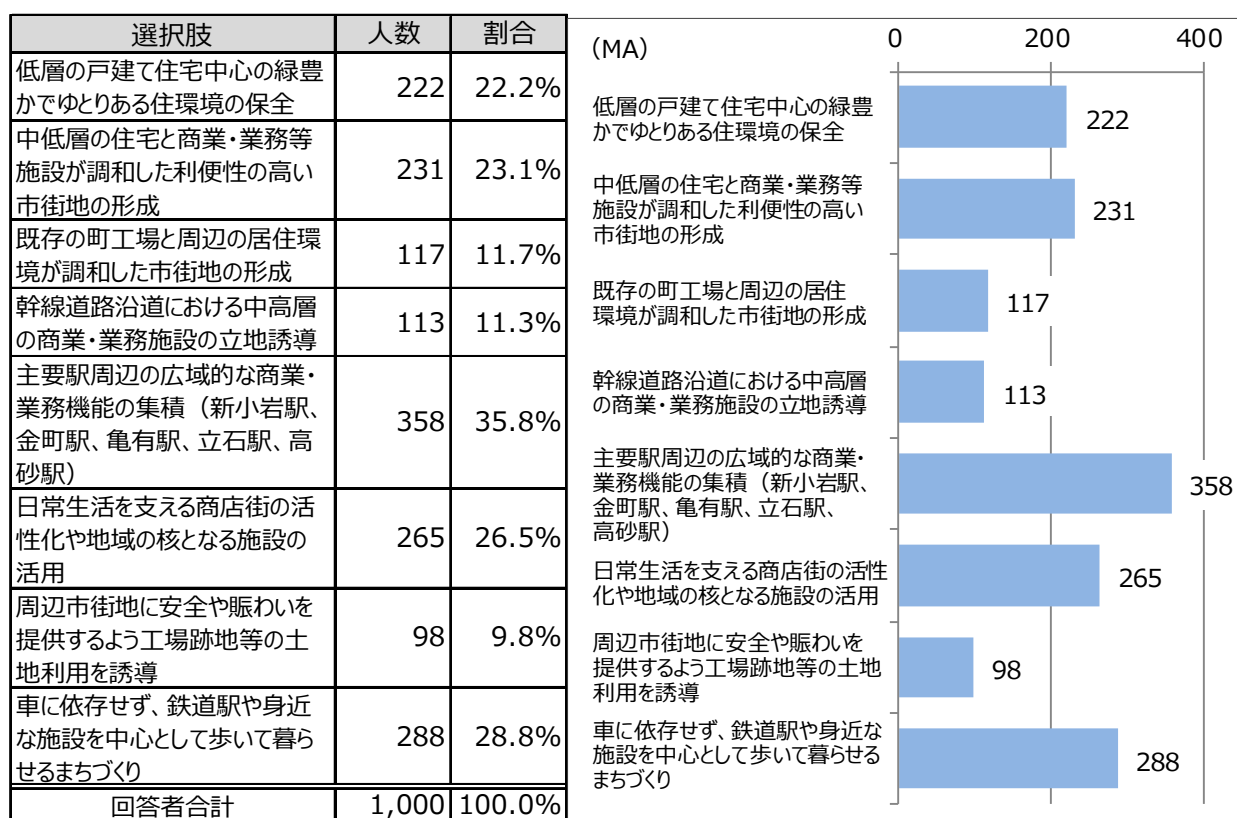
○「おおむね良い」が462件（46.2%）と最も多く、次いで「良い」が301件（30.1%）となっている。

問 8 「防災まちづくりの方針」で特に重要と思う取組（2 つまで選択）



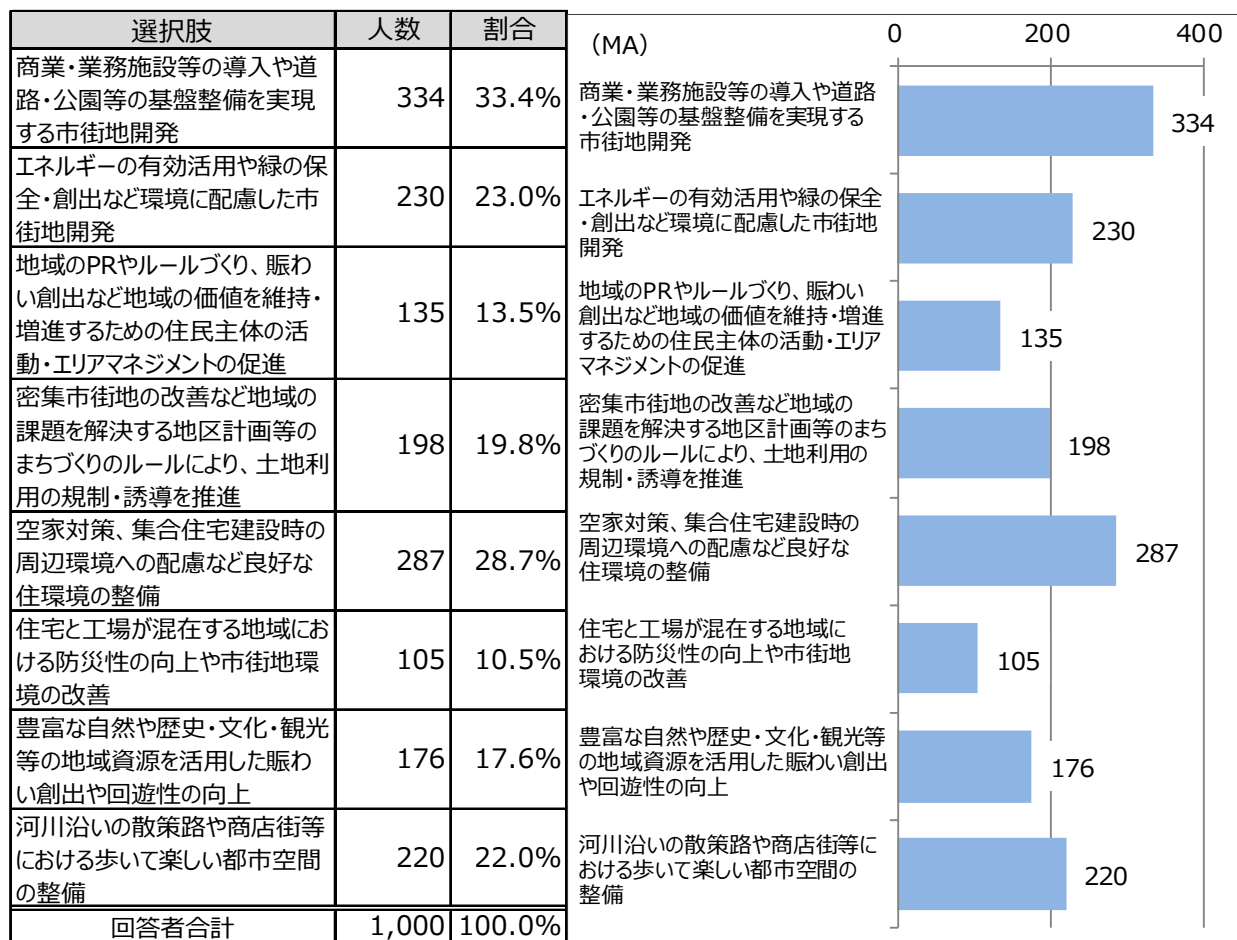
○「河川堤防の強化」が 330 件（33.0%）と最も多く、次いで「河川の氾濫等による水害時に避難できる中高層建築物や高台の整備」が 317 件（31.7%）、「排水能力を超える集中豪雨等による浸水被害、いわゆる都市型水害の緩和」が 288 件（28.8%）となっている。

問 9 「土地利用の方針」で特に重要と思う取組（2 つまで選択）



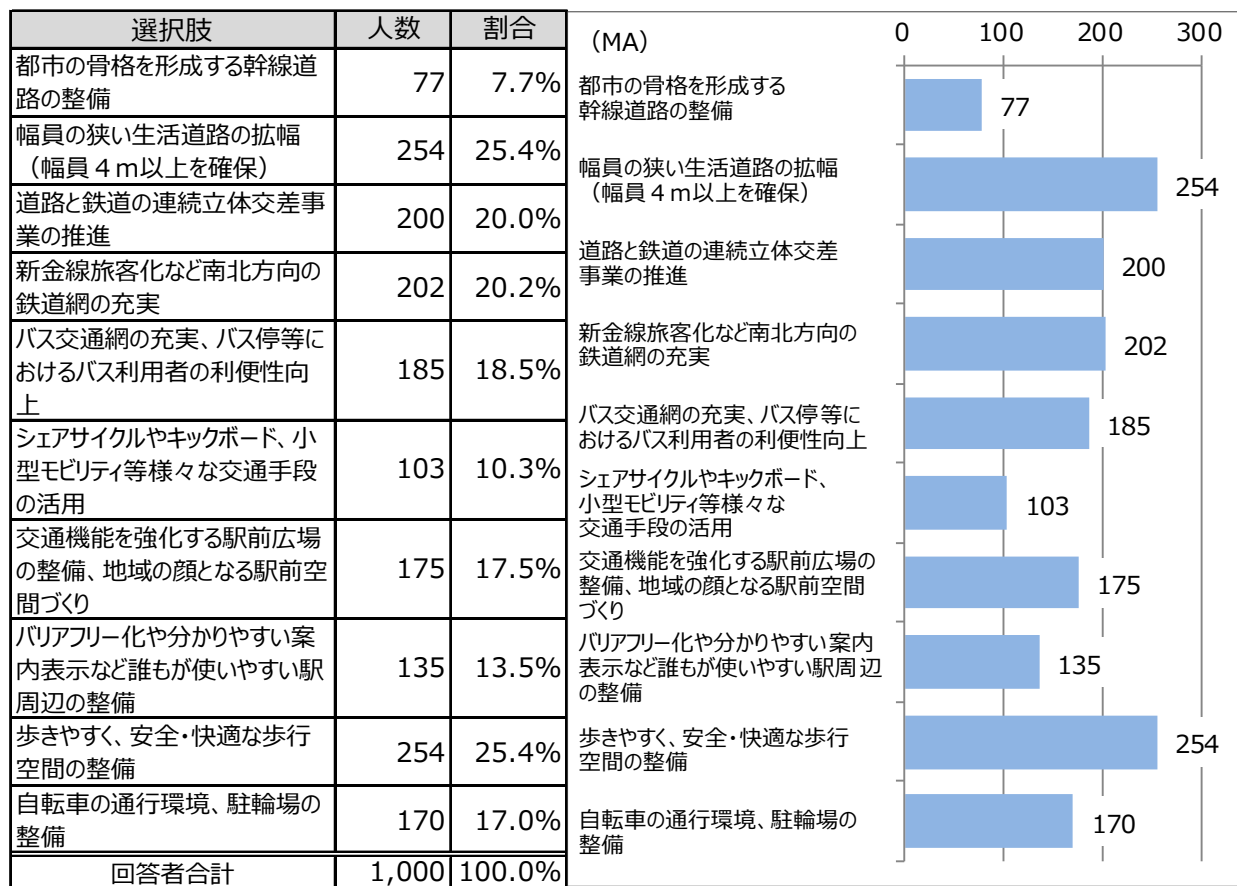
○「主要駅周辺の広域的な商業・業務機能の集積（新小岩駅、金町駅、亀有駅、立石駅、高砂駅）」が 358 件（35.8%）と最も多く、次いで「車に依存せず、鉄道駅や身近な施設を中心として歩いて暮らせるまちづくり」が 288 件（28.8%）、「日常生活を支える商店街の活性化や地域の核となる施設の活用」が 265 件（26.5%）となっている。

問 10 「市街地整備の方針」で特に重要と思う取組（2 つまで選択）



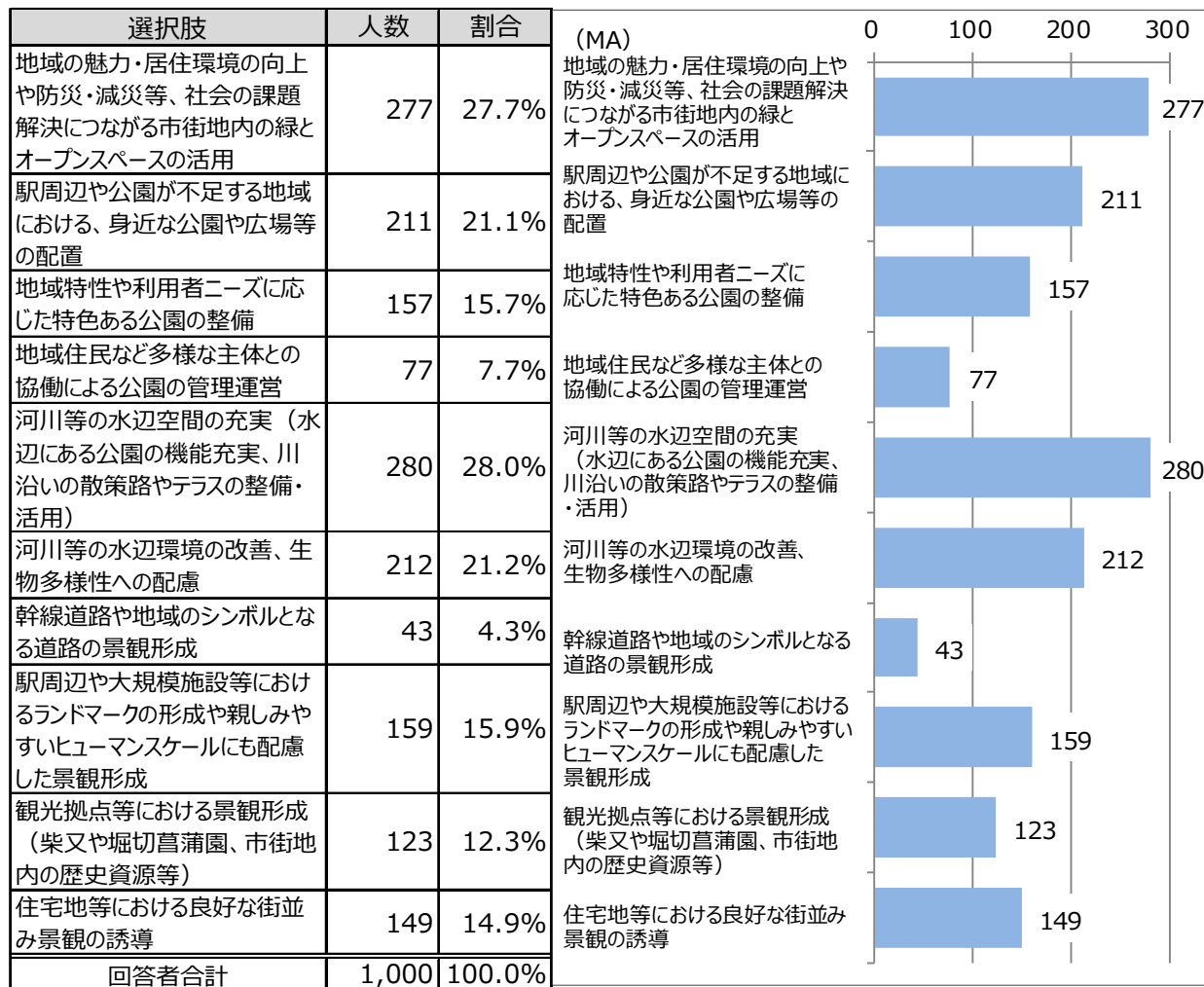
○「商業・業務施設等の導入や道路・公園等の基盤整備を実現する市街地開発」が 334 件（33.4%）と最も多く、次いで「空家対策、集合住宅建設時の周辺環境への配慮など良好な住環境の整備」が 287 件（28.7%）となっている。

問 11 「交通体系整備の方針」で特に重要と思う取組（2 つまで選択）



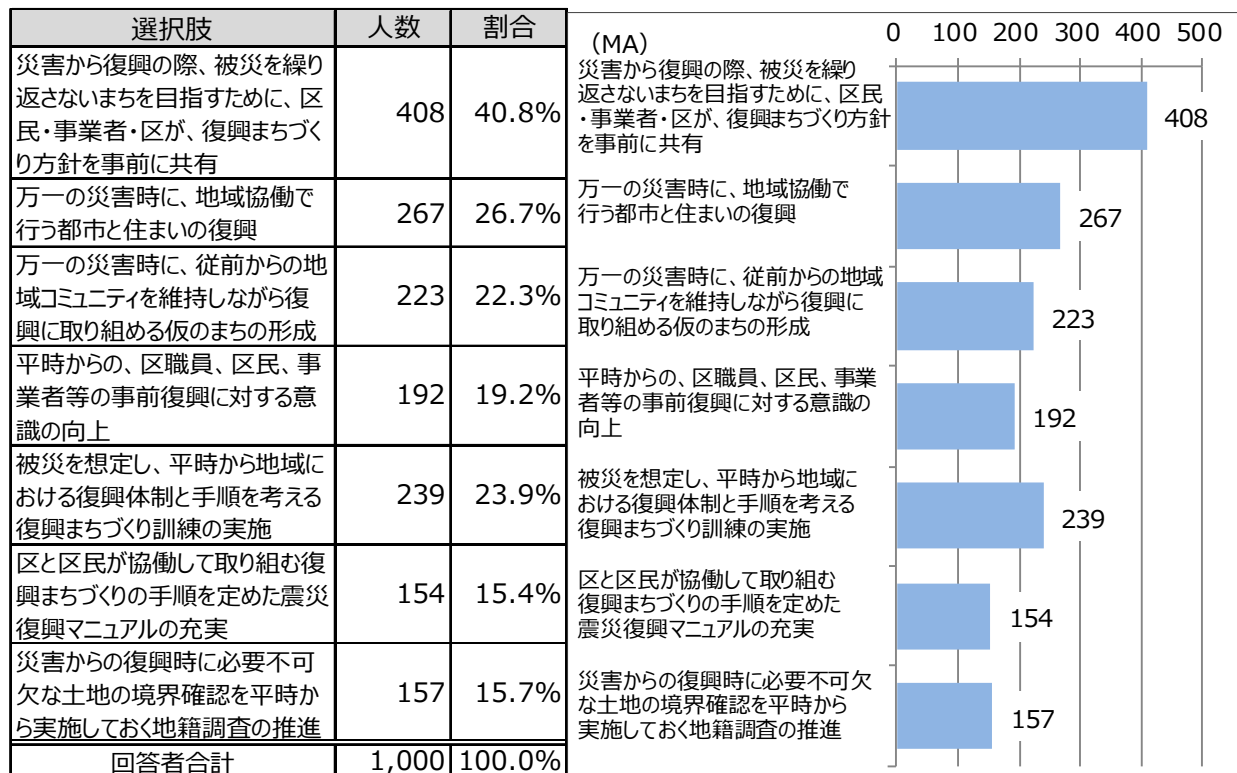
○「幅員の狭い生活道路の拡幅（幅員 4 m以上を確保）」と「歩きやすく、安全・快適な歩行空間の整備」が同数で 254 件（25.4%）と最も多く、次いで「新金線旅客化など南北方向の鉄道網の充実」が 202 件（20.2%）、「道路と鉄道の連続立体交差事業の推進」200 件（20.0%）となっている。

問 12 「緑と水辺の整備、景観形成の方針」で特に重要と思う取組（2つまで選択）



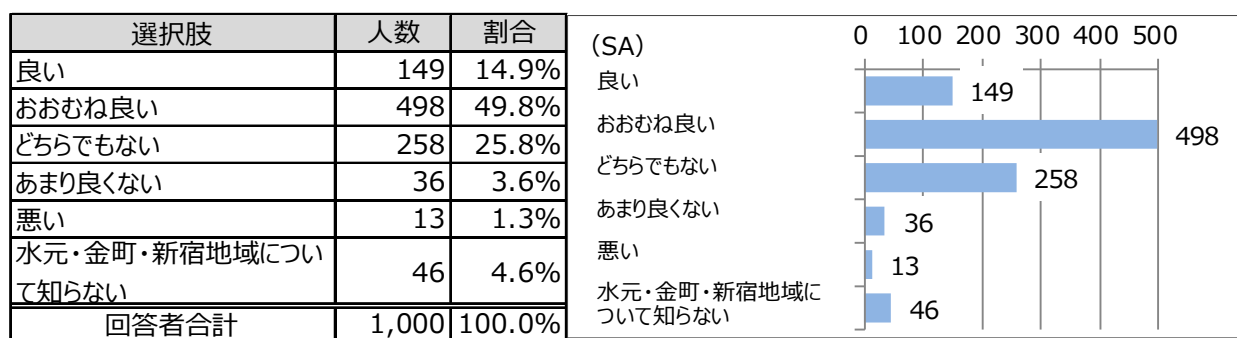
○「河川等の水辺空間の充実（水辺にある公園の機能充実、川沿いの散策路やテラスの整備・活用）」が280件（28.0%）と最も多く、次いで「地域の魅力・居住環境の向上や防災・減災等、社会の課題解決につながる市街地内の緑とオープンスペースの活用」が277件（27.7%）となっている。

問 13 「復興まちづくりの方針」で特に重要と思う取組（2 つまで選択）



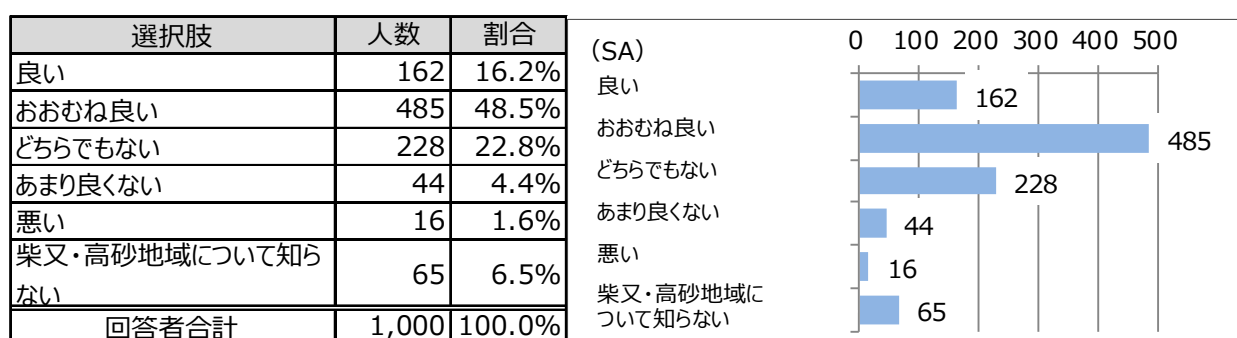
○「災害から復興の際、被災を繰り返さないまちを目指すために、区民・事業者・区が、復興まちづくり方針を事前に共有」が 408 件（40.8%）と最も多く、次いで「万一の災害時に、地域協働で行う都市と住まいの復興」が 267 件（26.7%）となっている。

問 14 水元・金町・新宿地域の将来像「賑わいと活力ある拠点の形成と豊かな自然環境に恵まれ、都市の利便性・快適性を享受できる住み良いまち」について（1つ選択）



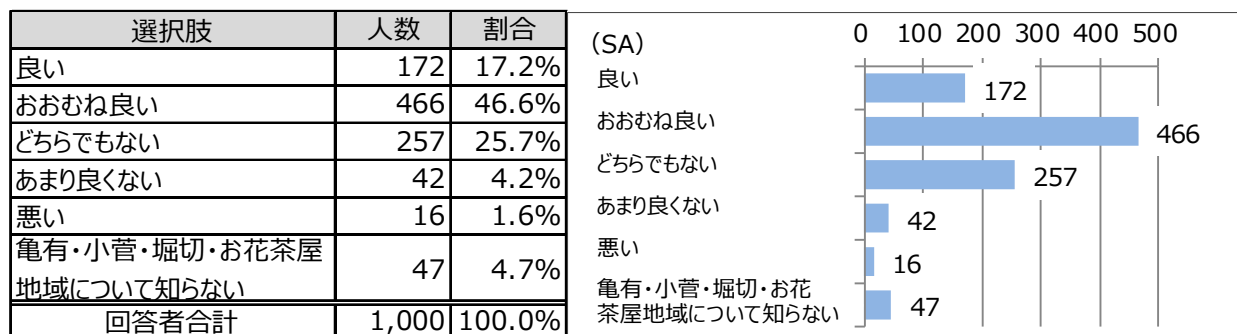
- 「おおむね良い」が498件（49.8%）と最も多く、次いで「どちらでもない」が258件（25.8%）となっている。
- 「良い」と「おおむね良い」の合計は647件（64.7%）であり、回答者の半数以上が将来像を肯定的に捉えている。

問 15 柴又・高砂地域の将来像「魅力ある歴史的景観資源と駅周辺の都市機能創出による賑わいある多世代が暮らしたくなる水辺のまち」について（1つ選択）



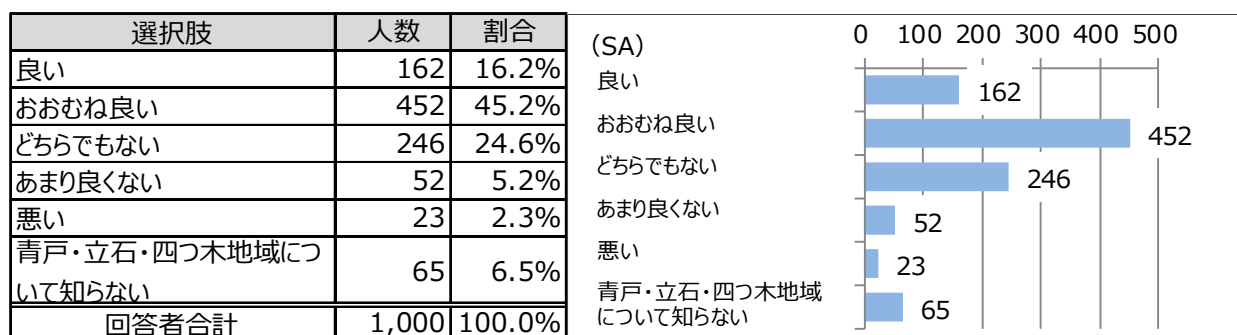
- 「おおむね良い」が485件（48.5%）と最も多く、次いで「どちらでもない」が228件（22.8%）となっている。
- 「良い」と「おおむね良い」の合計は647件（64.7%）であり、回答者の半数以上が将来像を肯定的に捉えている。

問 16 亀有・小菅・堀切・お花茶屋地域の将来像「広域拠点を中心に世代を越えた人々が集い、商業の賑わいと安全・快適で住み続けたい、自然と歴史を残すふるさとのまち」について（1つ選択）



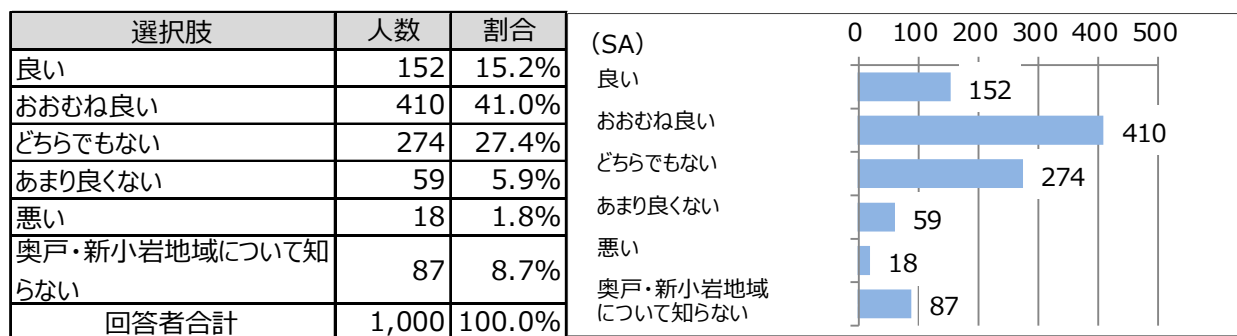
- 「おおむね良い」が466件（46.6%）と最も多く、次いで「どちらでもない」が257件（25.7%）となっている。
- 「良い」と「おおむね良い」の合計は638件（63.8%）であり、回答者の半数以上が将来像を肯定的に捉えている。

問 17 青戸・立石・四つ木地域の将来像「区の中心部として活気にあふれ、暮らしとなりわいが共生し、様々な世代が安全・快適に暮らせる、水と緑が身近に感じられるまち」について（1つ選択）



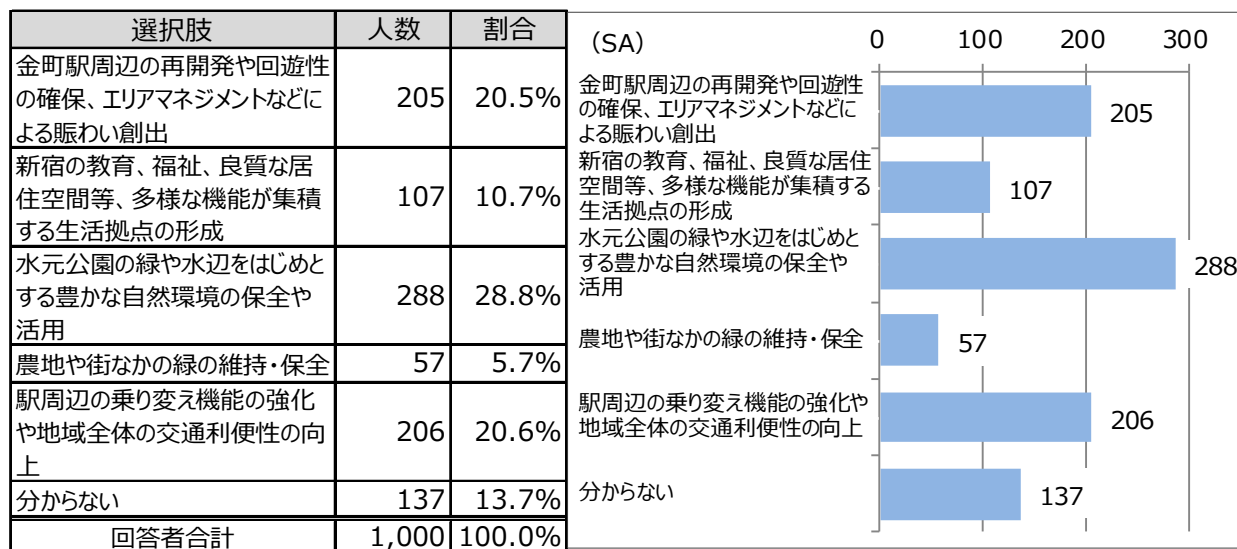
- 「おおむね良い」が452件（45.2%）と最も多く、次いで「どちらでもない」が246件（24.6%）となっている。
- 「良い」と「おおむね良い」の合計は614件（61.4%）であり、回答者の半数以上が将来像を肯定的に捉えている。

問 18 奥戸・新小岩地域の将来像「世代間交流が盛んで魅力的な広域拠点の形成と親水と浸水が両立した災害に強く緑が充実したまち」について（1つ選択）



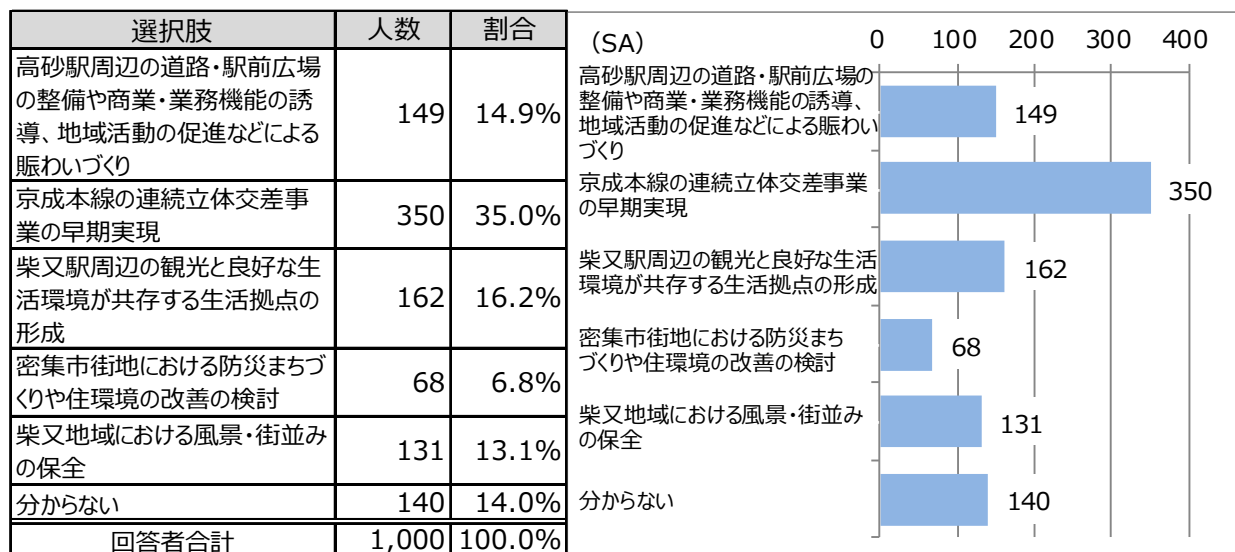
- 「おおむね良い」が410件（41.0%）と最も多く、次いで「どちらでもない」が274件（27.4%）となっている。
- 「良い」と「おおむね良い」の合計は562件（56.2%）であり、回答者の半数以上が将来像を肯定的に捉えている。

問 19 水元・金町・新宿地域で特に重要と思う取組（1つ選択）



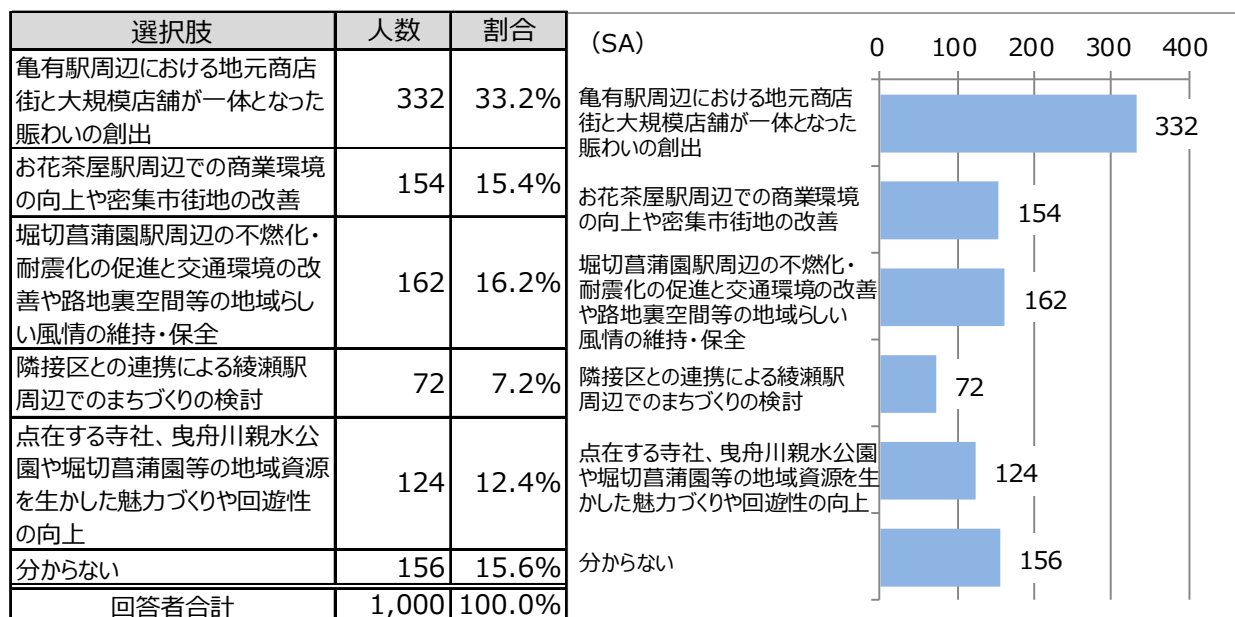
- 「水元公園の緑や水辺をはじめとする豊かな自然環境の保全や活用」が288件（28.8%）と最も多く、次いで「駅周辺の乗り換え機能の強化や地域全体の交通利便性の向上」が206件（20.6%）、「金町駅周辺の再開発や回遊性の確保、エリアマネジメントなどによる賑わい創出」が205件（20.5%）となっている。

問 20 柴又・高砂地域で特に重要と思う取組（1つ選択）



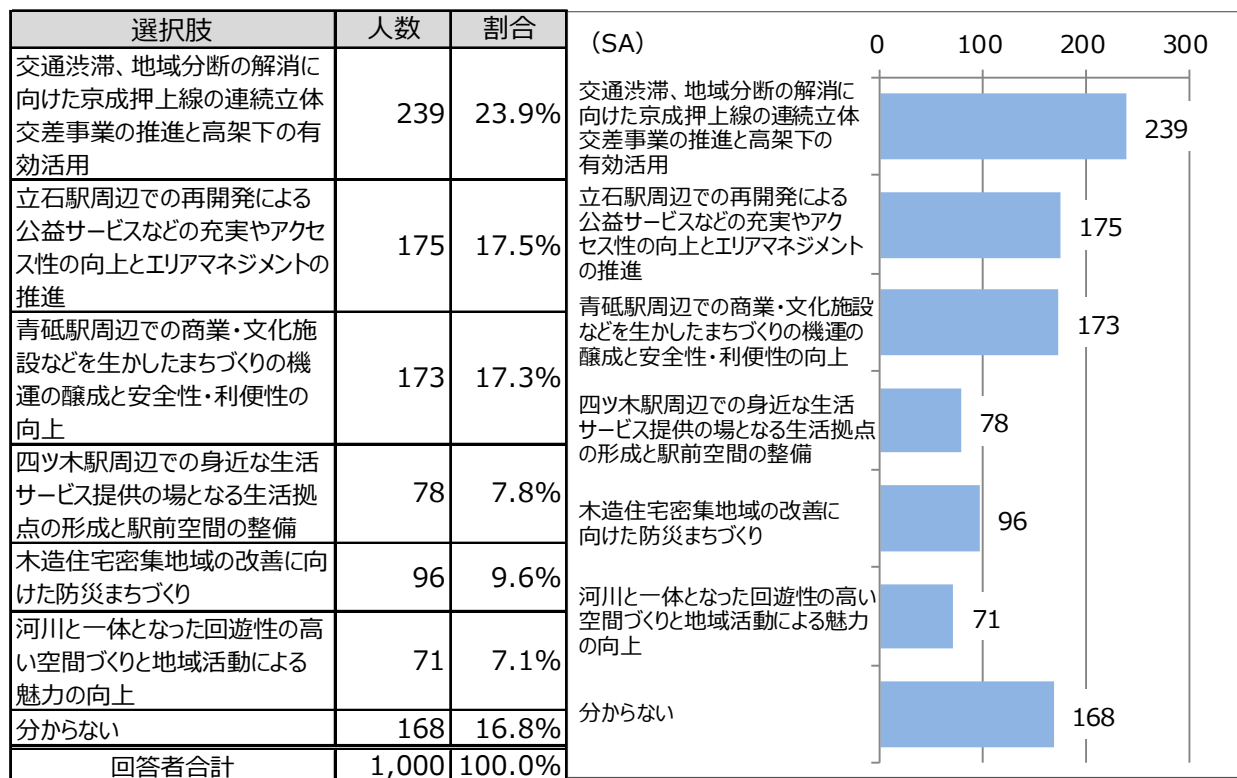
- 「京成本線の連続立体交差事業の早期実現」が350件（35.0%）と最も多く、次いで「柴又駅周辺の観光と良好な生活環境が共存する生活拠点の形成」が162件（16.2%）、「高砂駅周辺の道路・駅前広場の整備や商業・業務機能の誘導、地域活動の促進などによる賑わいづくり」が149件（14.9%）となっている。

問 21 亀有・小菅・堀切・お花茶屋地域で特に重要と思う取組（1つ選択）



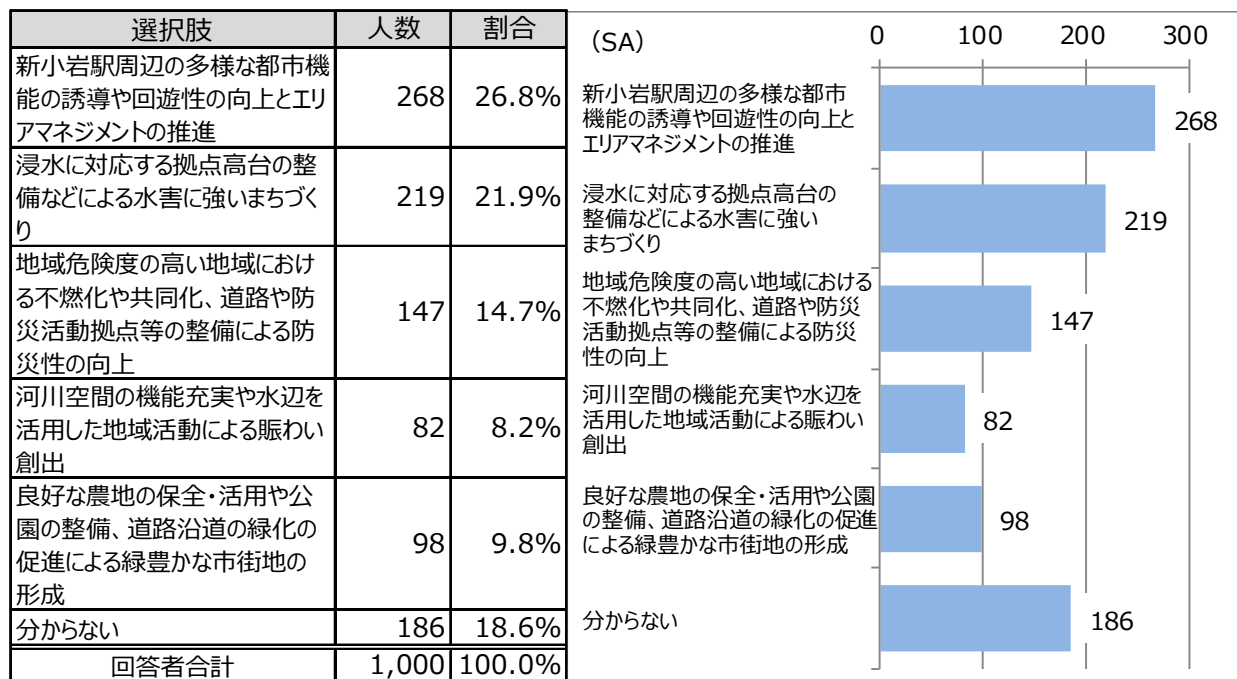
- 「亀有駅周辺における地元商店街と大規模店舗が一体となった賑わいの創出」が332件（33.2%）と最も多く、次いで「堀切菖蒲園駅周辺の不燃化・耐震化の促進と交通環境の改善や路地裏空間等の地域らしい風情の維持・保全」が162件（16.2%）、「お花茶屋駅周辺での商業環境の向上や密集市街地の改善」が154件（15.4%）となっている。

問 22 青戸・立石・四つ木地域で特に重要と思う取組（1つ選択）



○「交通渋滞、地域分断の解消に向けた京成押上線の連続立体交差事業の推進と高架下の有効活用」が239件（23.9%）と最も多く、次いで「立石駅周辺での再開発による公益サービスなどの充実やアクセス性の向上とエリアマネジメントの推進」が175件（17.5%）、「青砥駅周辺での商業・文化施設などを生かしたまちづくりの機運の醸成と安全性・利便性の向上」が173件（17.3%）となっている。

問 23 奥戸・新小岩地域で特に重要と思う取組（1つ選択）



○「新小岩駅周辺の多様な都市機能の誘導や回遊性の向上とエリアマネジメントの推進」が 268 件（26.8%）と最も多く、次いで「浸水に対応する拠点高台の整備などによる水害に強いまちづくり」が 219 件（21.9%）となっている。

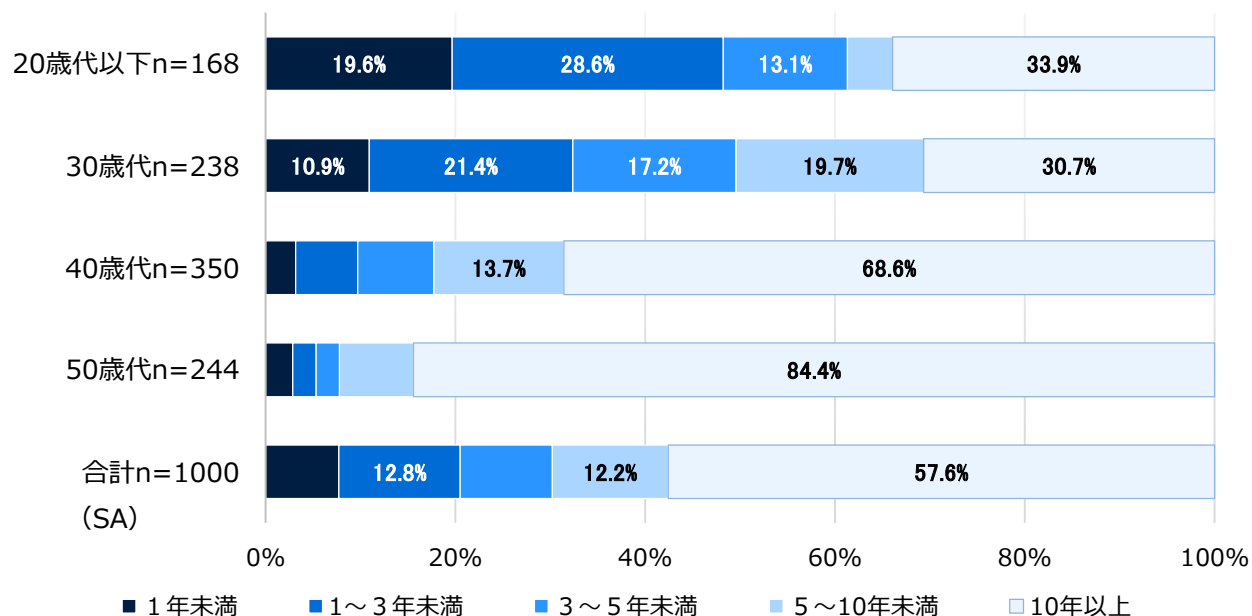
3. クロス集計

区民の葛飾区に対する認識や意向について、分析軸として「年齢別」、「居住地域別」を設定してクロス集計を行った。

3-1. 年齢別のクロス集計

年齢による傾向を分析するために、問1～23についてクロス集計を行った。結果は以下のとおりである。

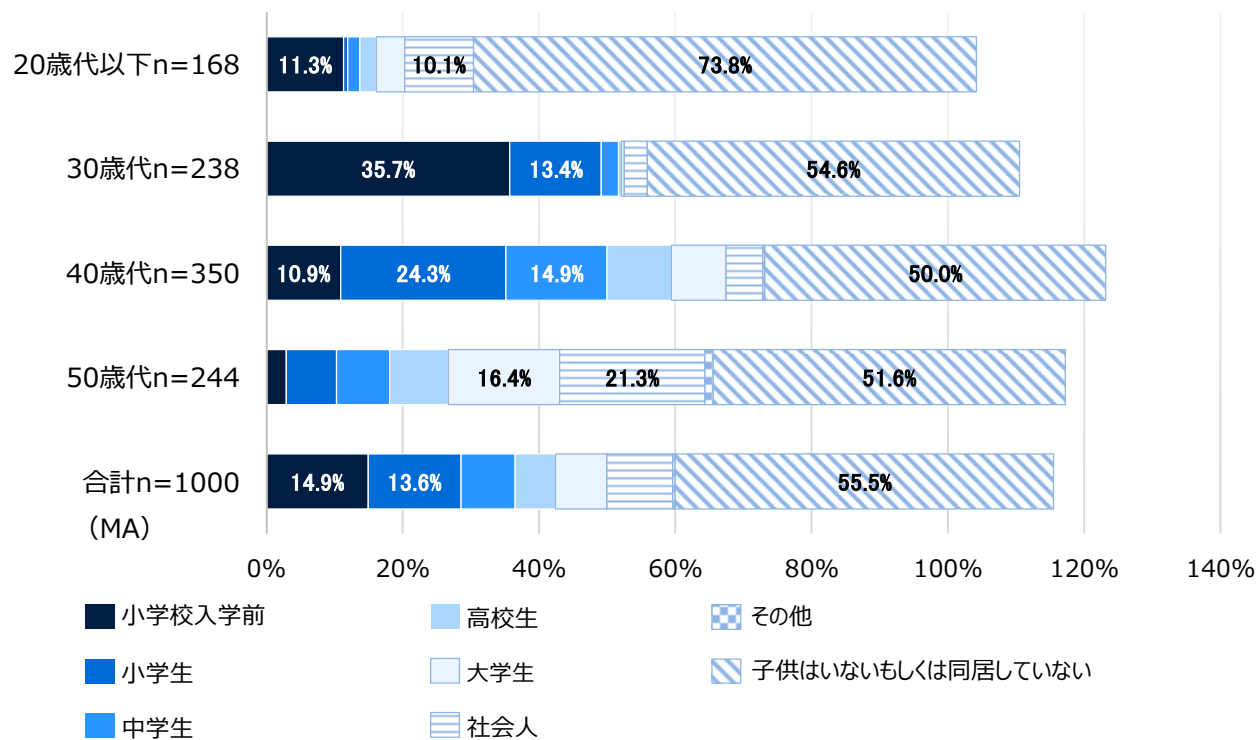
問1 回答者の居住年数（1つ選択）



- 年齢が上がるにつれて、以下のように居住年数が長くなる傾向が見られる。
- ・20歳代以下は「1年未満」が合計より10%以上高く、約20%となっている。また「1~3年未満」が合計より10%以上高く、約29%となっている。
 - ・50歳代は「10年以上」が合計より10%以上高く、約84%となっている。

※10.0%未満の値は表示していない。

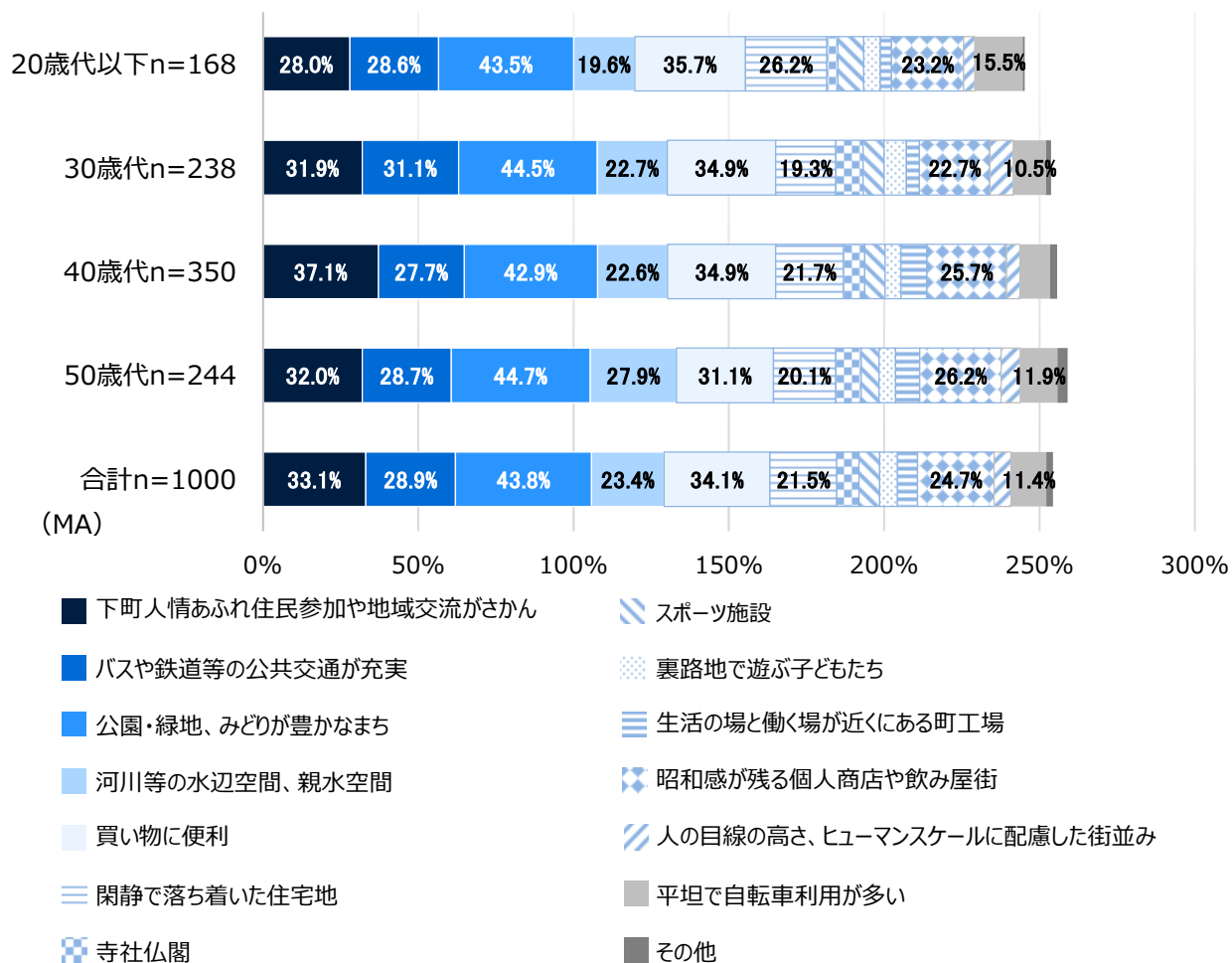
問 2 同居している子ども（当てはまるものすべて選択）



- 年齢に拘わらず「子供はいないもしくは同居していない」は約5割～7割と高くなっている。特に20歳代以下は合計より10%以上高く、約74%となっている。
- 年齢が上がるにつれて、以下のように同居している子どものライフステージが上がる傾向が見られる。
 - ・30歳代は「小学校入学前」が合計より10%以上高く、約36%となっている。
 - ・40歳代は「小学生」が合計より10%以上高く、約24%となっている。
 - ・50歳代は「社会人」が合計より10%以上高く、約21%となっている。

※10.0%未満の値は表示していない。

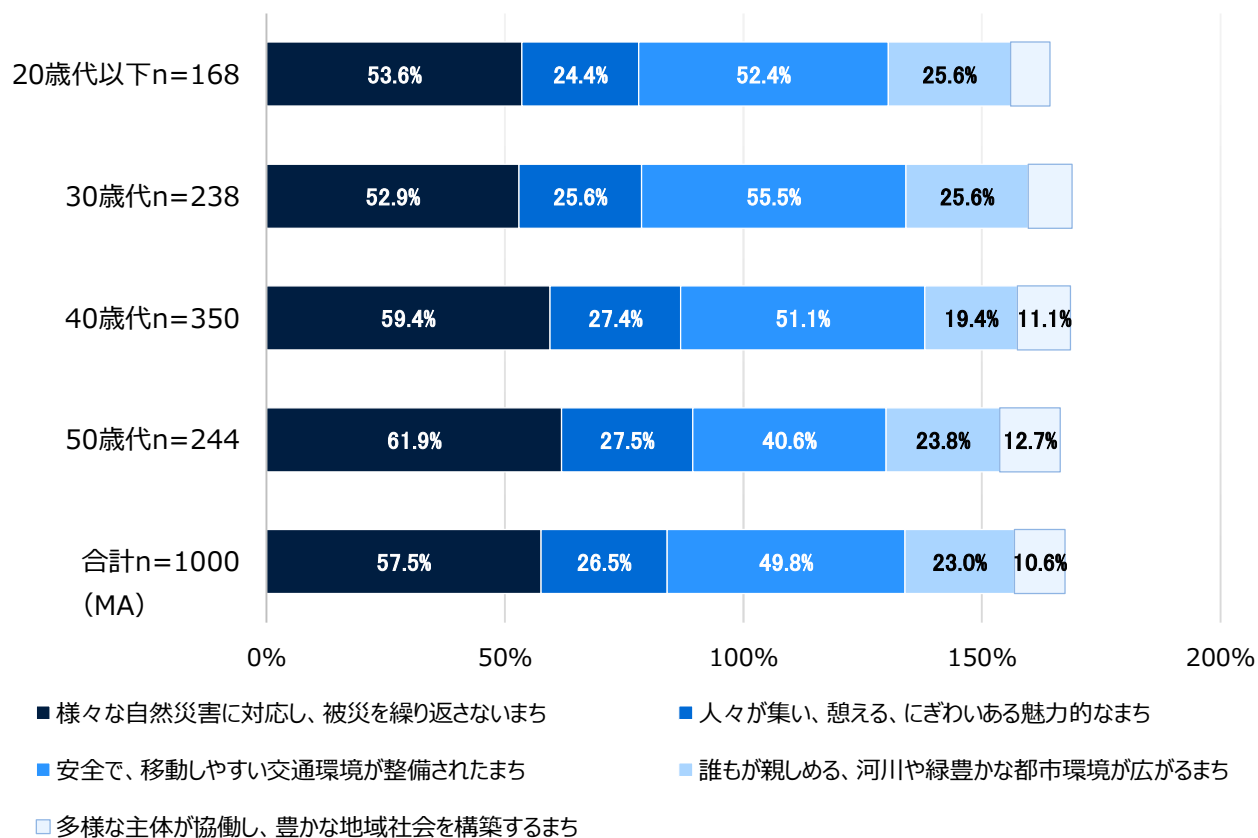
問3 将来にわたって残したい葛飾らしさ（3つまで選択）



○年齢に拘わらず「下町人情あふれ住民参加や地域交流がさかん」、「バスや鉄道等の公共交通が充実」、「公園・緑地、みどりが豊かなまち」、「買い物に便利」はそれぞれ約3割～4割となっている。

※10.0%未満の値は表示していない。

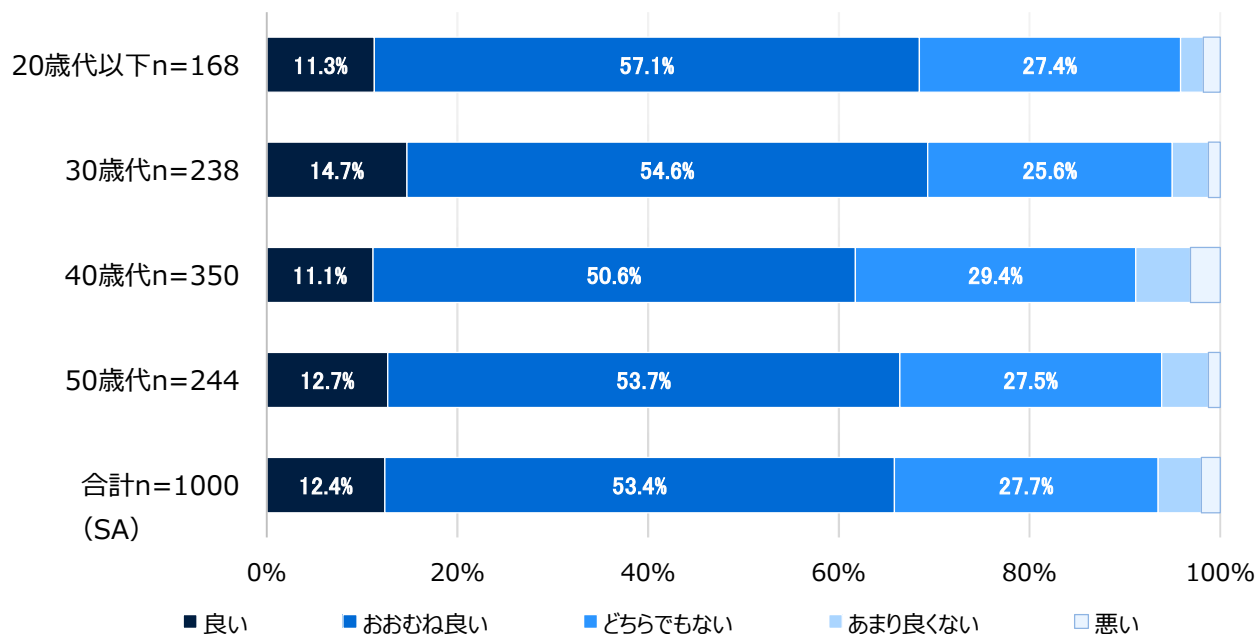
問4 まちづくりの目標で重要と思うもの（2つまで選択）



○年齢に拘わらず「様々な自然災害に対応し、被災を繰り返さないまち」は約5割～6割と高く、「安全で、移動しやすい交通環境が整備されたまち」は約4割～6割となっている。

※10.0%未満の値は表示していない。

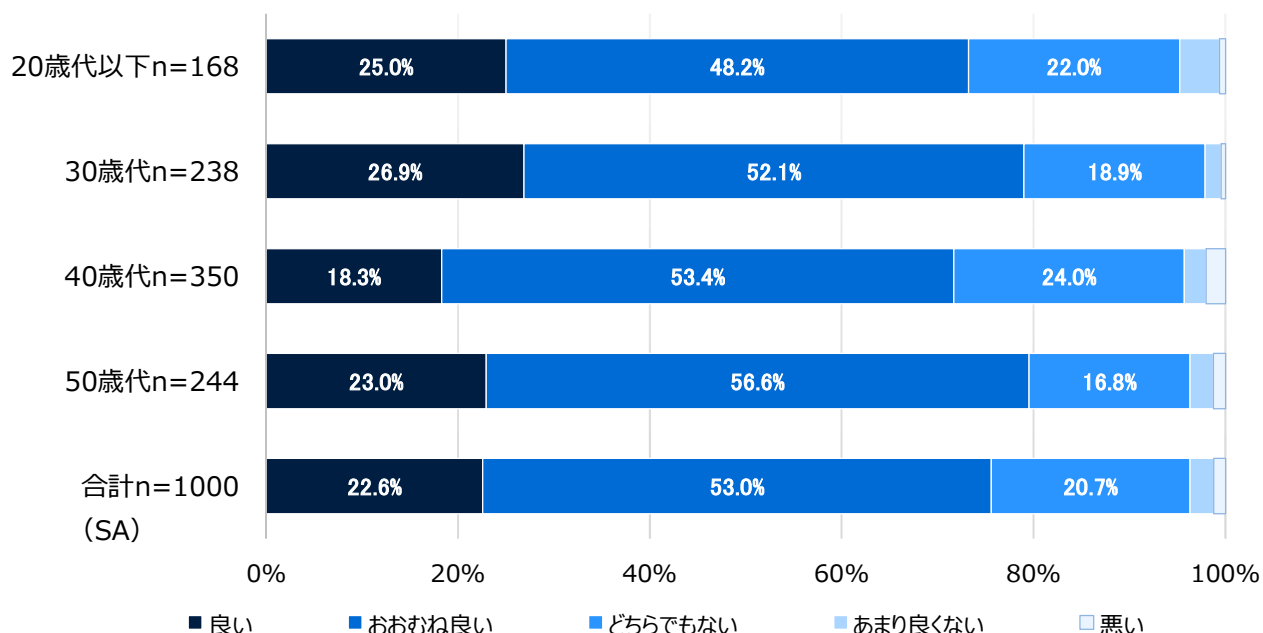
問 5 50年程度先のまちの姿を描いた理想像（1つ選択）



○年齢に拘わらず「良い」と「おおむね良い」の合計は約6割～約7割と高く、どの年齢層でも回答者の半数以上が50年程度先の理想像をおおむね肯定的に捉えている。
 ○一方で、「どちらでもない」も年齢に拘わらず約3割となっている。

※10.0%未満の値は表示していない。

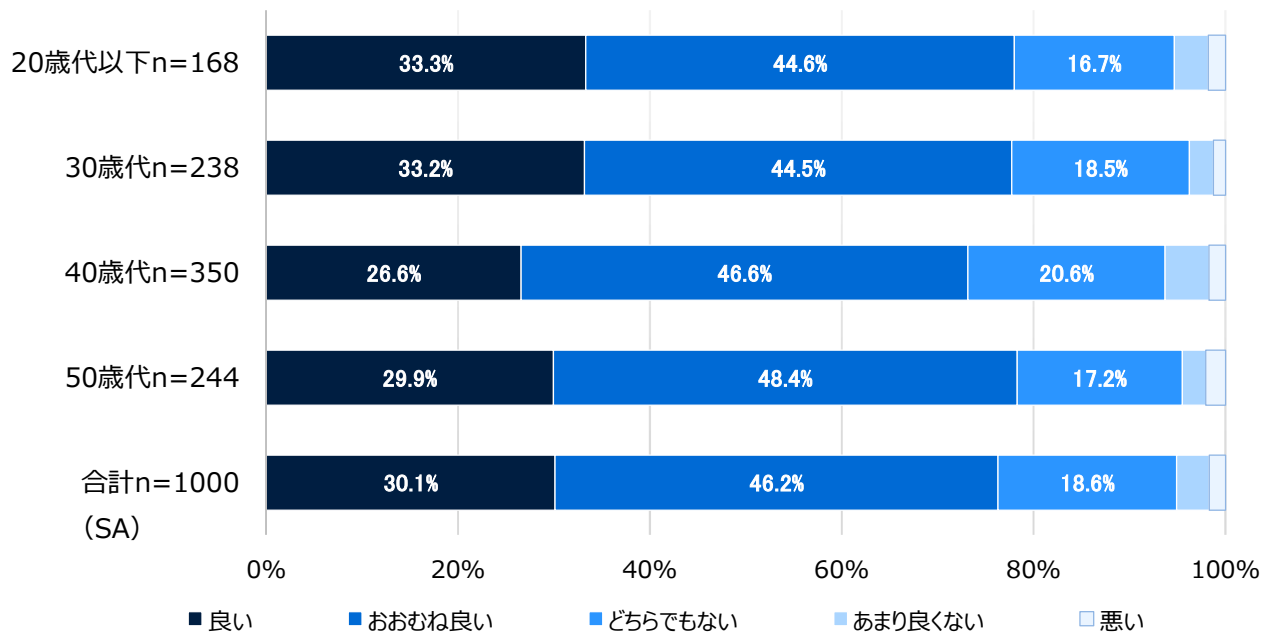
問 6 地域構造の「豊かな水や緑を保全するエリア」において、低層・低密度で緑豊かなゆとりある住宅地や農地を保全していくことについて（1つ選択）



○年齢に拘わらず「良い」と「おおむね良い」の合計は約7割～約8割と高く、どの年齢層でも回答者の半数以上が「豊かな水や緑を保全するエリア」の方針をおおむね肯定的に捉えている。

※10.0%未満の値は表示していない。

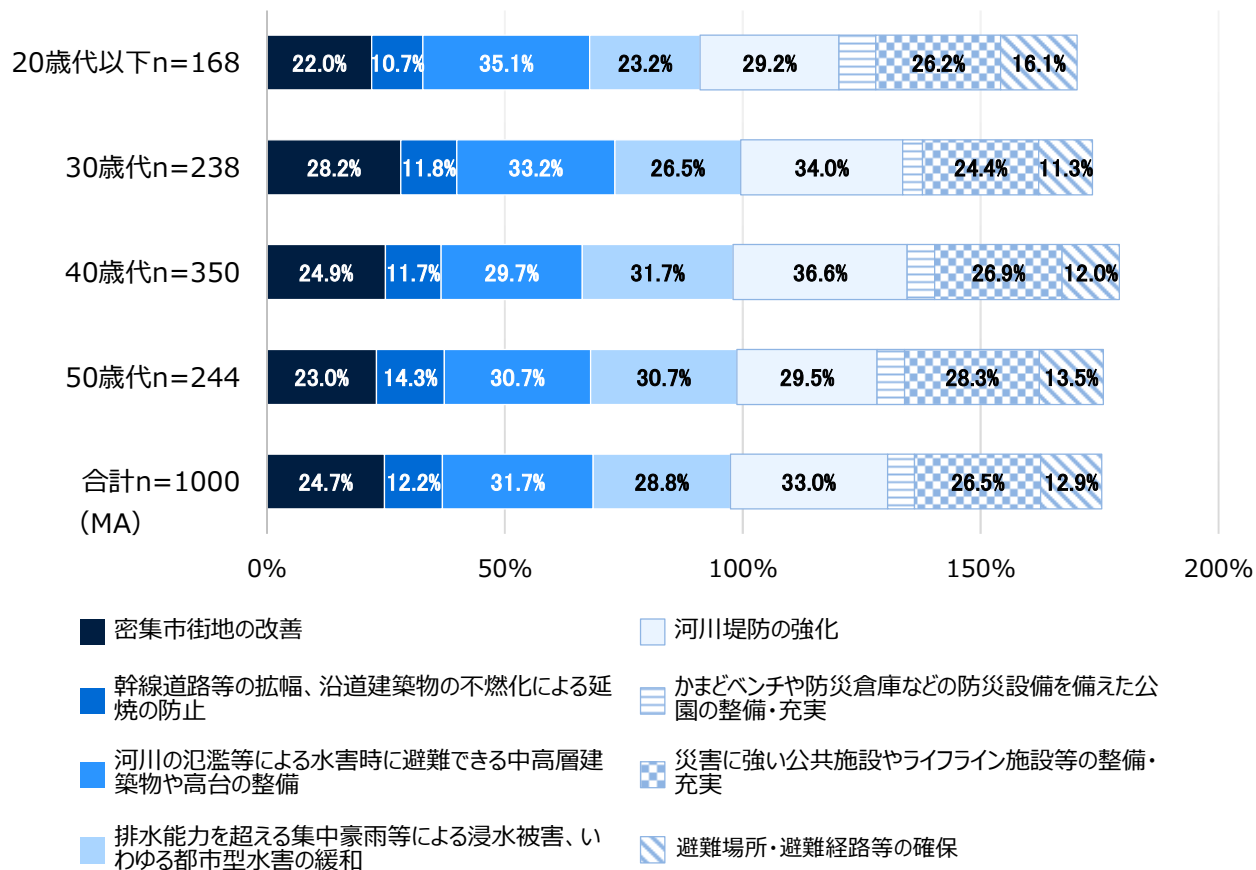
問 7 地域構造の「高台化など浸水対応を促進するエリア」において、自宅などの建物を建替える際、洪水時に2・3階へ避難できるなど、浸水に対応した建物にすることについて（1つ選択）



○年齢に拘わらず「良い」と「おおむね良い」の合計は約7割～約8割と高く、どの年齢層でも回答者の半数以上が「高台化など浸水対応を促進するエリア」の方針をおおむね肯定的に捉えている。

※10.0%未満の値は表示していない。

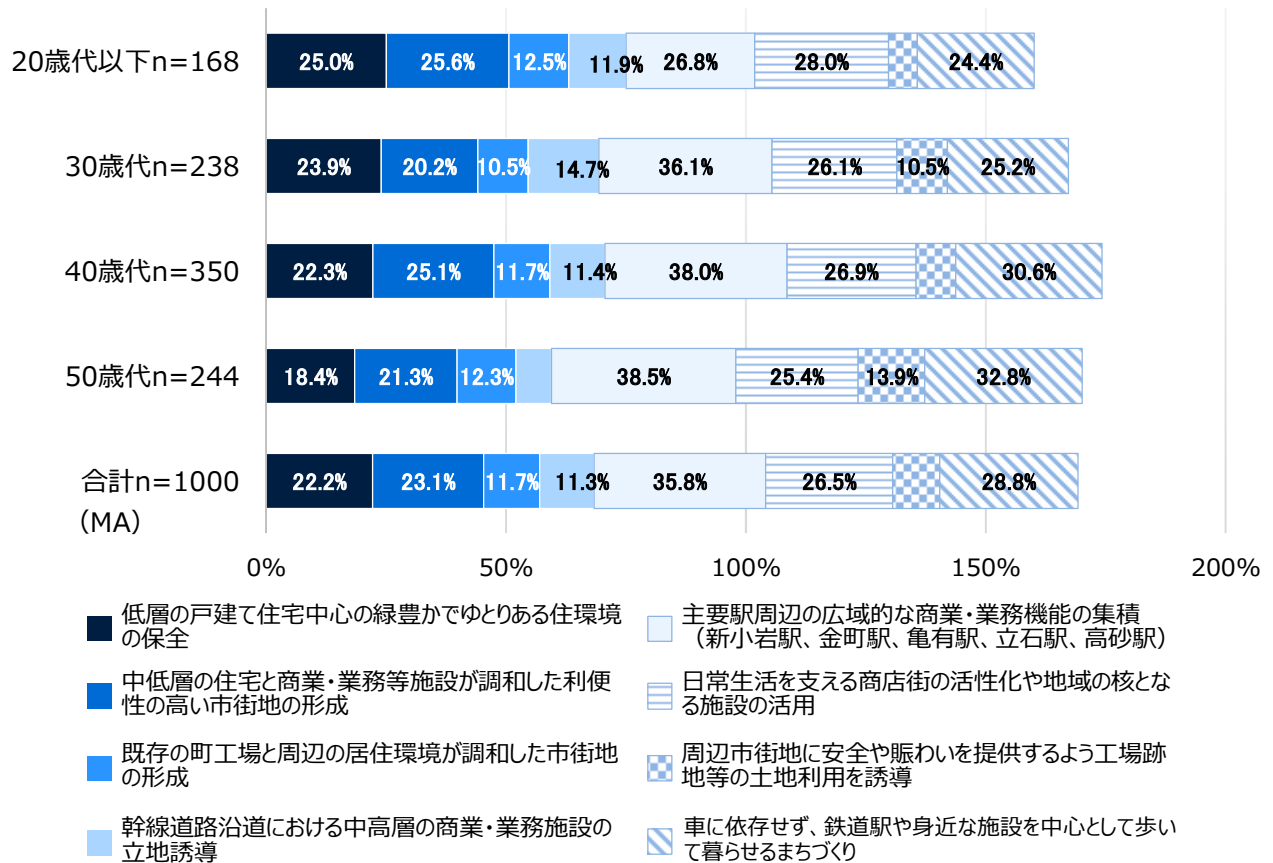
問 8 「防災まちづくりの方針」で特に重要と思う取組（2つまで選択）



○年齢に拘わらず「河川の氾濫等による水害時に避難できる中高層建築物や高台の整備」と「河川堤防の強化」は約3割～4割となっている。

※10.0%未満の値は表示していない。

問 9 「土地利用の方針」で特に重要と思う取組（2 つまで選択）

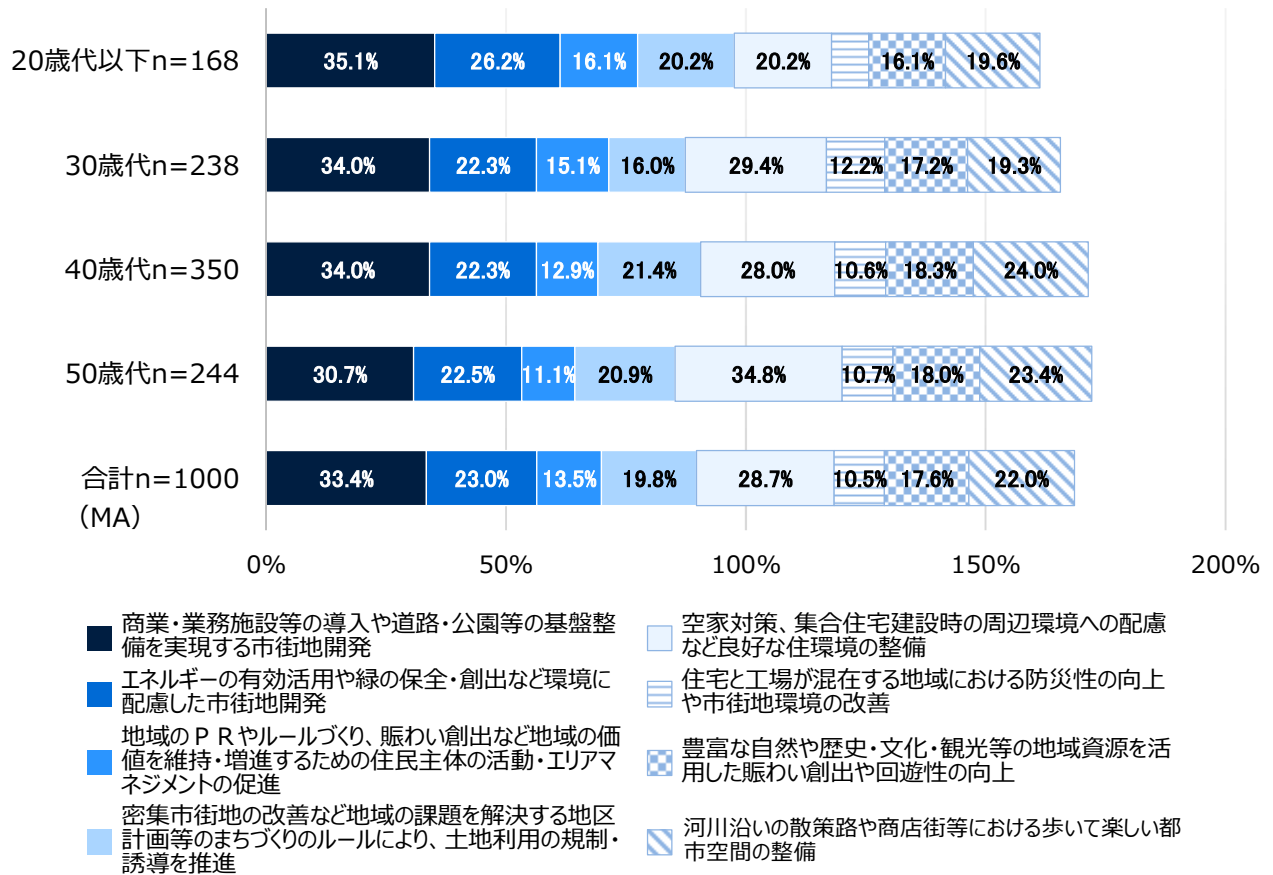


○年齢に拘わらず「主要駅周辺の広域的な商業・業務機能の集積（新小岩駅、金町駅、亀有駅、立石駅、高砂駅）」は約 3 割～4 割となっている。特に 40 歳代と 50 歳代は割合が比較的高い（40 歳代：約 38%、50 歳代：約 39%）。

○年齢に拘わらず「日常生活を支える商店街の活性化や地域の核となる施設の活用」は約 3 割となっている。

※10.0%未満の値は表示していない。

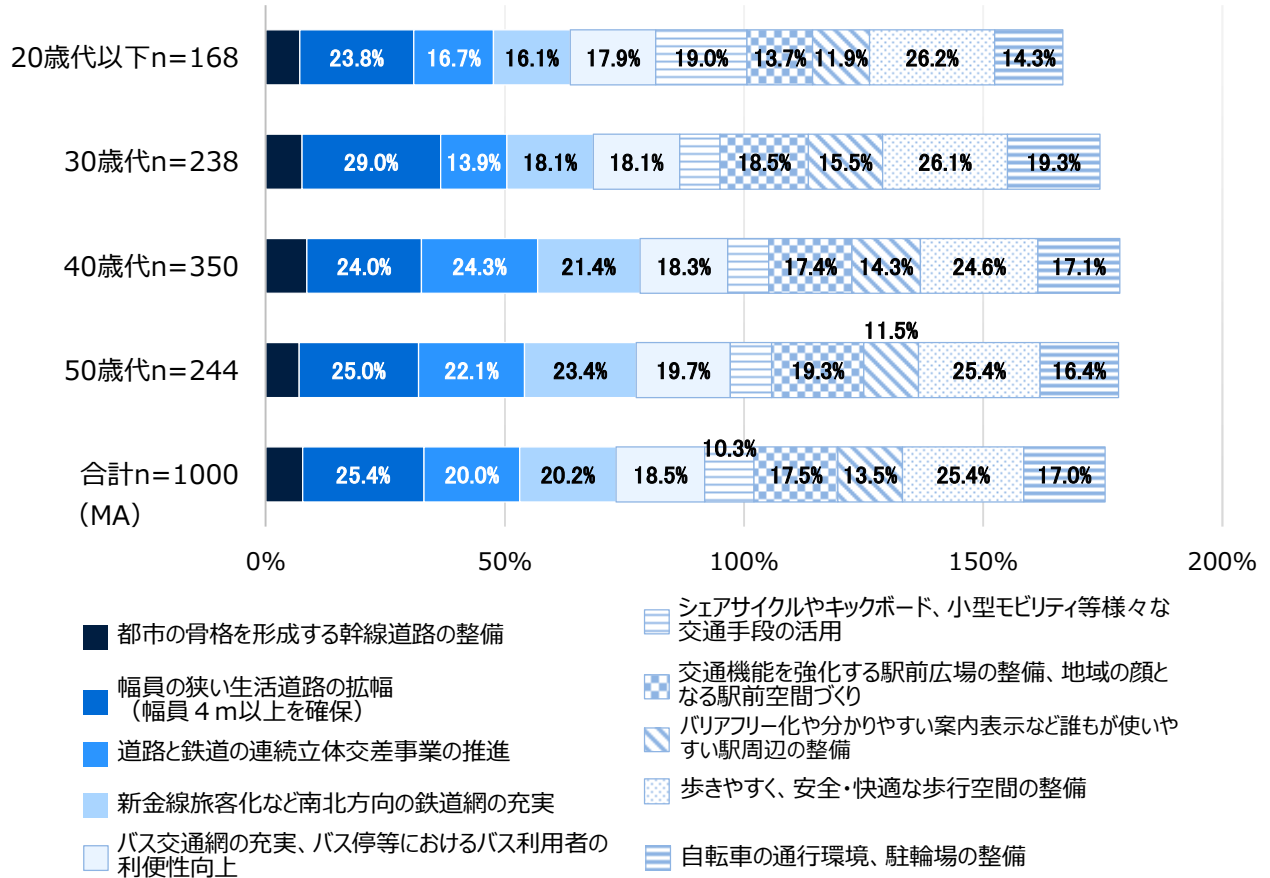
問 10 「市街地整備の方針」で特に重要と思う取組（2 つまで選択）



- 年齢に拘わらず「商業・業務施設等の導入や道路・公園等の基盤整備を実現する市街地開発」は約 3 割～4 割となっている。
- 「空家対策、集合住宅建設時の周辺環境への配慮など良好な住環境の整備」の割合は、年齢が上がるほど高くなる傾向が見られる。(20歳代以下：約 20%、50歳代：約 35%)

※10.0%未満の値は表示していない。

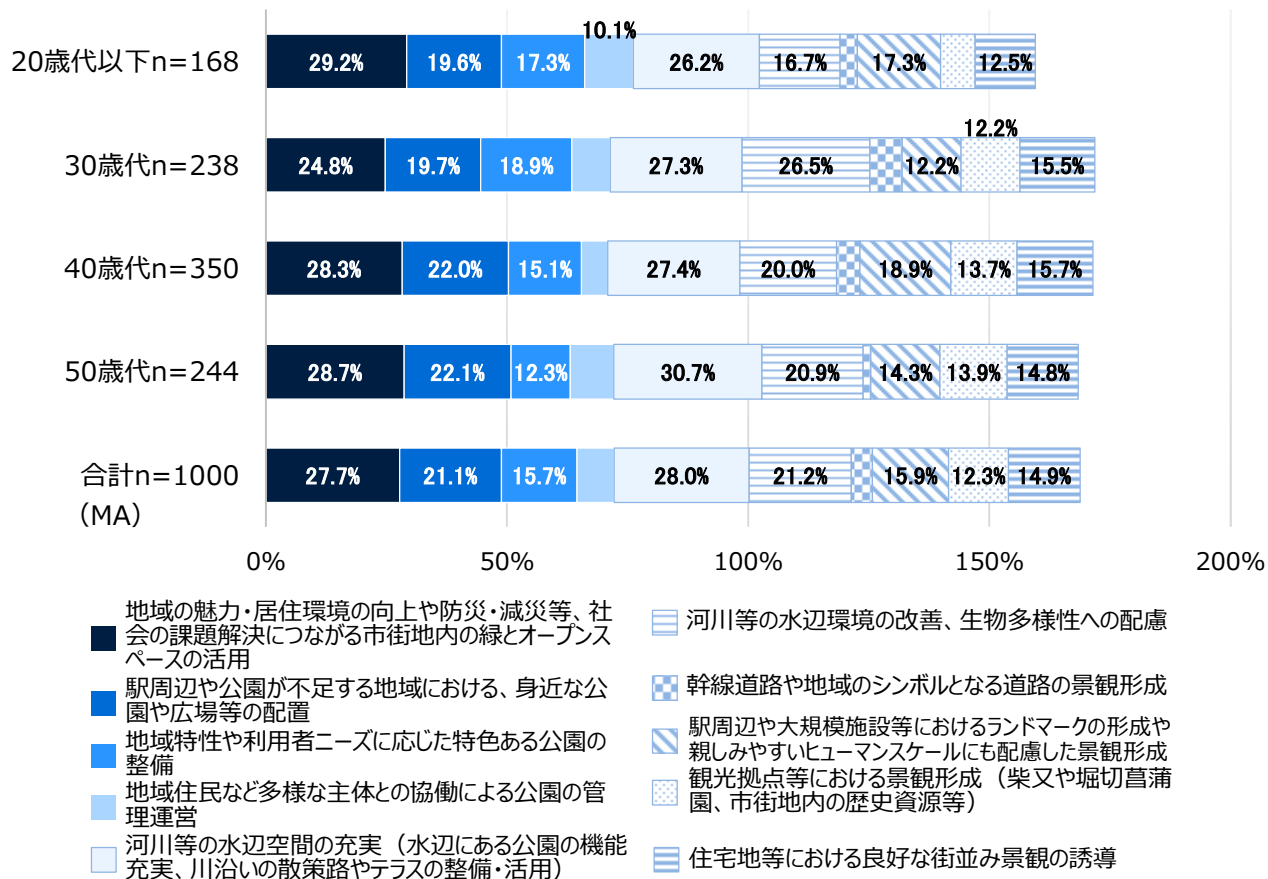
問 11 「交通体系整備の方針」で特に重要と思う取組（2 つまで選択）



○全ての年齢層で共通して3割以上になる選択肢は見られなかった。
 ○どの年齢層においても、合計と10%以上差のある選択肢は見られなかった。
 ○「道路と鉄道の連続立体交差事業の推進」は20歳代以下～30歳代と40歳代～50歳代の割合に差が見られる。（20歳代以下：約17%、30歳代：約14%、40歳代：約24%、50歳代：約22%）
 ○「新金線旅客化など南北方向の鉄道網の充実」は年齢が上がるほど割合が高くなる傾向が見られる。（20歳代：約16%、30歳代：約18%、40歳代：約21%、50歳代：約23%）

※10.0%未満の値は表示していない。

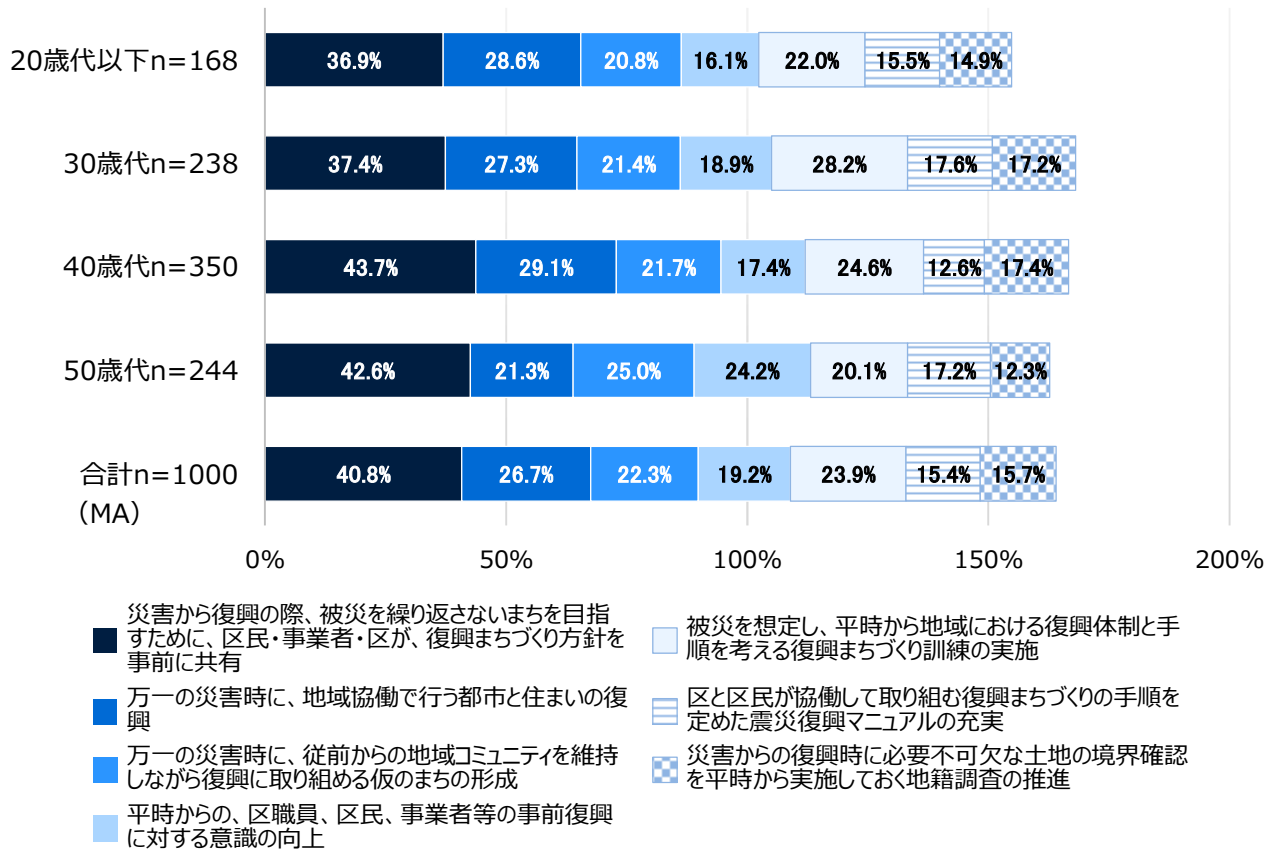
問 12 「緑と水辺の整備、景観形成の方針」で特に重要と思う取組（2つまで選択）



- 年齢に拘わらず「河川等の水辺空間の充実（水辺にある公園の機能充実、川沿いの散策路やテラスの整備・活用）」は約3割となっている。
- どの年齢層においても、合計と10%以上差のある選択肢は見られなかった。

※10.0%未満の値は表示していない。

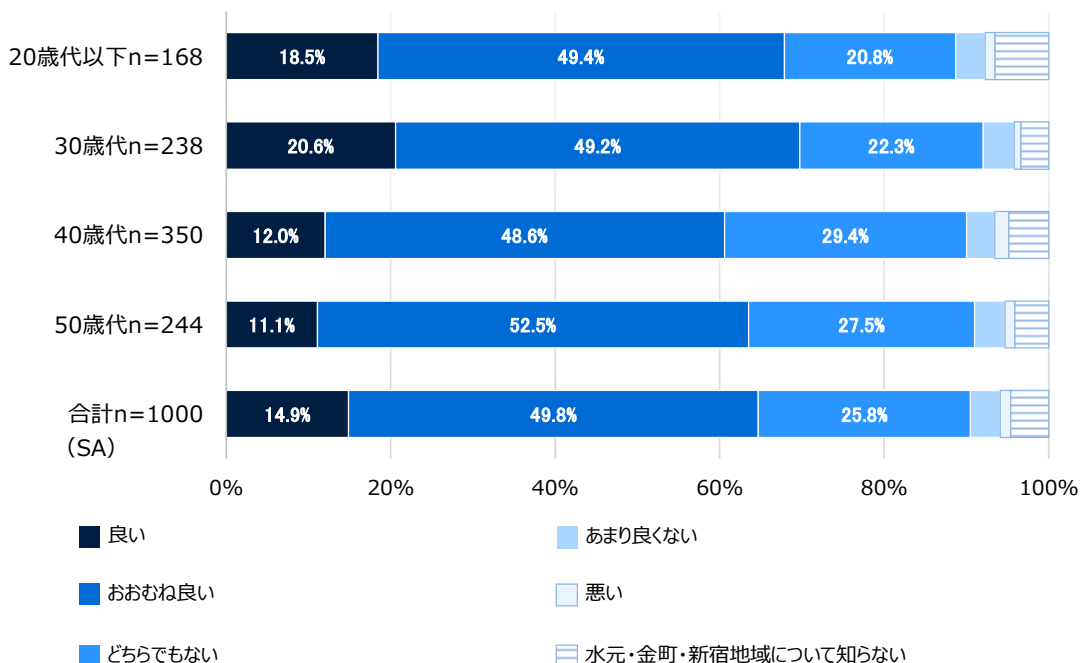
問 13 「復興まちづくりの方針」で特に重要と思う取組（2 つまで選択）



- 年齢に拘わらず「災害から復興の際、被災を繰り返さないまちを目指すために、区民・事業者・区が、復興まちづくり方針を事前に共有」は約 4 割となっている。
- 「災害から復興の際、被災を繰り返さないまちを目指すために、区民・事業者・区が、復興まちづくり方針を事前に共有」は 20 歳代以下～30 歳代と 40 歳代～50 歳代の割合に差が見られる。(20 歳代以下：約 37%、30 歳代：約 37%、40 歳代：約 44%、50 歳代：約 43%)

※10.0%未満の値は表示していない。

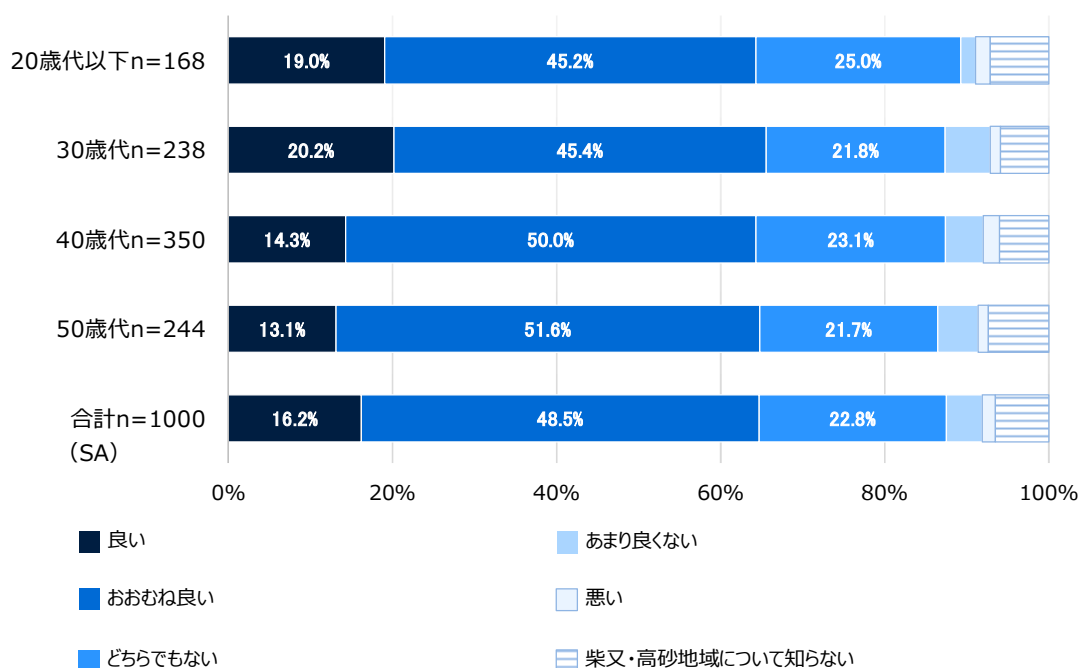
問 14 水元・金町・新宿地域の将来像「賑わいと活力ある拠点の形成と豊かな自然環境に恵まれ、都市の利便性・快適性を享受できる住み良いまち」について（1つ選択）



○年齢に拘わらず「良い」と「おおむね良い」の合計は約6割～約7割となっており、どの年齢層でも回答者の半数以上が将来像を肯定的に捉えている。

※10.0%未満の値は表示していない。

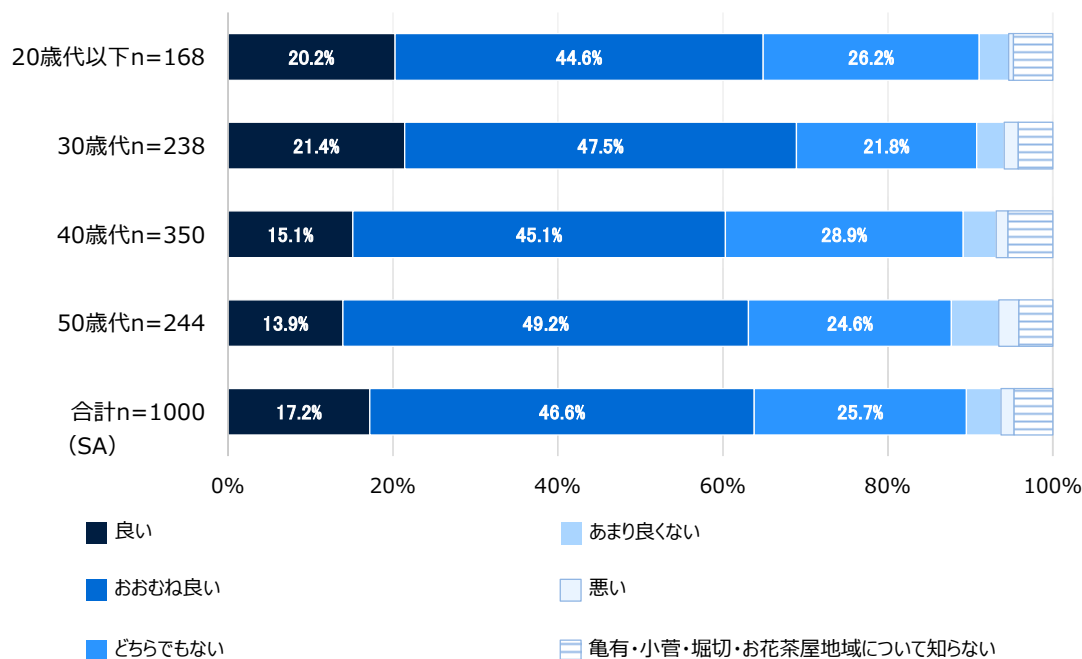
問 15 柴又・高砂地域の将来像「魅力ある歴史的景観資源と駅周辺の都市機能創出による賑わいある多世代が暮らしたくなる水辺のまち」について（1つ選択）



○年齢に拘わらず「良い」と「おおむね良い」の合計は約6割となっており、どの年齢層でも回答者の半数以上が将来像を肯定的に捉えている。

※10.0%未満の値は表示していない。

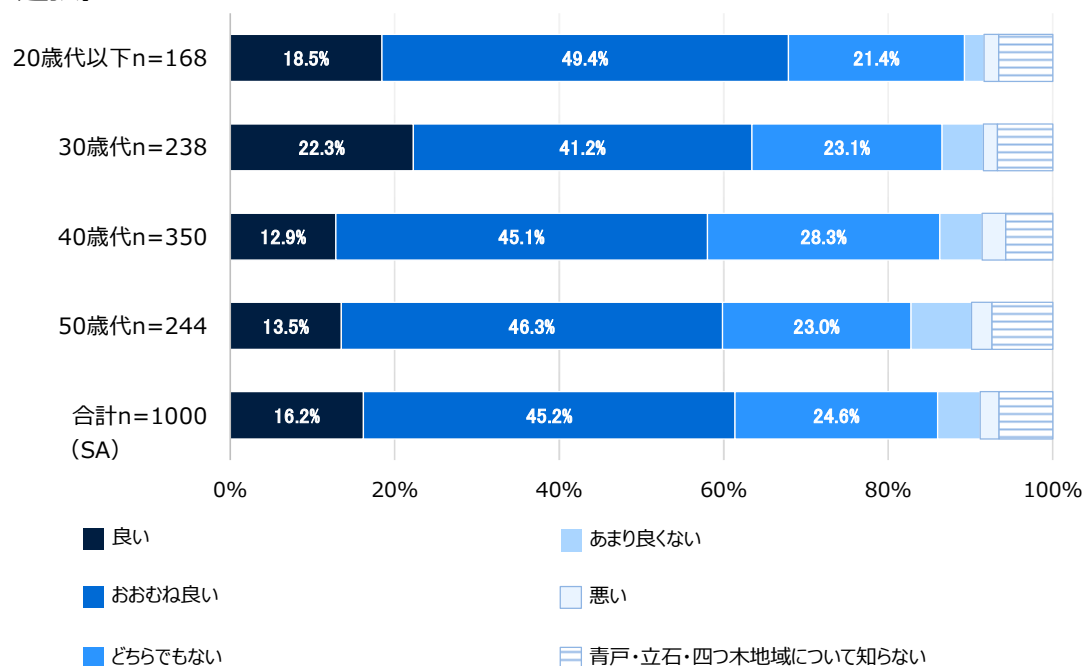
問 16 亀有・小菅・堀切・お花茶屋地域の将来像「広域拠点を中心に世代を越えた人々が集い、商業の賑わいと安全・快適で住み続けたい、自然と歴史を残すふるさとのまち」について（1つ選択）



○年齢に拘わらず「良い」と「おおむね良い」の合計は約6割～約7割となっており、どの年齢層でも回答者の半数以上が将来像を肯定的に捉えている。

※10.0%未満の値は表示していない。

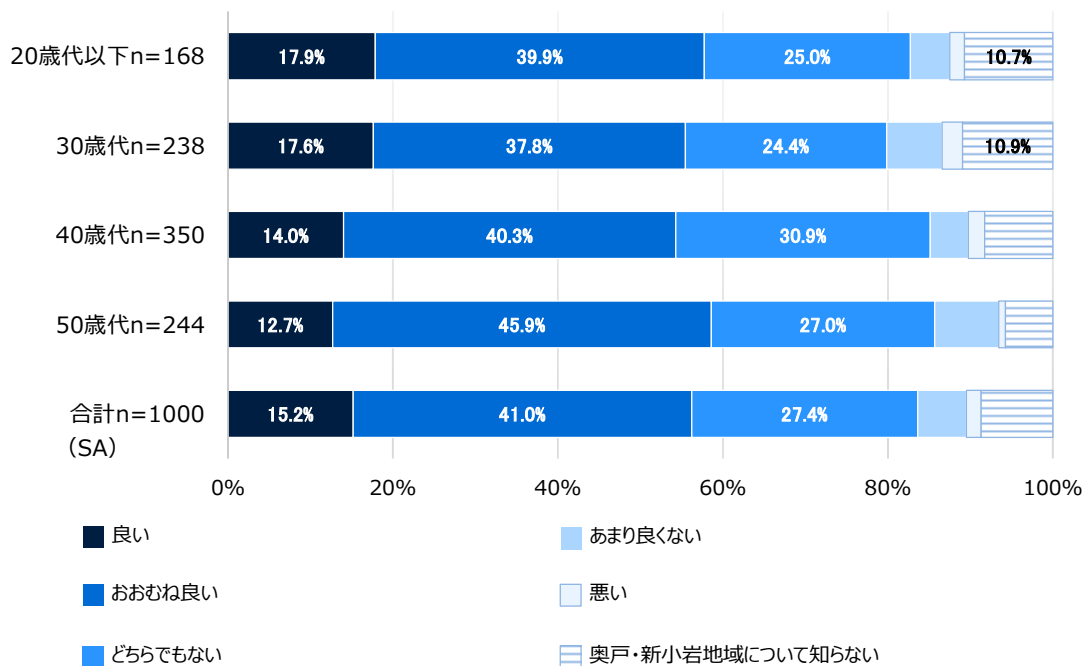
問 17 青戸・立石・四つ木地域の将来像「区を中心部として活気にあふれ、暮らしとなりわいが共生し、様々な世代が安全・快適に暮らせる、水と緑が身近に感じられるまち」について（1つ選択）



○年齢に拘わらず「良い」と「おおむね良い」の合計は約6割～約7割となっており、どの年齢層でも回答者の半数以上が将来像を肯定的に捉えている。

※10.0%未満の値は表示していない。

問 18 奥戸・新小岩地域の将来像「世代間交流が盛んで魅力的な広域拠点の形成と親水と浸水が両立した災害に強く緑が充実したまち」について（1つ選択）



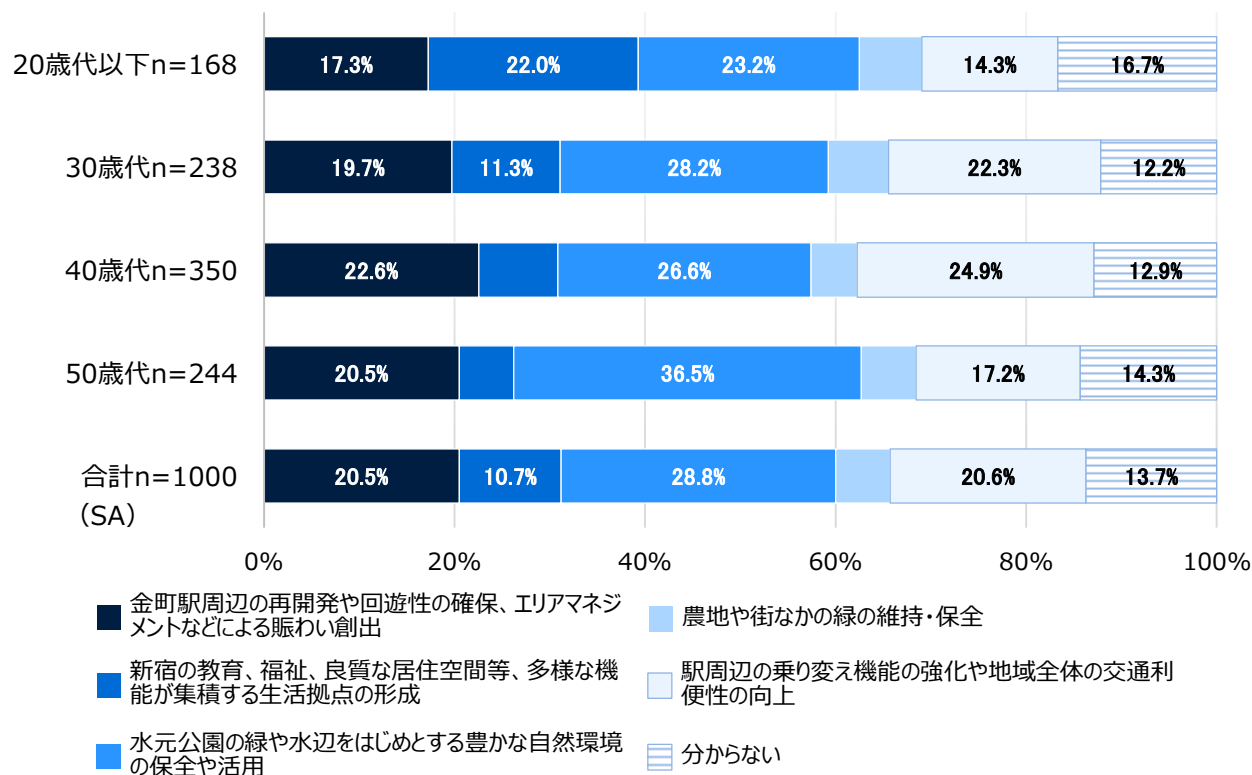
○年齢に拘わらず「良い」と「おおむね良い」の合計は約5割～約6割となっており、どの年齢層でも回答者の半数以上が将来像を肯定的に捉えている。

※10.0%未満の値は表示していない。

問 14～18 地域別の将来像についての共通事項

- どの地域に対しても、全ての年齢で「良い」が約1割～2割、「おおむね良い」が約4割～5割を占めている。将来像に関しては年齢に関係なく、おおむね肯定的に捉えられている。
- どの地域に対しても、40歳代と50歳代は「良い」の割合が約1割であり、20歳代以下と30歳代に比べてやや低い傾向がある。

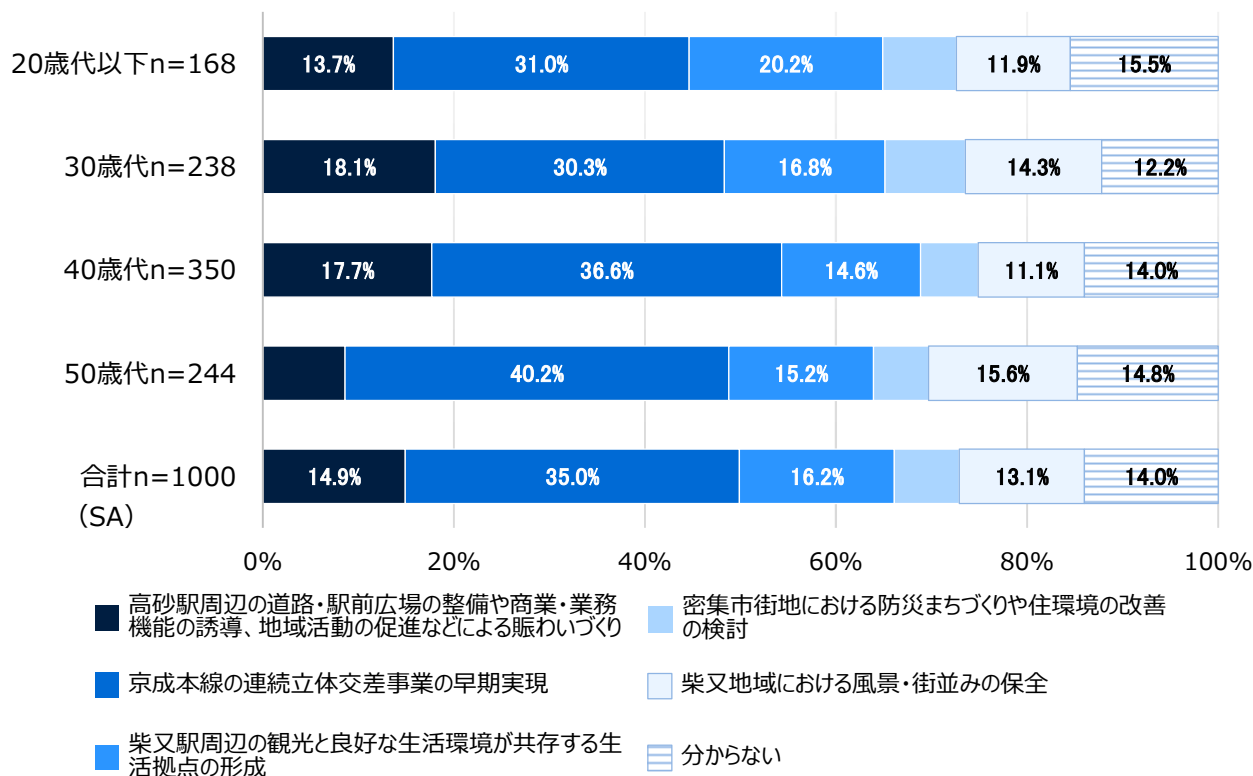
問 19 水元・金町・新宿地域で特に重要と思う取組（1つ選択）



- 全ての年齢層で共通して3割以上になる選択肢は見られなかった。
- 20歳代以下は、「新宿の教育、福祉、良質な居住空間等、多様な機能が集積する生活拠点の形成」が合計より10%以上高く、22%となっている。
- 50歳代は、「水元公園の緑や水辺をはじめとする豊かな自然環境の保全や活用」の割合が約37%と他の年齢層に比べて高い。

※10.0%未満の値は表示していない。

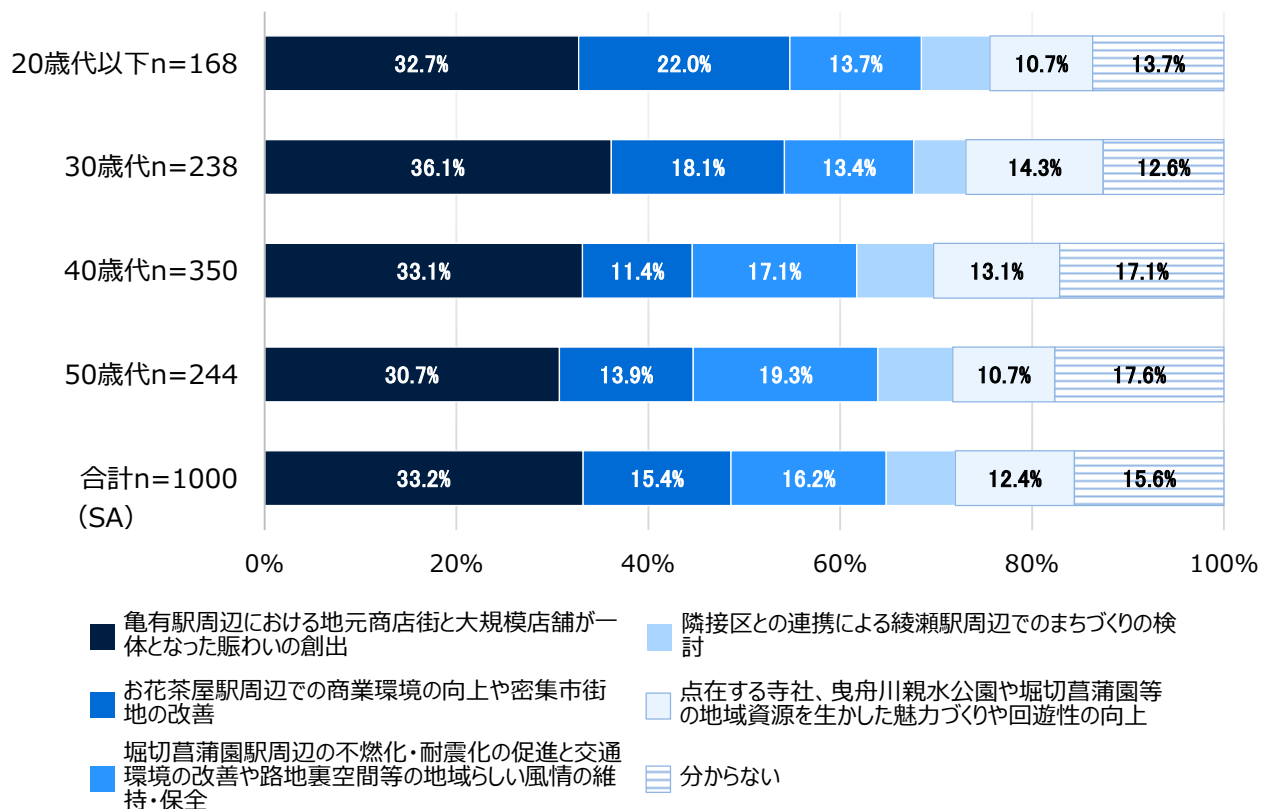
問 20 柴又・高砂地域で特に重要と思う取組（1つ選択）



○年齢に拘わらず「京成本線の連続立体交差事業の早期実現」は約3割～4割となっている。
 ○50歳代は、「京成本線の連続立体交差事業の早期実現」の割合が約40%と他の年齢層に比べて高い。

※10.0%未満の値は表示していない。

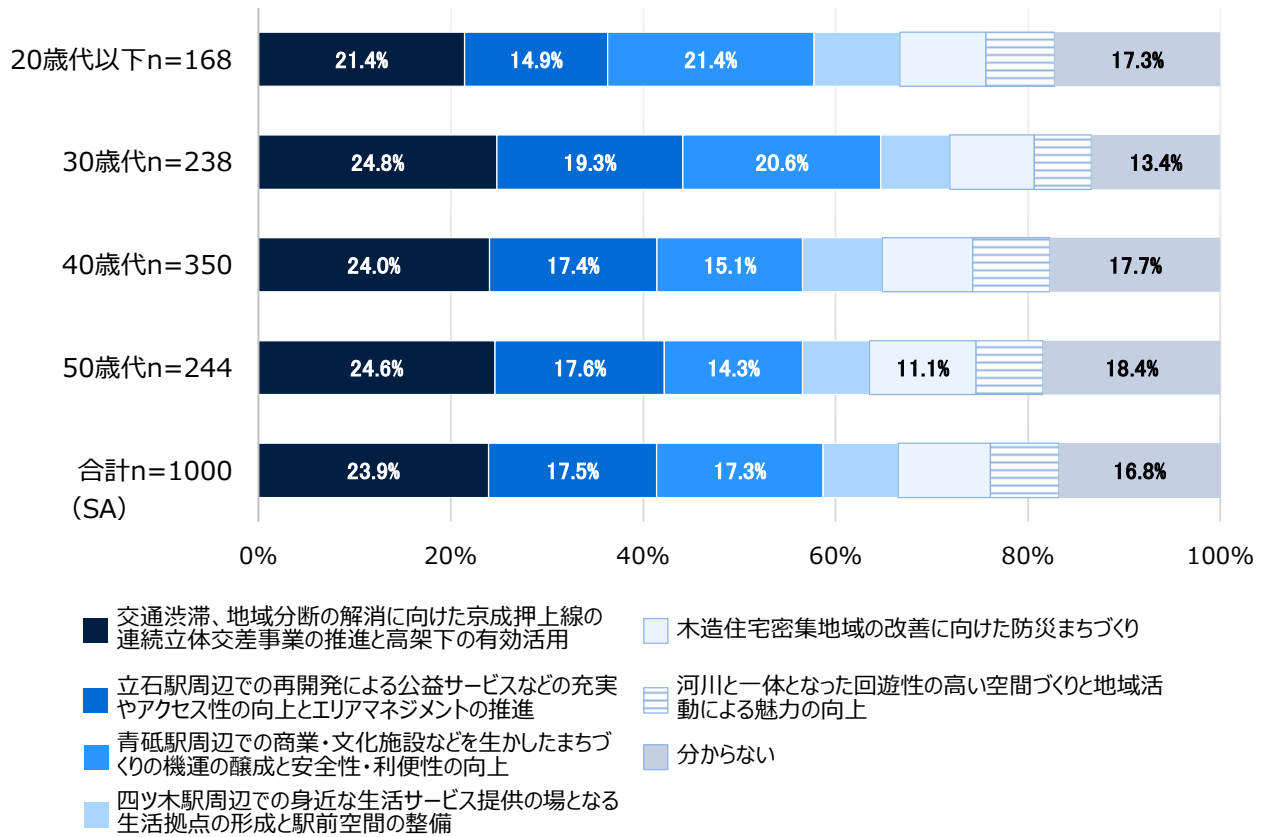
問 21 亀有・小菅・堀切・お花茶屋地域で特に重要と思う取組（1つ選択）



○年齢に拘わらず「亀有駅周辺における地元商店街と大規模店舗が一体となった賑わいの創出」は約 3 割～4 割となっている。

※10.0%未満の値は表示していない。

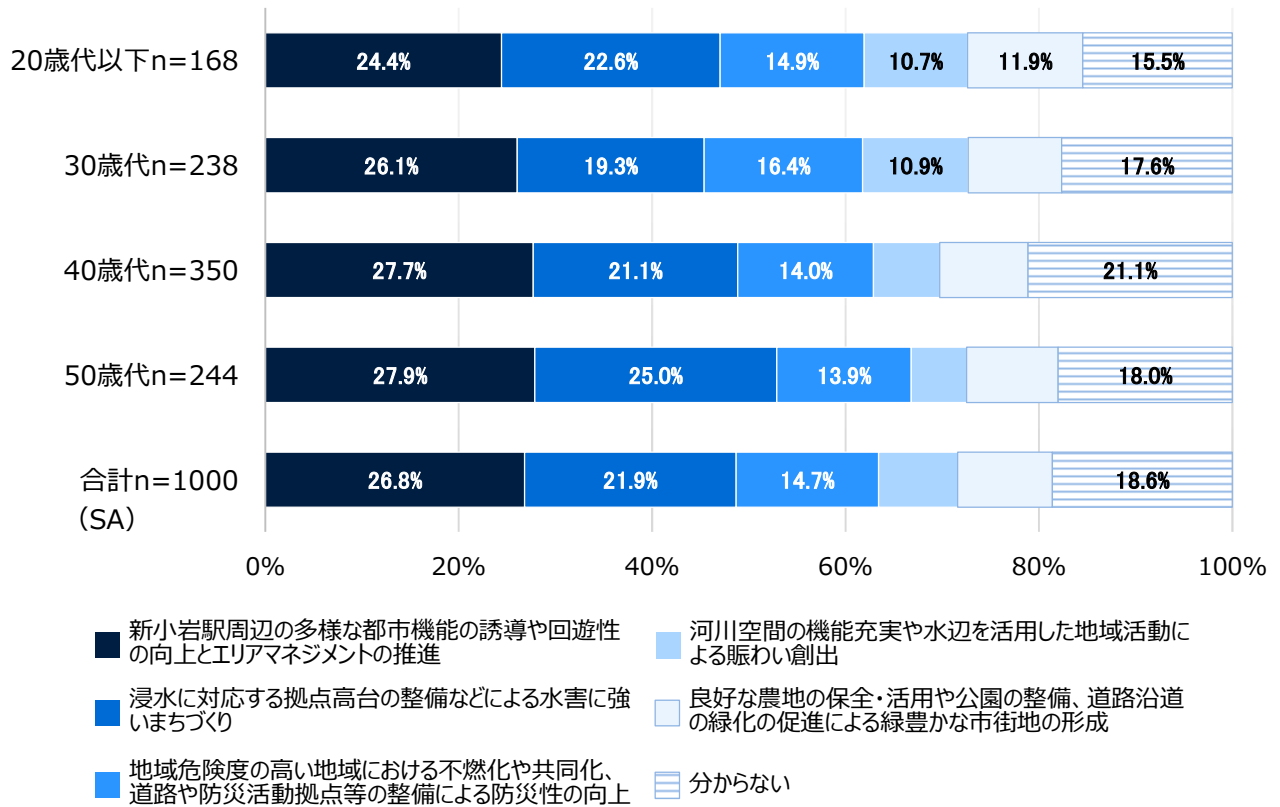
問 22 青戸・立石・四ツ木地域で特に重要と思う取組（1つ選択）



○全ての年齢層で共通して3割以上になる選択肢は見られなかった。
 ○どの年齢層も「交通渋滞、地域分断の解消に向けた京成押上線の連続立体交差事業の推進と高架下の有効活用」が約2割、「立石駅周辺での再開発による公益サービスなどの充実やアクセス性の向上とエリアマネジメントの推進」が約2割弱、「青砥駅周辺での商業・文化施設などを生かしたまちづくりの機運の醸成と安全性・利便性の向上」が約1割～約2割という構成となっている。

※10.0%未満の値は表示していない。

問 23 奥戸・新小岩地域で特に重要と思う取組（1つ選択）



○どの年齢層においても、合計と10%以上差のある選択肢は見られなかった。
 ○どの年齢層も「新小岩駅周辺の多様な都市機能の誘導や回遊性の向上とエリアマネジメントの推進」が約2割～約3割、「浸水に対応する拠点高台の整備などによる水害に強いまちづくり」が約2割、「地域危険度の高い地域における不燃化や共同化、道路や防災活動拠点等の整備による防災性の向上」が約1割という構成となっている。

※10.0%未満の値は表示していない。

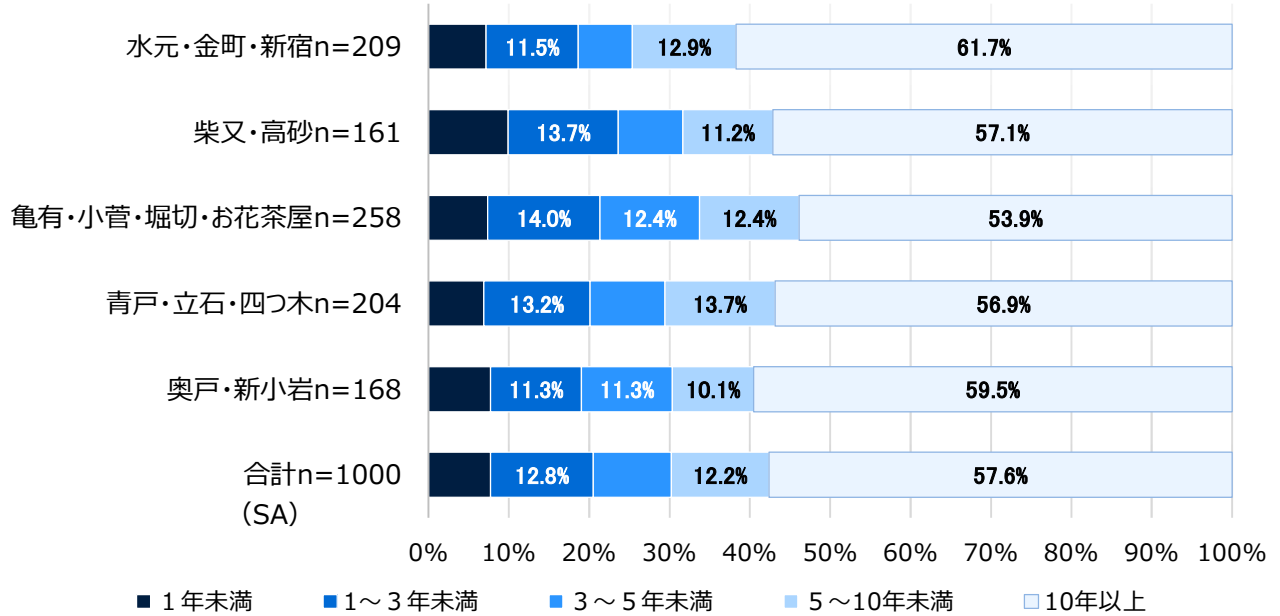
問 19～23 地域別の特に重要と思う取組みについての共通事項

○どの地域に対するどの年齢層の回答を見ても、5割以上の選択肢は見られない。割合が大きい選択肢に着目しても、柴又・高砂地域における「京成本線の連続立体交差事業の早期実現」（どの年齢層も約3割～4割）、亀有・小菅・堀切・お花茶屋地域における「亀有駅周辺における地元商店街と大規模店舗が一体となった賑わいの創出」（どの年齢層も約3割～4割）に限られる。
 ○どの地域に対するどの年齢層の回答を見ても、「分からない」が約1割～約2割を占める。

3-2. 居住地域別のクロス集計

居住地域による傾向を分析するために、問1～問23についてクロス集計を行った。結果は以下のとおりである。

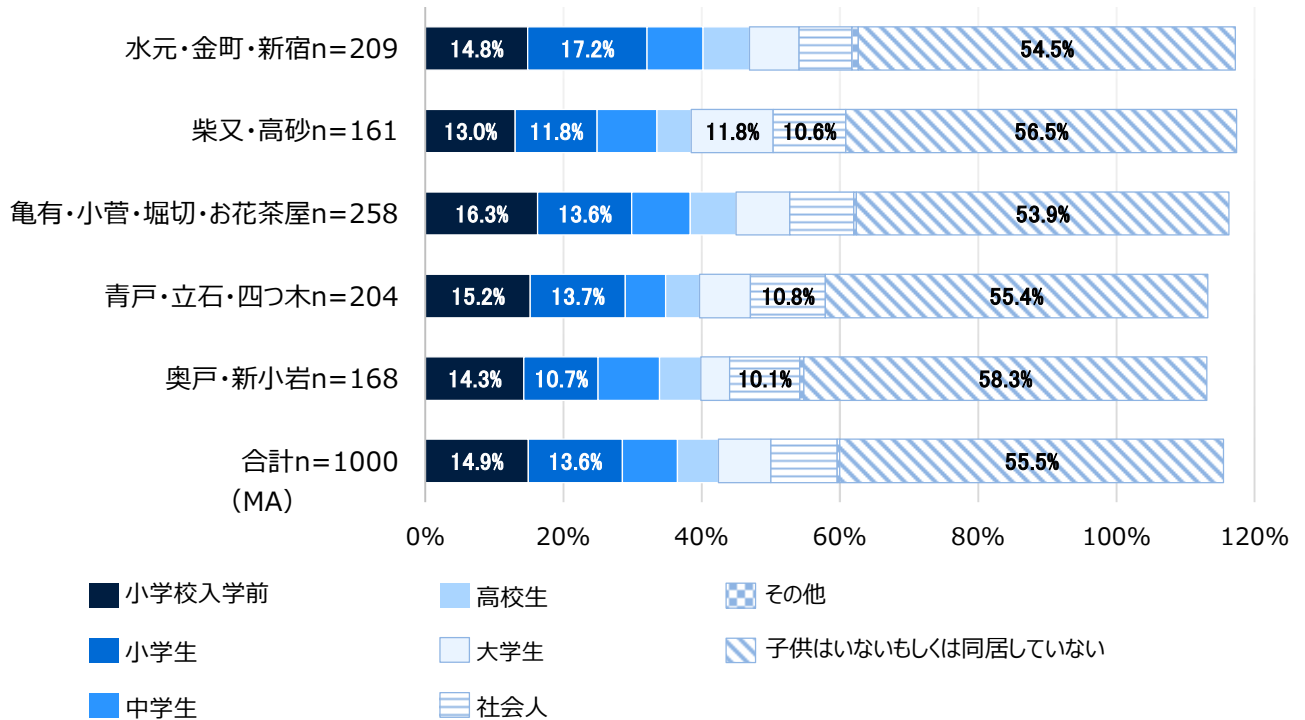
問1 回答者の居住年数（1つ選択）



○居住地域に拘わらず「10年以上」は約5割～6割となっている。

※10.0%未満の値は表示していない。

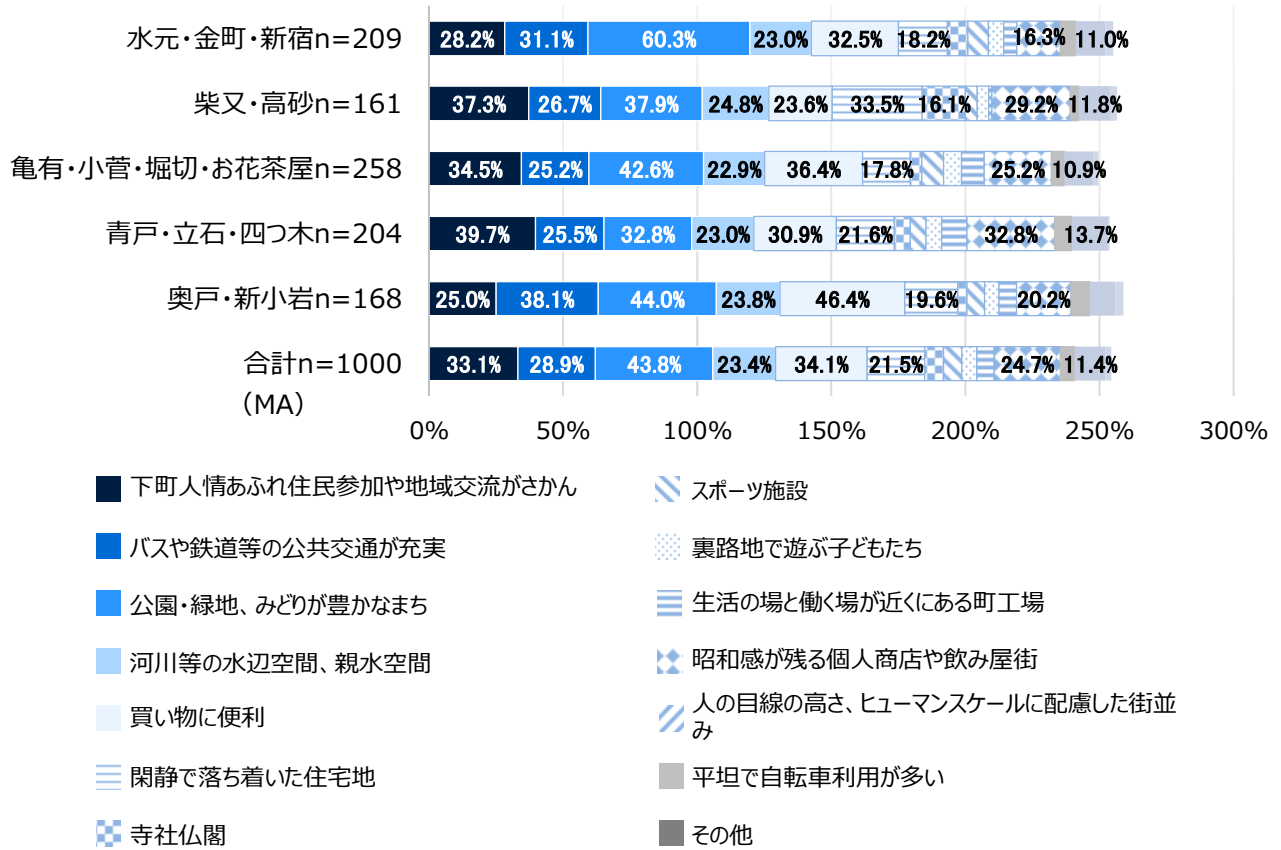
問2 同居している子ども（当てはまるものすべて選択）



○居住地域に拘わらず「子供はいないもしくは同居していない」は約5割～6割となっている。

※10.0%未満の値は表示していない。

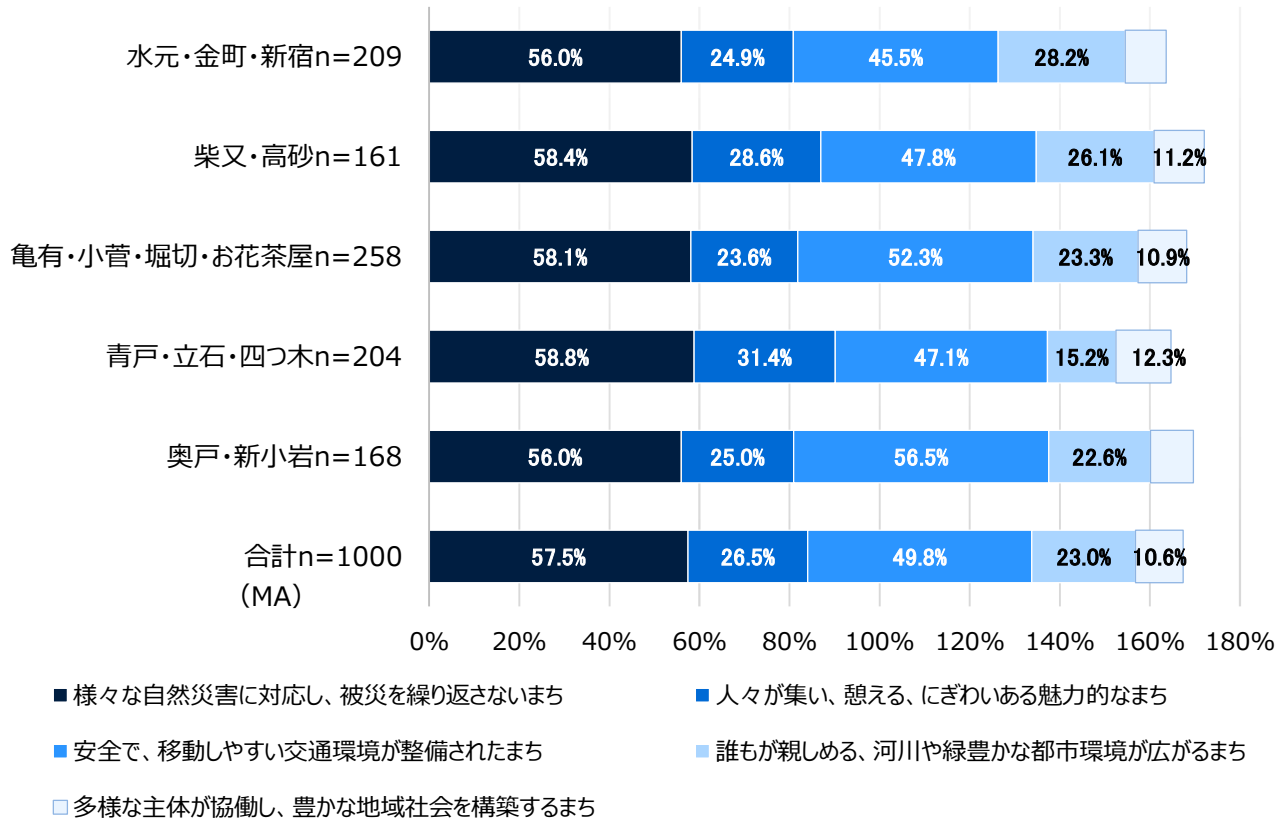
問3 将来にわたって残したい葛飾らしさ（3つまで選択）



○居住地に拘わらず「バスや鉄道等の公共交通が充実」は約3割～4割となっている。また、「公園・緑地、みどりが豊かなまち」は約3割～6割となっている。
 ○水元・金町・新宿は「公園・緑地、みどりが豊かなまち」が合計より10%以上高く、約60%となっている。
 ○柴又・高砂は「閑静で落ち着いた住宅地」が合計より10%以上高く、約34%となっている。
 ○奥戸・新小岩は「買い物に便利」が合計より10%以上高く、約46%となっている。

※10.0%未満の値は表示していない。

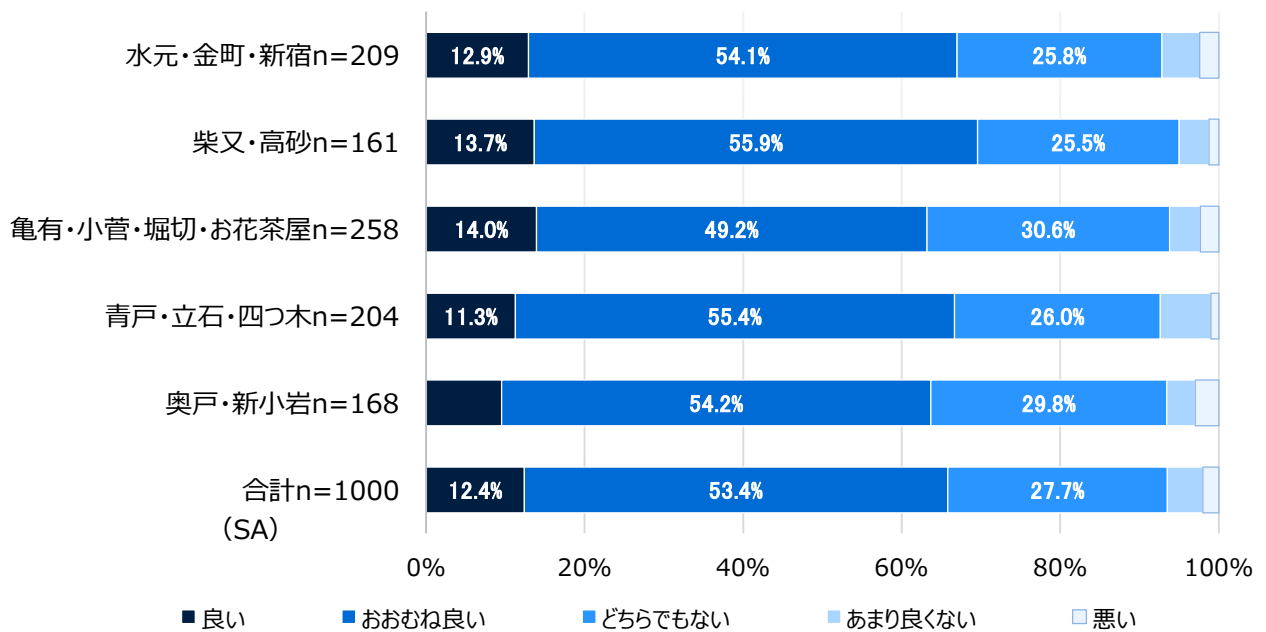
問4 まちづくりの目標で重要と思うもの（2つまで選択）



○居住地域に拘わらず「様々な自然災害に対応し、被災を繰り返さないまち」と「安全で、移動しやすい交通環境が整備されたまち」は約5割～6割と高くなっている。

※10.0%未満の値は表示していない。

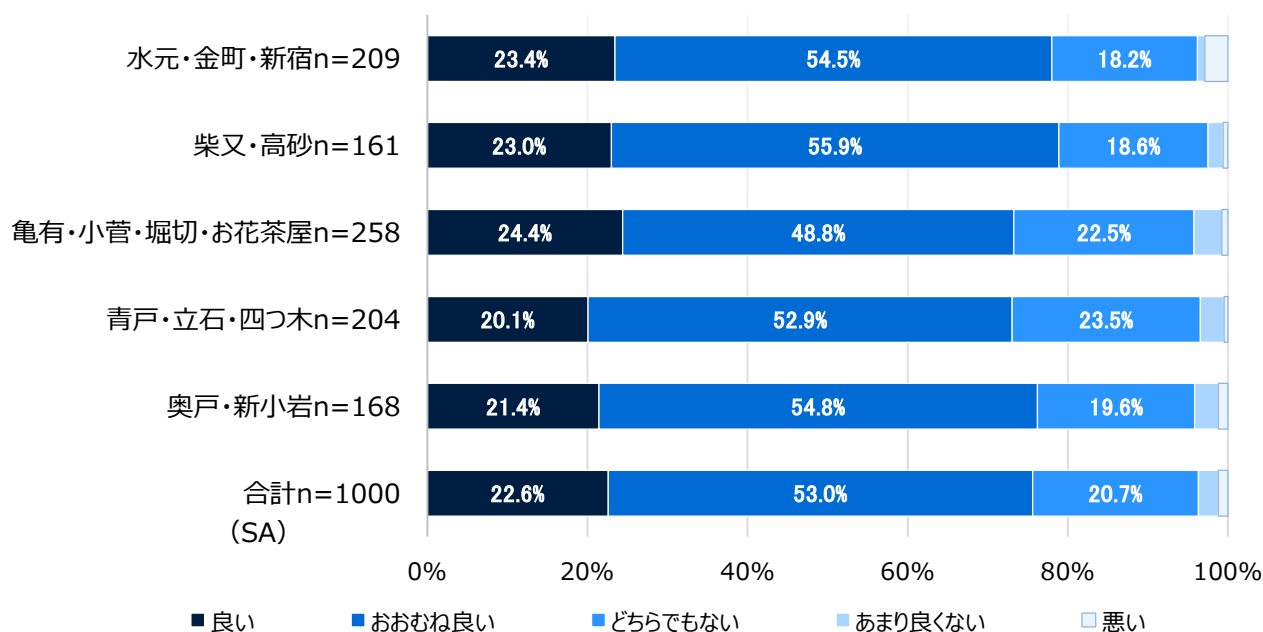
問5 50年程度先のまちの姿を描いた理想像（1つ選択）



○居住地域に拘わらず「良い」と「おおむね良い」の合計は約6割～約7割と高く、どの地域でも回答者の半数以上が50年程度先の理想像をおおむね肯定的に捉えている。
○一方で、「どちらでもない」も居住地域に拘わらず約3割となっている。

※10.0%未満の値は表示していない。

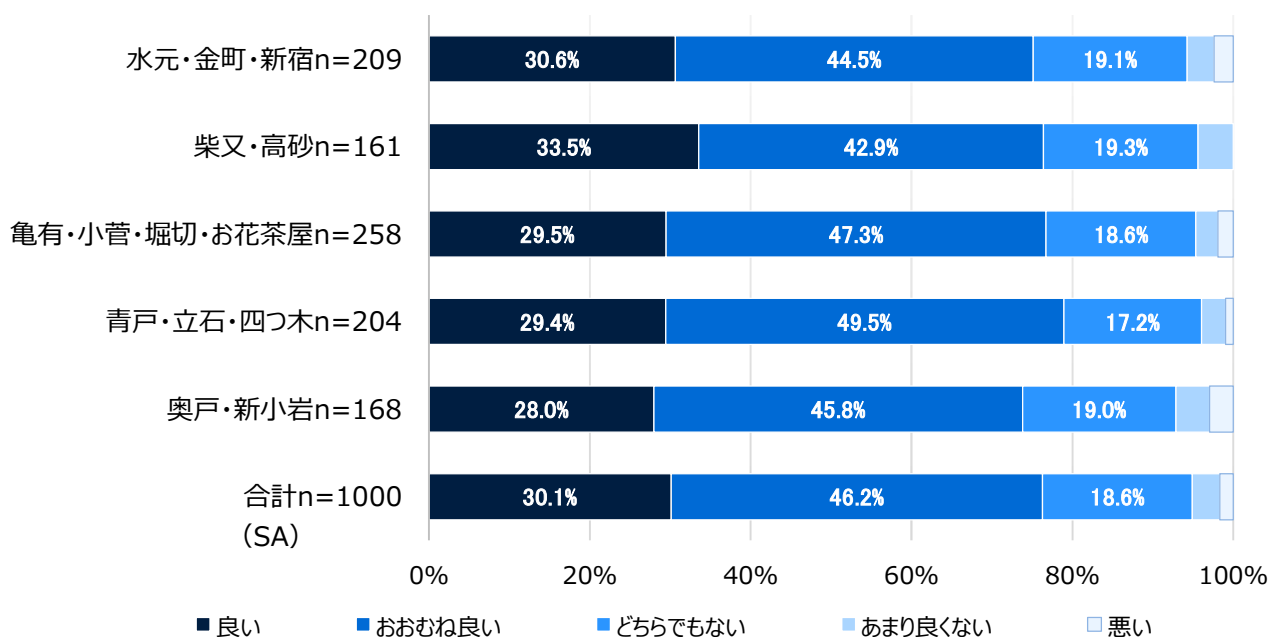
問 6 地域構造の「豊かな水や緑を保全するエリア」において、低層・低密度で緑豊かなゆとりある住宅地や農地を保全していくことについて（1つ選択）



○居住地域に拘わらず「良い」と「おおむね良い」の合計は約7割～約8割と高く、どの地域でも回答者の半数以上が「豊かな水と緑を保全するエリア」の方針をおおむね肯定的に捉えている。

※10.0%未満の値は表示していない。

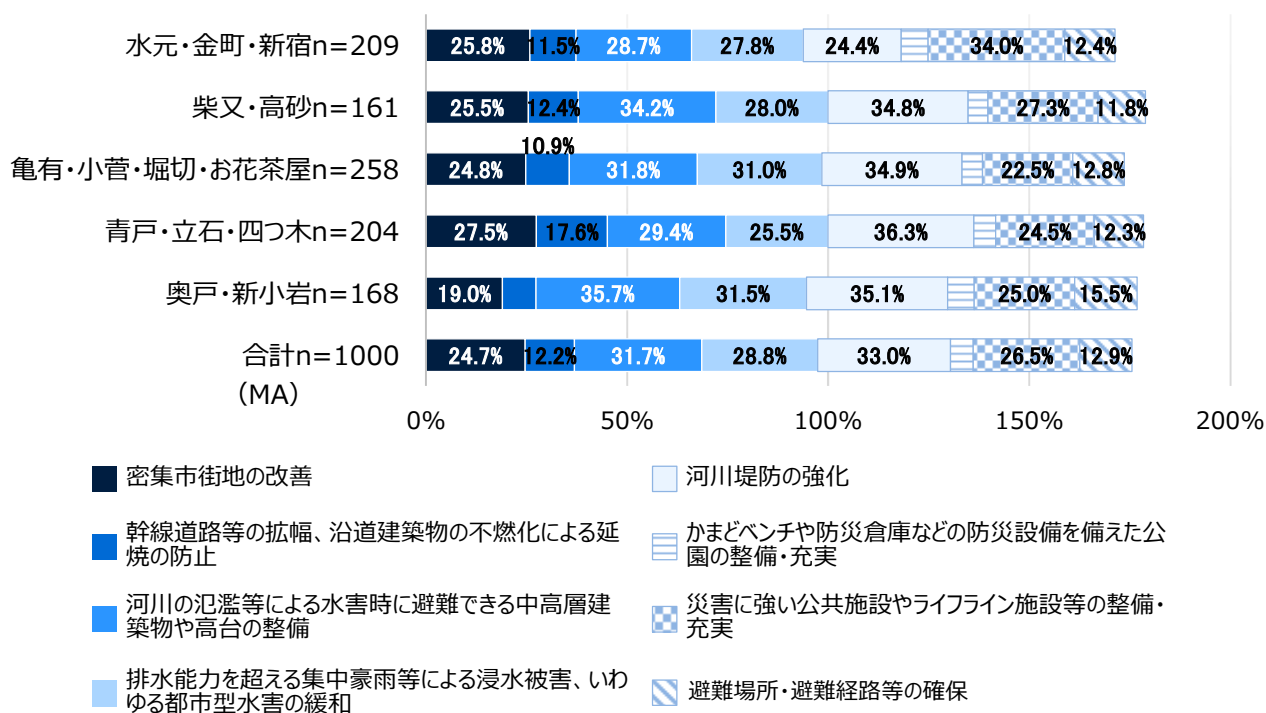
問 7 地域構造の「高台化など浸水対応を促進するエリア」において、自宅などの建物を建替える際、洪水時に2・3階へ避難できるなど、浸水に対応した建物にすることについて（1つ選択）



○居住地域に拘わらず「良い」と「おおむね良い」の合計は約7割～約8割と高く、どの地域でも回答者の半数以上が「高台化など浸水対応を促進するエリア」の方針をおおむね肯定的に捉えている。

※10.0%未満の値は表示していない。

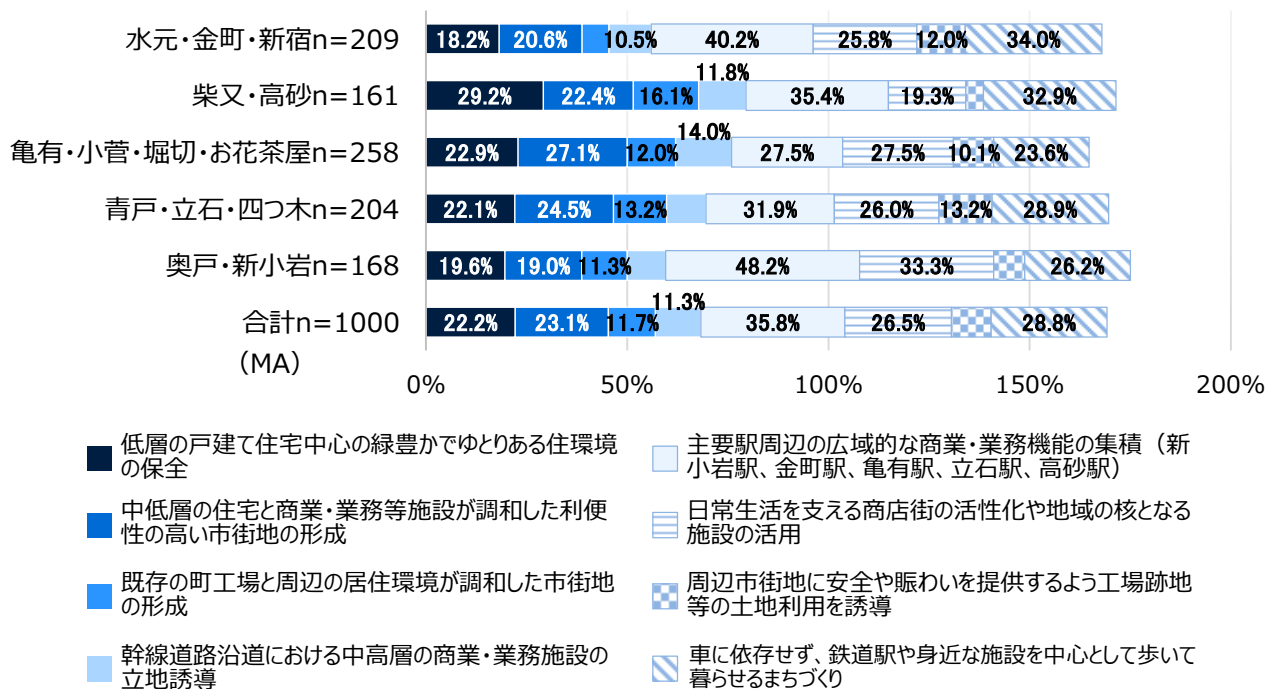
問 8 「防災まちづくりの方針」で特に重要と思う取組（2 つまで選択）



○居住地域に拘わらず「河川の氾濫等による水害時に避難できる中高層建築物や高台の整備」と「排水能力を超える集中豪雨等による浸水被害、いわゆる都市型水害の緩和」は約 3 割となっている。

※10.0%未満の値は表示していない。

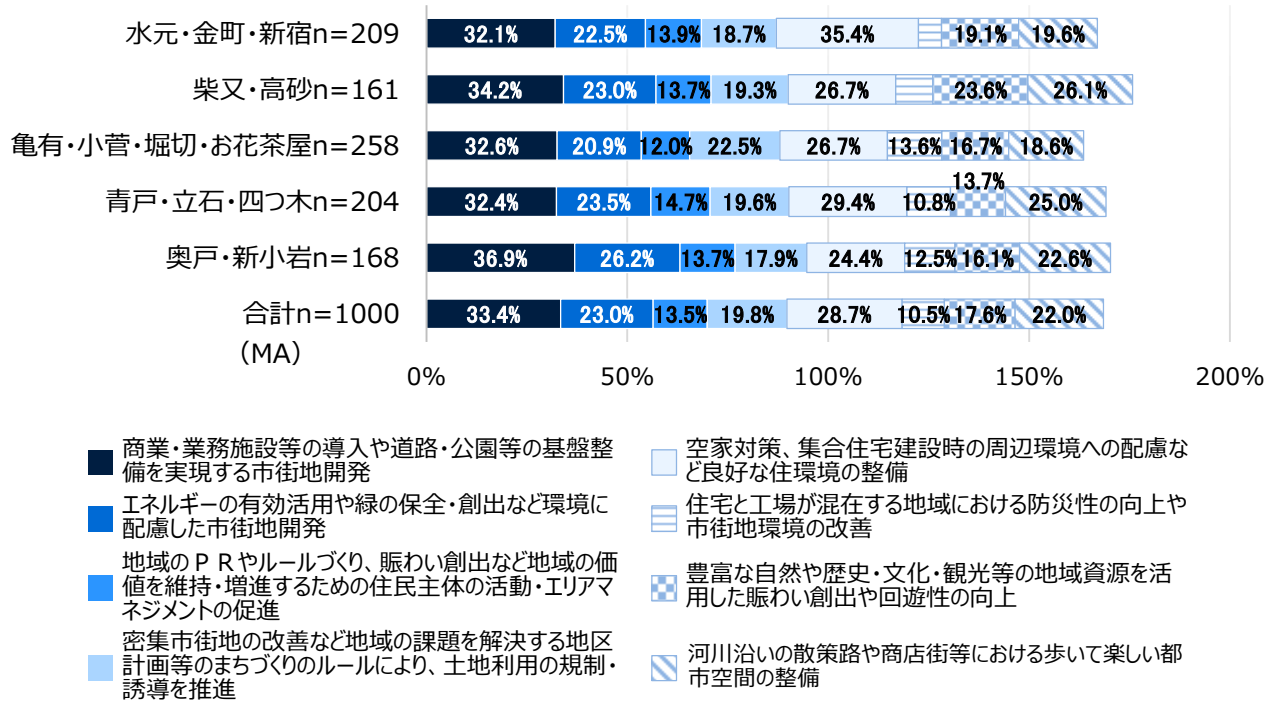
問9 「土地利用の方針」で特に重要と思う取組（2つまで選択）



○居住地域に拘わらず「主要駅周辺の広域的な商業・業務機能の集積（新小岩駅、金町駅、亀有駅、立石駅、高砂駅）」は約3割～5割となっている。特に、奥戸・新小岩は合計より10%以上高く、約48%となっている。

※10.0%未満の値は表示していない。

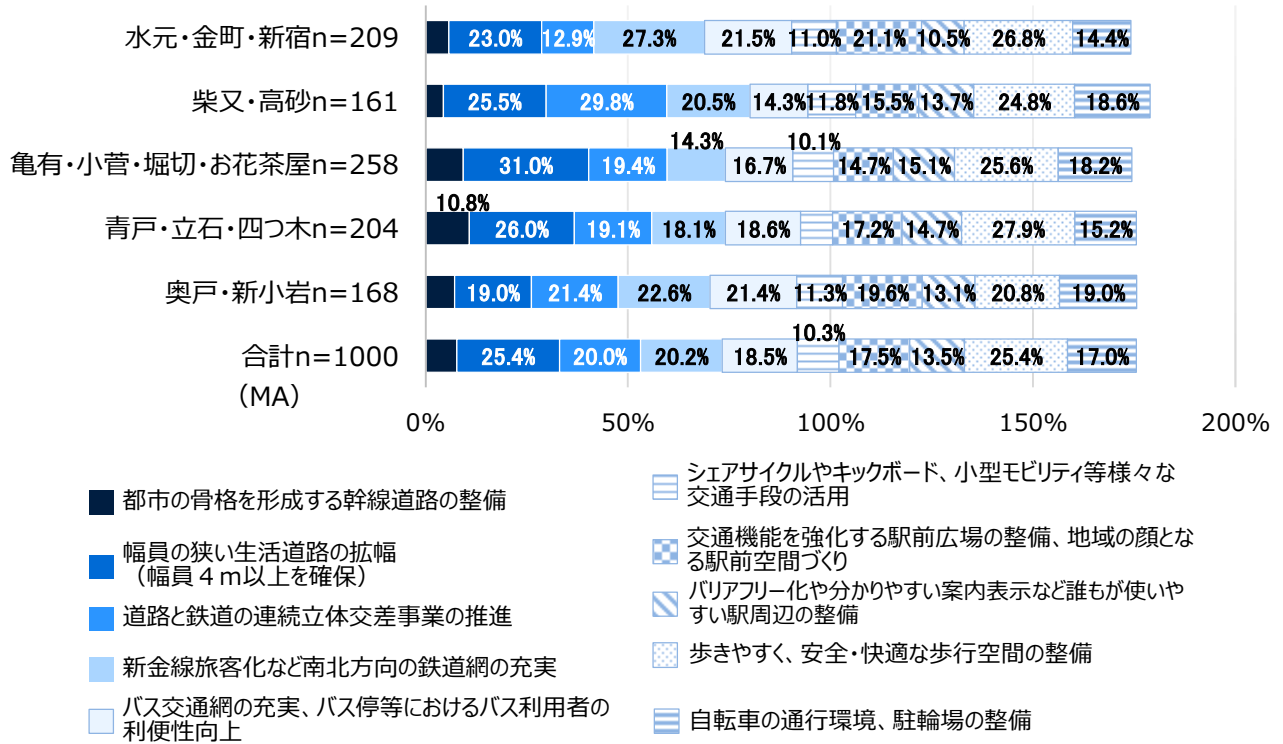
問 10 「市街地整備の方針」で特に重要と思う取組（2 つまで選択）



○居住地域に拘わらず「商業・業務施設等の導入や道路・公園等の基盤整備を実現する市街地開発」は約3割～4割となっている。

※10.0%未満の値は表示していない。

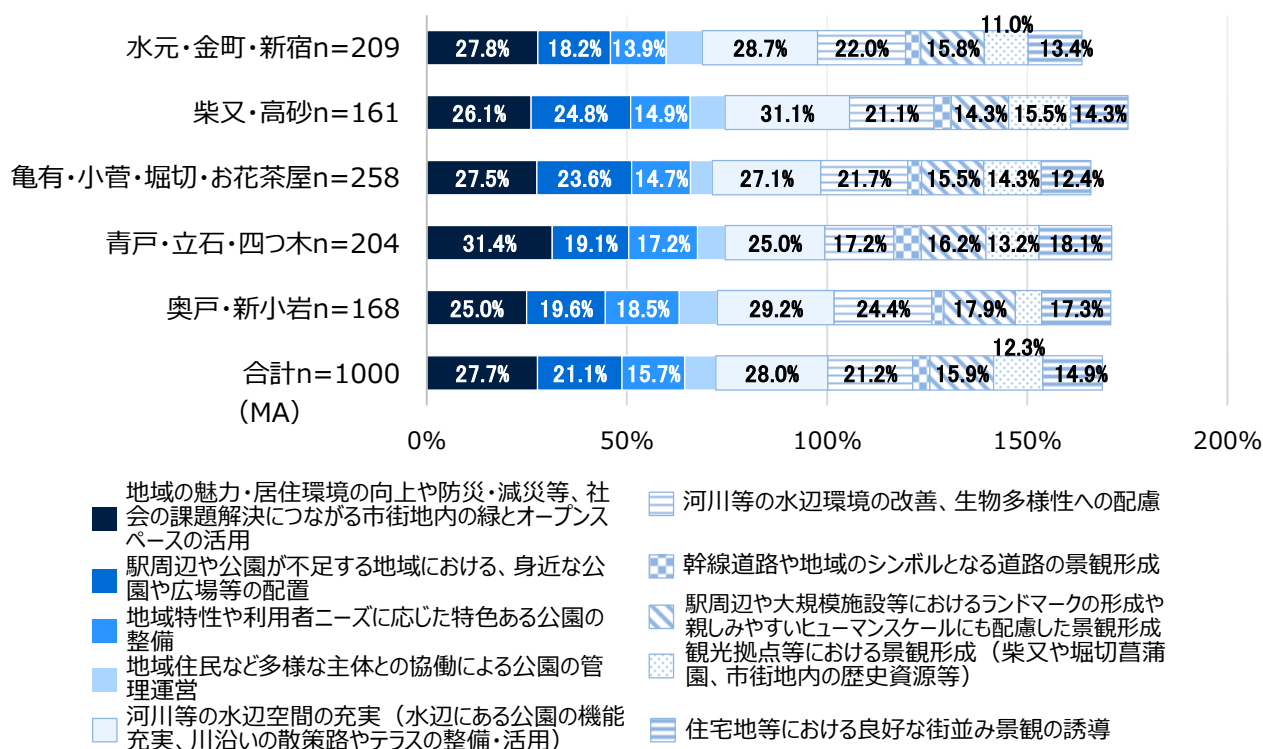
問 11 「交通体系整備の方針」で特に重要と思う取組（2 つまで選択）



○全ての居住地域で共通して3割以上になる選択肢は見られなかった。
 ○柴又・高砂は「道路と鉄道の連続立体交差事業の推進」が比較的高く、約30%となっている。
 ○亀有・小菅・堀切・お花茶屋は「幅員の狭い生活道路の拡幅（幅員4m以上を確保）」が比較的高く、約31%となっている。

※10.0%未満の値は表示していない。

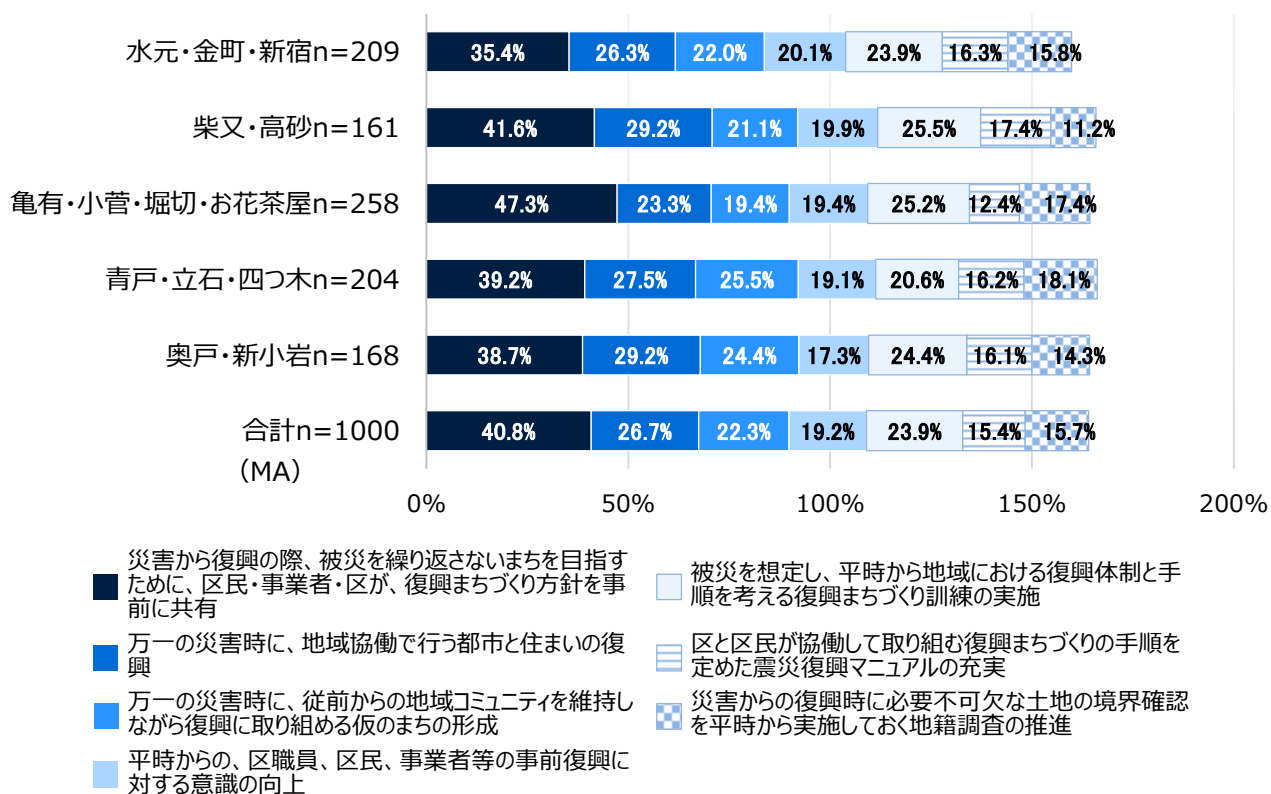
問 12 「緑と水辺の整備、景観形成の方針」で特に重要と思う取組（2つまで選択）



- 全ての居住地域で共通して3割以上になる選択肢は見られなかった。
- 青戸・立石・四つ木は「地域の魅力・居住環境の向上や防災・減災等、社会の課題解決につながる市街地内の緑とオープンスペースの活用」が比較的高く、約31%となっている。
- 奥戸・新小岩は「観光拠点等における景観形成（柴又や堀切菖蒲園、市街地内の歴史資源等）」が比較的低く、約7%となっている。

※10.0%未満の値は表示していない。

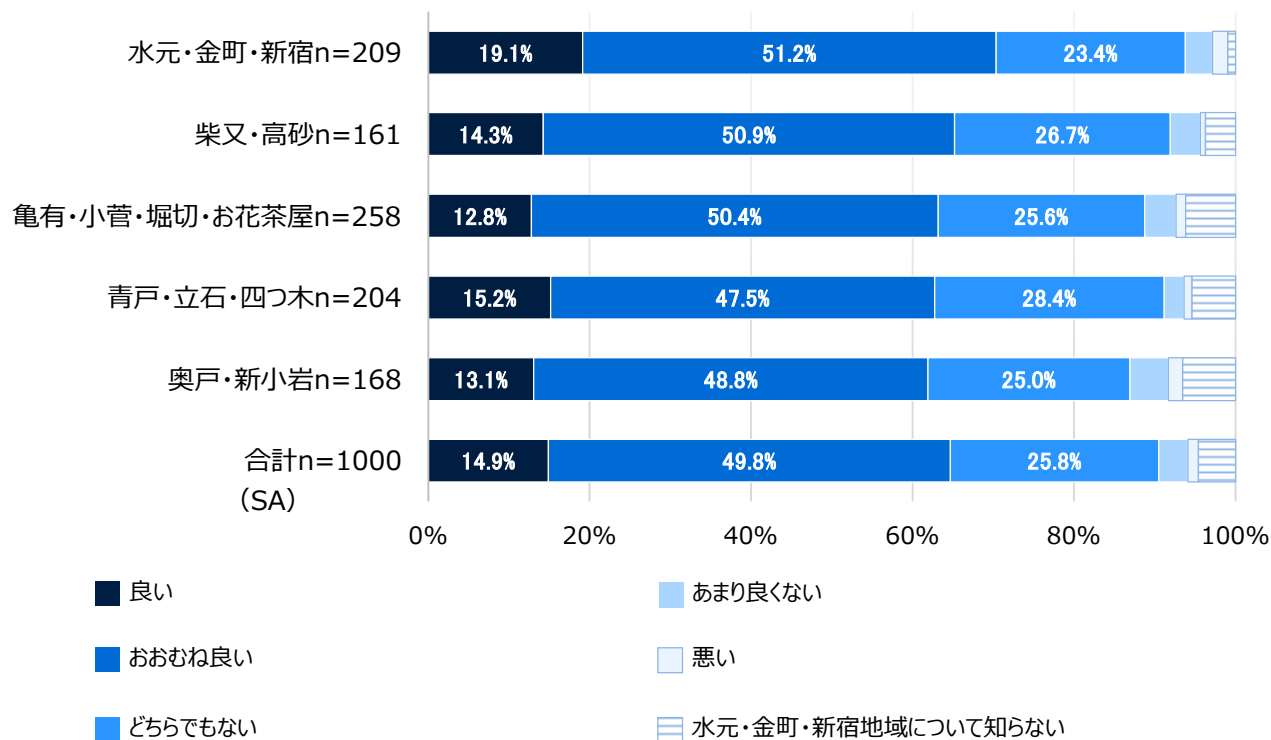
問 13 「復興まちづくりの方針」で特に重要と思う取組（2 つまで選択）



○居住地域に拘わらず「災害から復興の際、被災を繰り返さないまちを目指すために、区民・事業者・区が、復興まちづくり方針を事前に共有」は約 4 割～5 割となっている。

※10.0%未満の値は表示していない。

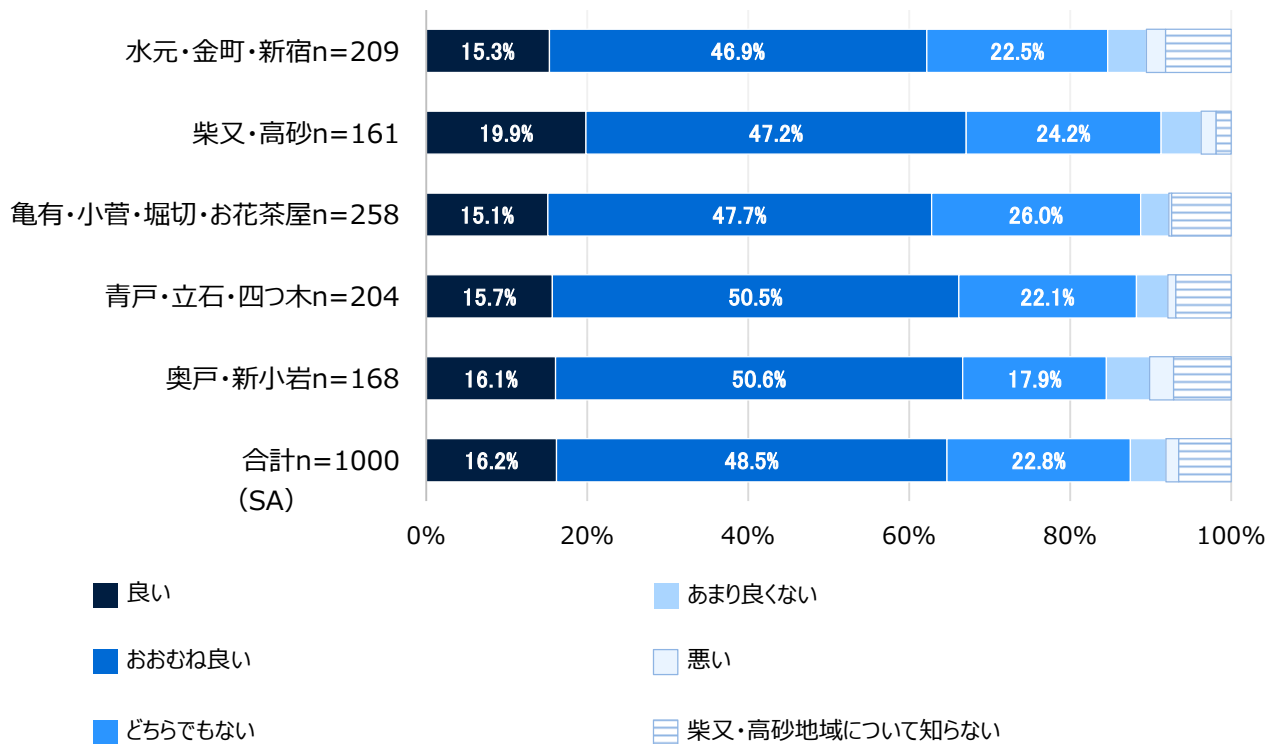
問 14 水元・金町・新宿地域の将来像「賑わいと活力ある拠点の形成と豊かな自然環境に恵まれ、都市の利便性・快適性を享受できる住み良いまち」について（1つ選択）



○居住地に拘わらず「良い」と「おおむね良い」の合計は約6割～約7割となっており、どの地域でも回答者の半数以上が将来像を肯定的に捉えている。
 ○水元・金町・新宿地域の居住者に着目すると、「良い」が約19%と他の地域に比べてやや高くなっている。「おおむね良い」と合わせると約70%であり、居住者から見ても将来像について概ね肯定的に捉えられていることが読み取れる。

※10.0%未満の値は表示していない。

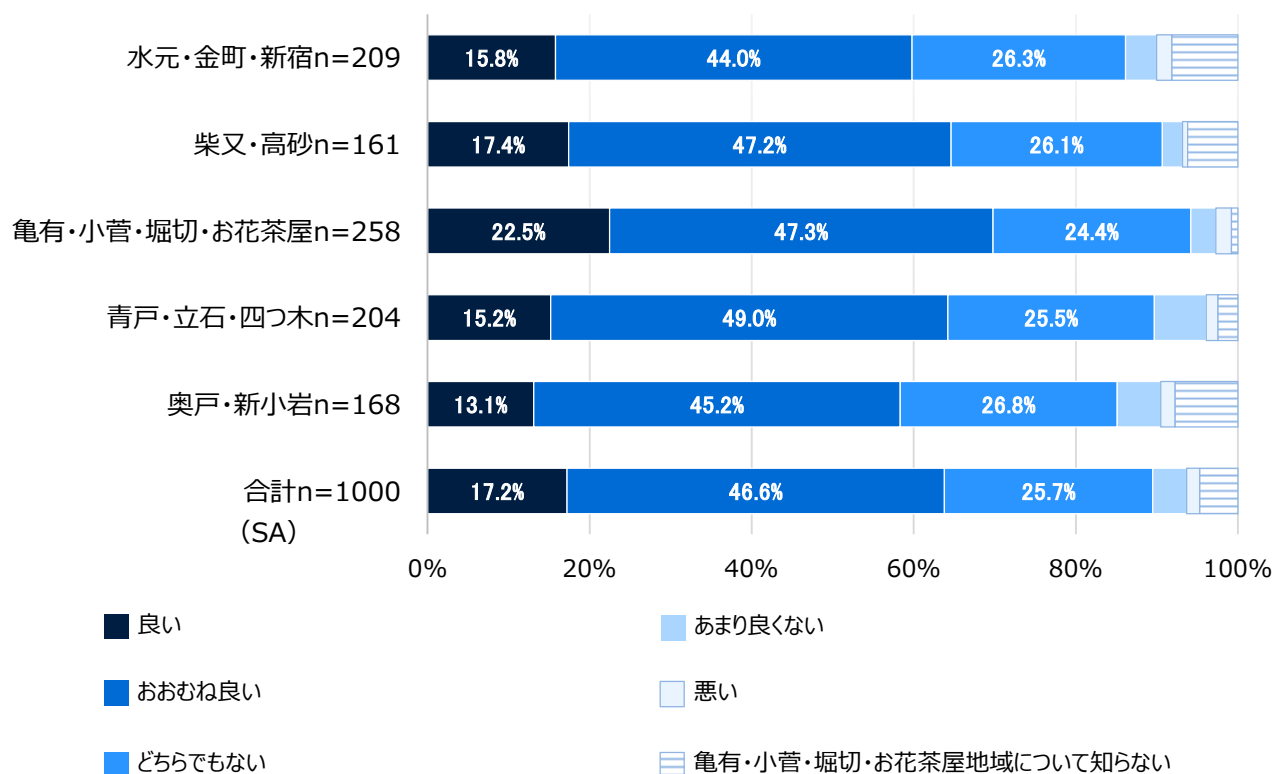
問 15 柴又・高砂地域の将来像「魅力ある歴史的景観資源と駅周辺の都市機能創出による賑わいある多世代が暮らしたくなる水辺のまち」について（1つ選択）



○居住地に拘わらず「良い」と「おおむね良い」の合計は約6割～約7割となっており、どの地域でも回答者の半数以上が将来像を肯定的に捉えている。
 ○柴又・高砂地域の居住者に着目すると、「良い」が約20%と他の地域に比べてやや高くなっている。「おおむね良い」と合わせると約67%であり、居住者から見ても将来像について概ね肯定的に捉えられていることが読み取れる。

※10.0%未満の値は表示していない。

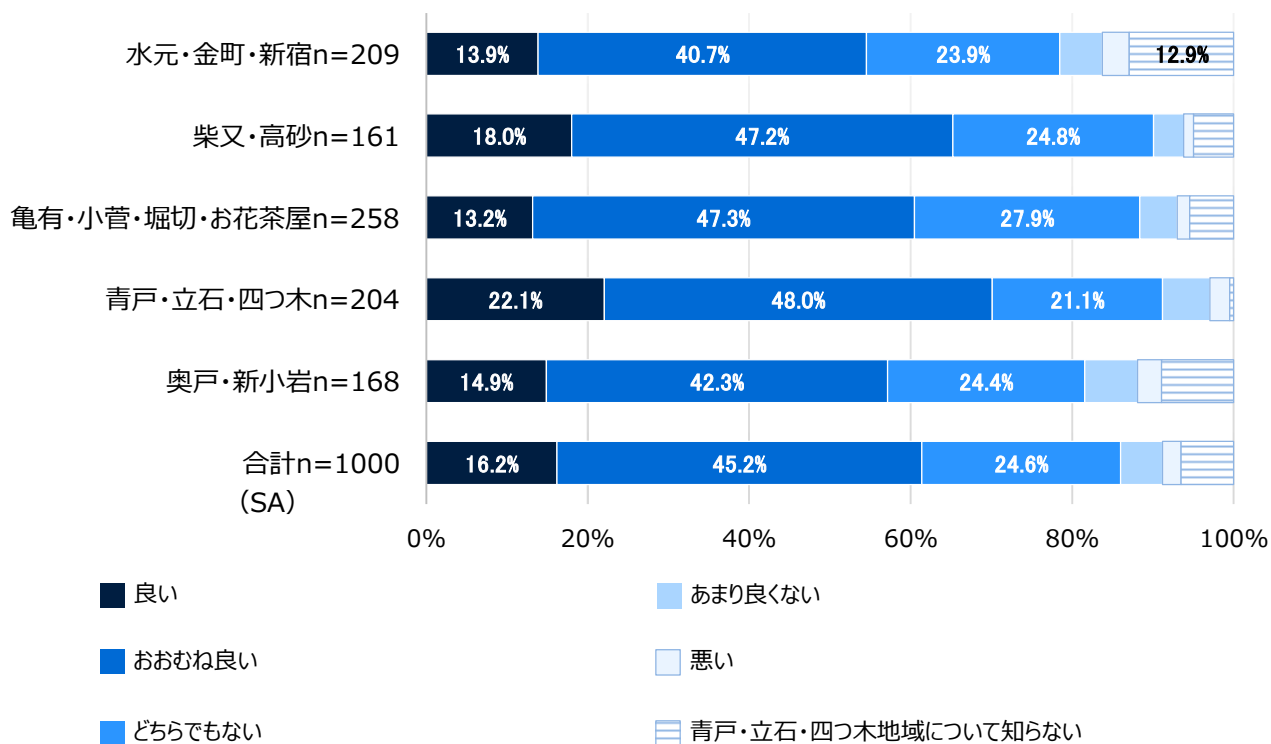
問 16 亀有・小菅・堀切・お花茶屋地域の将来像「広域拠点を中心に世代を越えた人々が集い、商業の賑わいと安全・快適で住み続けたい、自然と歴史を残すふるさとのまち」について（1つ選択）



○居住地に拘わらず「良い」と「おおむね良い」の合計は約6割～約7割となっており、どの地域でも回答者の半数以上が将来像を肯定的に捉えている。
 ○亀有・小菅・堀切・お花茶屋地域の居住者に着目すると、「良い」が約23%と他の地域に比べてやや高くなっている。「おおむね良い」と合わせると約70%であり、居住者から見ても将来像について概ね肯定的に捉えられていることが読み取れる。

※10.0%未満の値は表示していない。

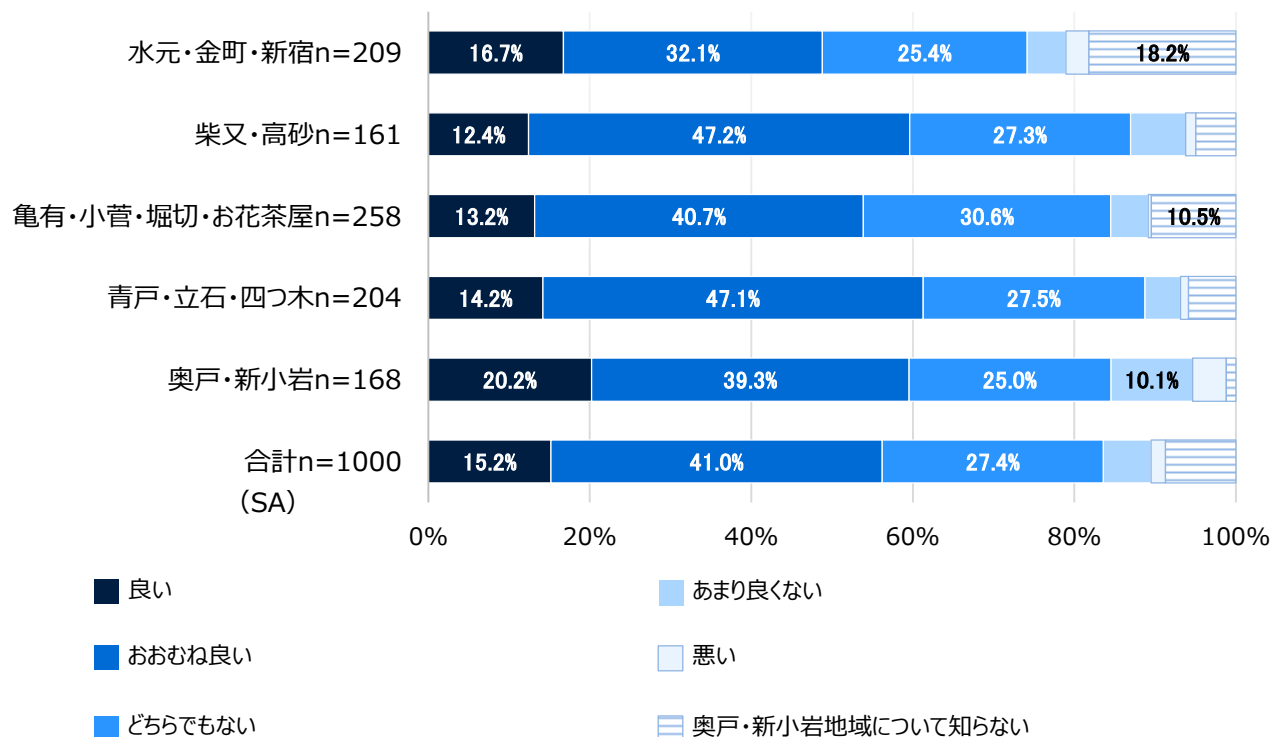
問 17 青戸・立石・四つ木地域の将来像「区を中心部として活気にあふれ、暮らしとなりわいが共生し、様々な世代が安全・快適に暮らせる、水と緑が身近に感じられるまち」について（1つ選択）



○居住地に拘わらず「良い」と「おおむね良い」の合計は約5割～約7割となっており、どの地域でも回答者の半数以上が将来像を肯定的に捉えている。
 ○青戸・立石・四つ木地域の居住者に着目すると、「良い」が約22%と他の地域に比べてやや高くなっている。「おおむね良い」と合わせると約70%であり、居住者から見ても将来像について概ね肯定的に捉えられていることが読み取れる。

※10.0%未満の値は表示していない。

問 18 奥戸・新小岩地域の将来像「世代間交流が盛んで魅力的な広域拠点の形成と親水と浸水が両立した災害に強く緑が充実したまち」について（1つ選択）



○居住地に拘わらず「良い」と「おおむね良い」の合計は約5割～約6割となっており、どの地域でも回答者の半数以上が将来像を肯定的に捉えている。
 ○奥戸・新小岩地域の居住者に着目すると、「良い」が約20%と他の地域に比べてやや高くなっている。「おおむね良い」と合わせると約60%であり、居住者から見ても将来像について概ね肯定的に捉えられていることが読み取れる。

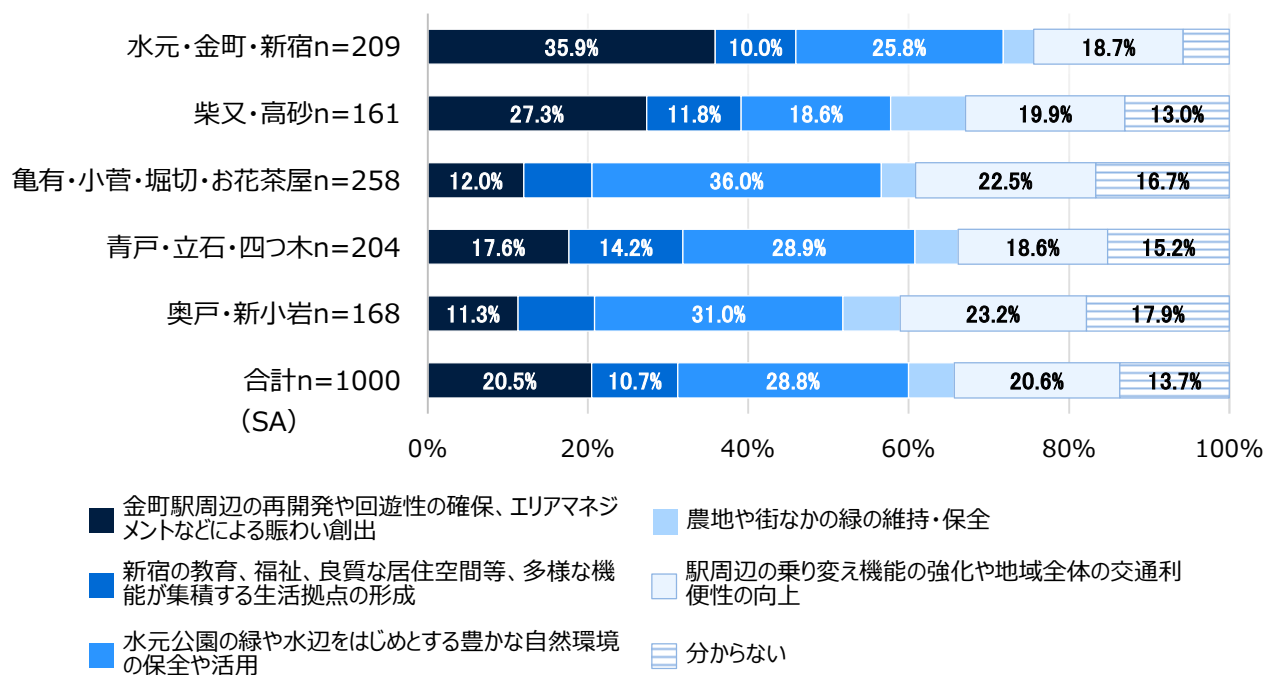
※10.0%未満の値は表示していない。

問 14～18 地域別の将来像についての共通事項

○どの地域に対しても、居住している地域に拘わらず「良い」と「おおむね良い」が約5～7割を占めており、回答者の半数以上が将来像をおおむね肯定的に捉えている。
 ○自分が居住している地域の将来像については、「良い」の割合が約2割を占めており、他の地域の居住者に比べて肯定的に捉える傾向が読み取れる。また、自分が居住している地域の設問では「地域について知らない」の割合が比較的小さい。
 ○自分が居住している地域の将来像について「良い」と「おおむね良い」の割合を5つの地域で比較すると、以下ようになる。どの地域も居住者の回答の半分以上が将来像を肯定的に捉えているが、奥戸・新小岩地域のみ若干割合が低い。

- ・水元・金町・新宿地域 : 約70% (良い: 約19%、おおむね良い: 約51%)
- ・柴又・高砂地域 : 約67% (良い: 約20%、おおむね良い: 約47%)
- ・亀有・小菅・堀切・お花茶屋地域 : 約70% (良い: 約23%、おおむね良い: 約47%)
- ・青戸・立石・四つ木地域 : 約70% (良い: 約22%、おおむね良い: 約48%)
- ・奥戸・新小岩地域 : 約60% (良い: 約20%、おおむね良い: 約39%)

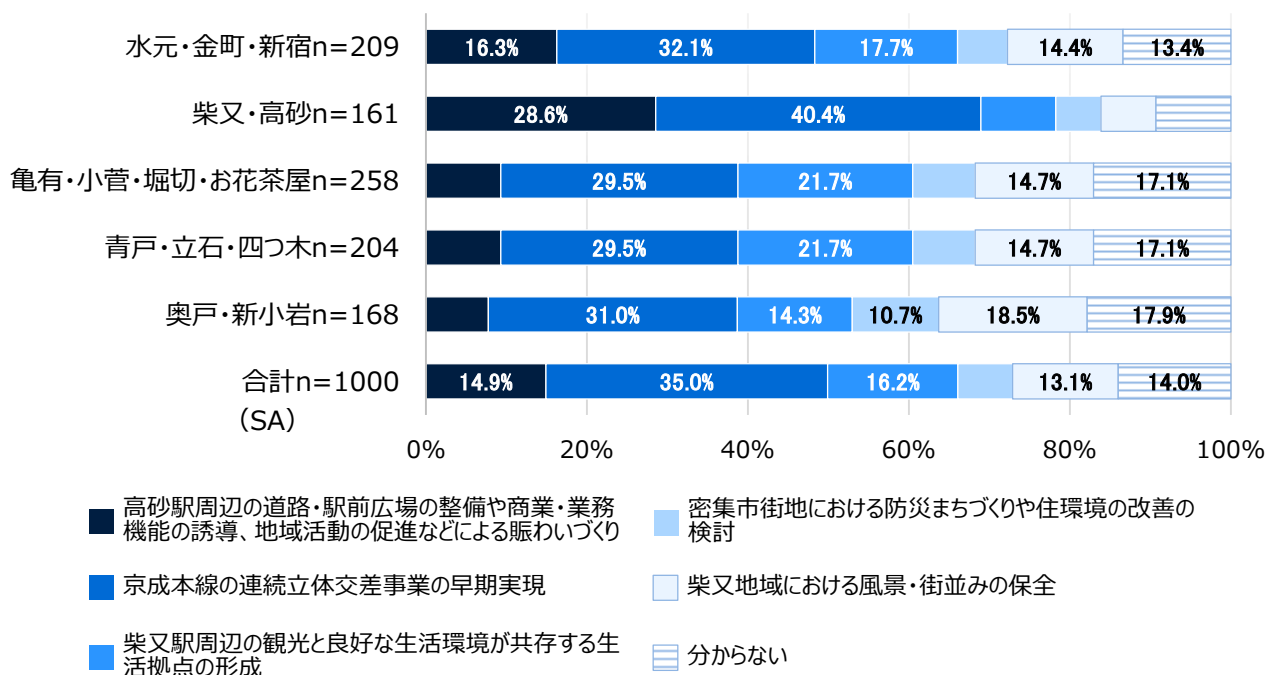
問 19 水元・金町・新宿地域で特に重要と思う取組（1つ選択）



○全ての居住地で共通して3割以上になる選択肢は見られなかった。
 ○水元・金町・新宿地域の居住者に着目すると、「金町駅周辺の再開発や回遊性の確保、エリアマネジメントなどによる賑わい創出」が合計より10%以上高く、約36%となっている。居住者の視点では、駅周辺の賑わい創出を望む割合が特に大きいことが読み取れる。

※10.0%未満の値は表示していない。

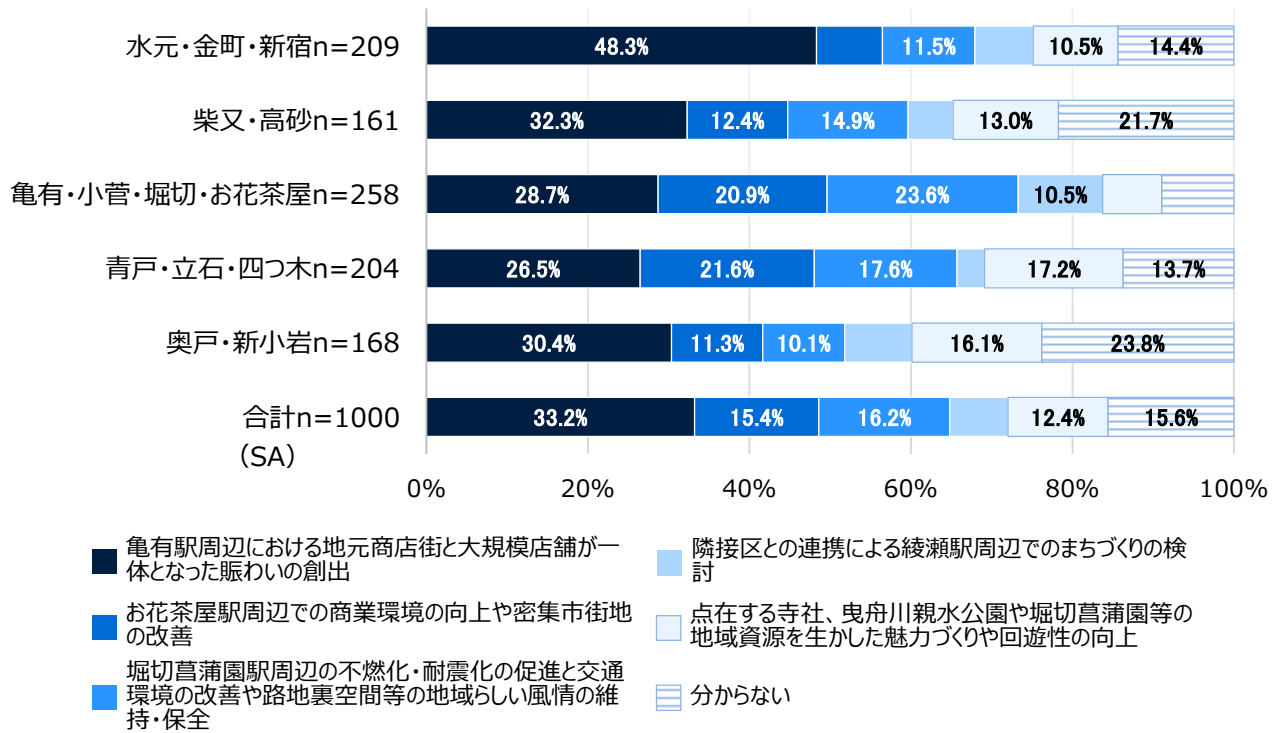
問 20 柴又・高砂地域で特に重要と思う取組（1つ選択）



- 居住地に拘わらず「京成本線の連続立体交差事業の早期実現」は約3割～4割となっている。
- 柴又・高砂地域の居住者に着目すると、「高砂駅周辺の道路・駅前広場の整備や商業・業務機能の誘導、地域活動の促進などによる賑わいづくり」が合計より10%以上高く、約29%となっている。居住者の視点では、連続立体交差事業の早期実現に加えて、高砂駅周辺の賑わいづくりを望む割合も大きいことが読み取れる。

※10.0%未満の値は表示していない。

問 21 亀有・小菅・堀切・お花茶屋地域で特に重要と思う取組（1つ選択）

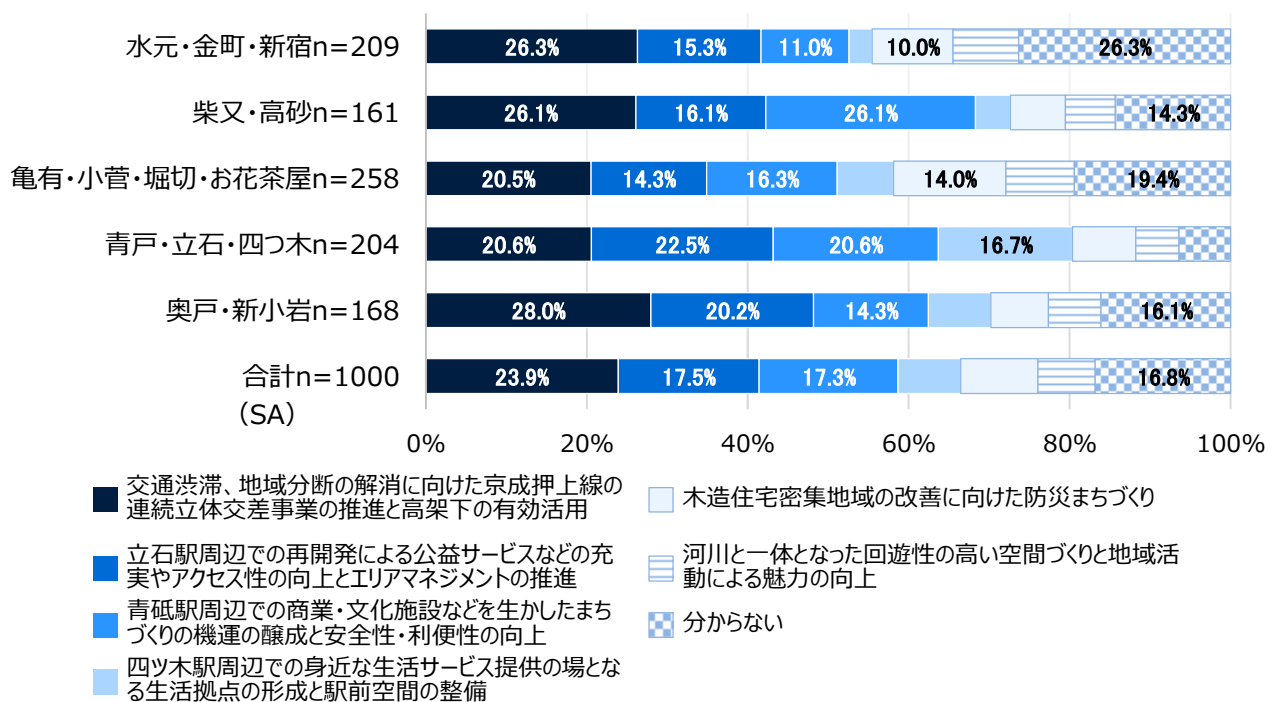


○居住地に拘わらず「亀有駅周辺における地元商店街と大規模店舗が一体となった賑わいの創出」は約3割～5割となっている。特に、水元・金町・新宿は合計より10%以上高く、約49%となっている。亀有駅は金町駅の隣駅であるため、隣接する地域の居住者の視点でも賑わい創出を望む割合が大きいことが読み取れる。

○亀有・小菅・堀切・お花茶屋地域の居住者に着目すると、「お花茶屋駅周辺での商業環境の向上や密集市街地の改善」がやや高い（居住者：約21%、居住者を含む合計：約15%）。また、「堀切菖蒲園駅周辺の不燃化・耐震化の促進と交通環境の改善や路地裏空間等の地域らしい風情の維持・保全」がやや高い（居住者：約24%、居住者を含む合計：約16%）。居住者の視点では、亀有駅、お花茶屋駅、堀切菖蒲園駅といった駅周辺での賑わい創出や環境改善を望む割合が大きいことが読み取れる。

※10.0%未満の値は表示していない。

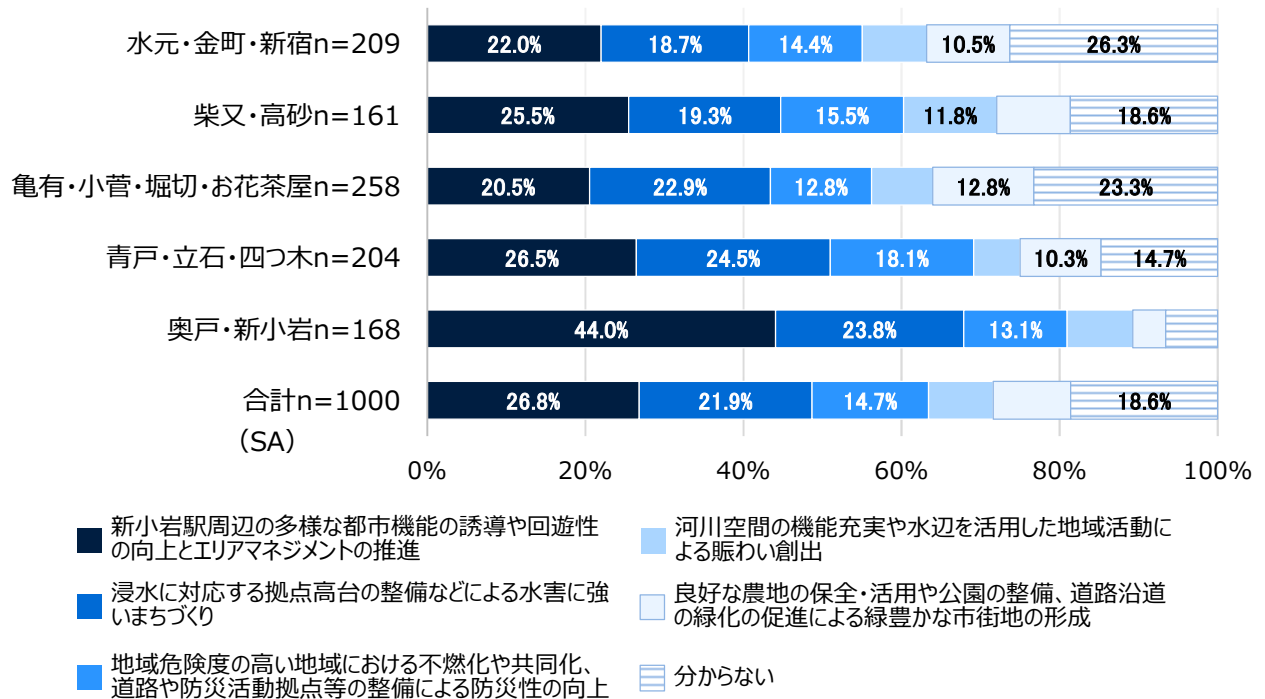
問 22 青戸・立石・四つ木地域で特に重要と思う取組（1つ選択）



○全ての居住地域で共通して3割以上になる選択肢は見られなかった。
 ○青戸・立石・四つ木地域の居住者に着目すると、「立石駅周辺での再開発による公益サービスなどの充実やアクセス性の向上とエリアマネジメントの推進」が最も高く、約23%となっている。次いで、「交通渋滞、地域分断の解消に向けた京成押上線の連続立体交差事業の推進と高架下の有効活用」と「青砥駅周辺での商業・文化施設などを生かしたまちづくりの機運の醸成と安全性・利便性の向上」が高く、それぞれ約21%となっている。また、他の地域に比べて「四ツ木駅周辺での身近な生活サービス提供の場となる生活拠点の形成と駅前空間の整備」がやや高く、約17%となっている。居住者の視点では、連続立体交差事業や、立石駅、青砥駅、四ツ木駅といった駅周辺の整備を望む割合が大きいことが読み取れる。

※10.0%未満の値は表示していない。

問 23 奥戸・新小岩地域で特に重要と思う取組（1つ選択）



○全ての居住地域で共通して3割以上になる選択肢は見られなかった。
 ○奥戸・新小岩地域の居住者に着目すると、「新小岩駅周辺の多様な都市機能の誘導や回遊性の向上とエリアマネジメントの推進」が合計より10%以上高く、約44%となっている。

※10.0%未満の値は表示していない。

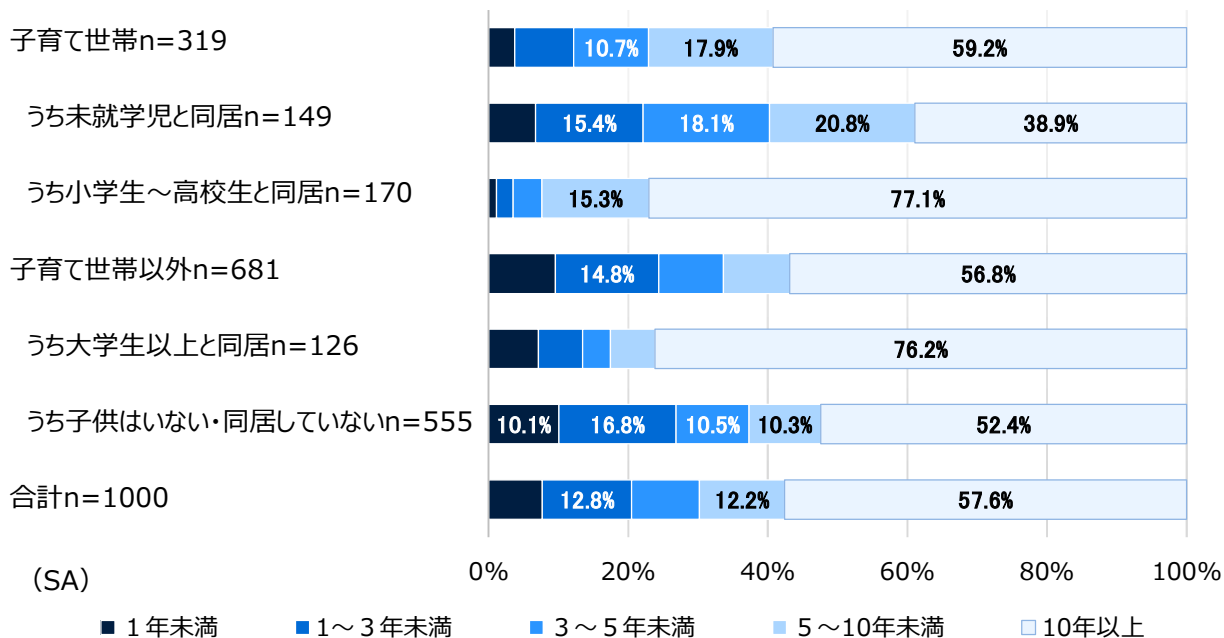
問 19～23 地域別の特に重要と思う取組みについての共通事項

○年齢別のクロス集計に比べて、居住地域別のクロス集計では、居住地域ごとの差が顕著に表れている。
 ○どの地域に対する設問でも、その地域の居住者は駅周辺の整備や賑わい創出を望む割合が大きい。駅周辺に関して選択肢が複数ある地域（問 21 亀有・小菅・堀切・お花茶屋地域、問 22 青戸・立石・四つ木地域）では、特定の駅に回答が集中していないが、これは回答者が普段利用する駅や関心の異なるためと推察される。
 ○一方、柴又・高砂地域における「京成本線の連続立体交差事業の早期実現」は、居住者かどうかに拘わらず、約3割～約4割が重要と感じている。同様に、亀有・小菅・堀切・お花茶屋地域における「亀有駅周辺における地元商店街と大規模店舗が一体となった賑わいの創出」も、居住者かどうかに拘わらず、約3割～5割が重要と感じている。これらの取組みはその地域に居住していない人からも注目されていることが分かる。

3-3. 子育て世帯に関するクロス集計

若い世代の中でも特に子育て世帯の傾向を分析するために、問1～問23についてクロス集計を行った。結果は以下のとおりである。

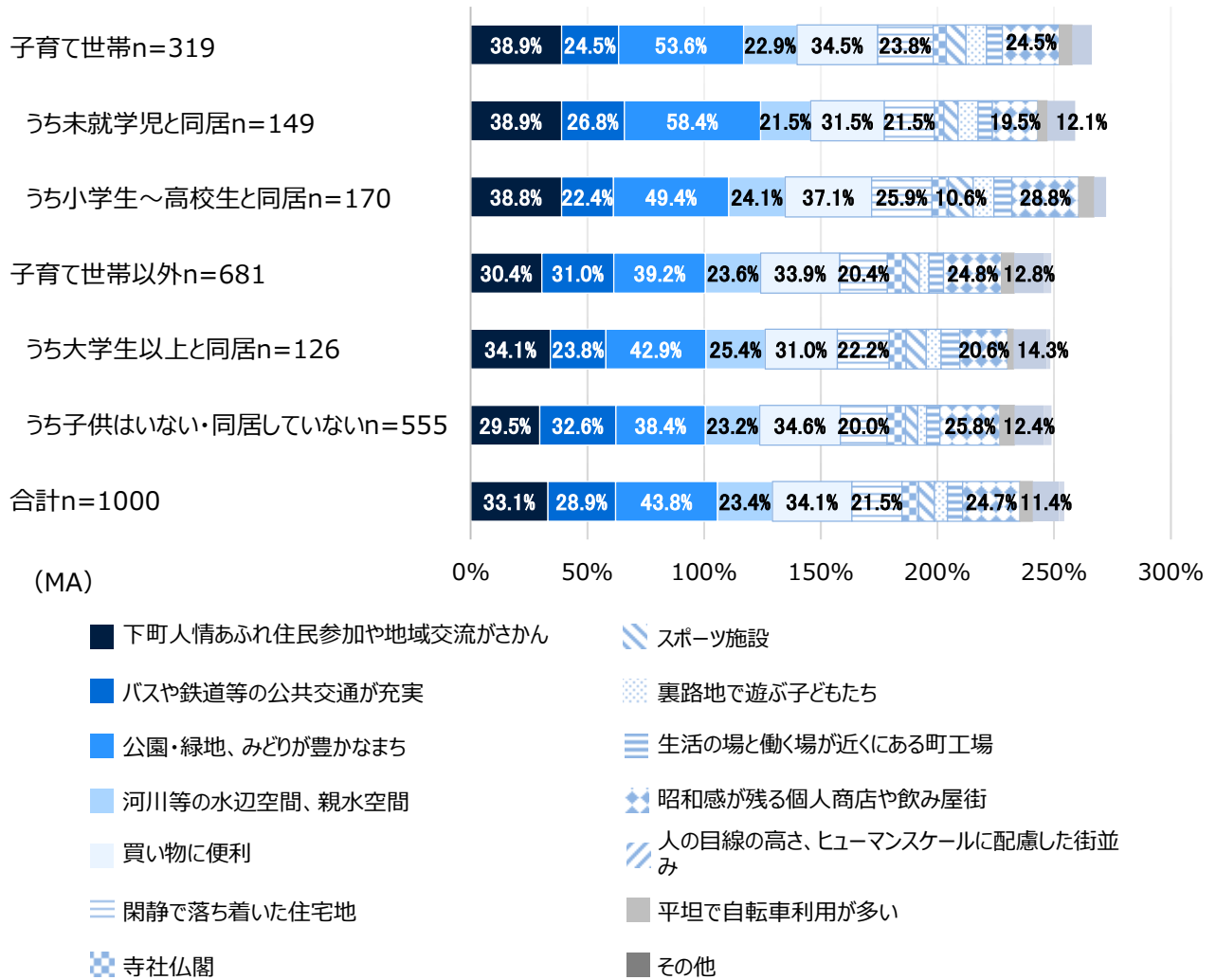
問1 回答者の居住年数（1つ選択）



- 子育て世帯・子育て世帯以外のどちらも、「10年以上」が約6割と高くなっている。
- 内訳を見ると、子育て世帯かどうかに拘わらず、同居している子どものライフステージが高いほど、居住年数も長くなっている。すなわち、小学生～高校生と同居している子育て世帯や、既に子育てが終わった世帯（大学生以上と同居している世帯）は「10年以上」が約8割と高くなっている。

※10.0%未満の値は表示していない。

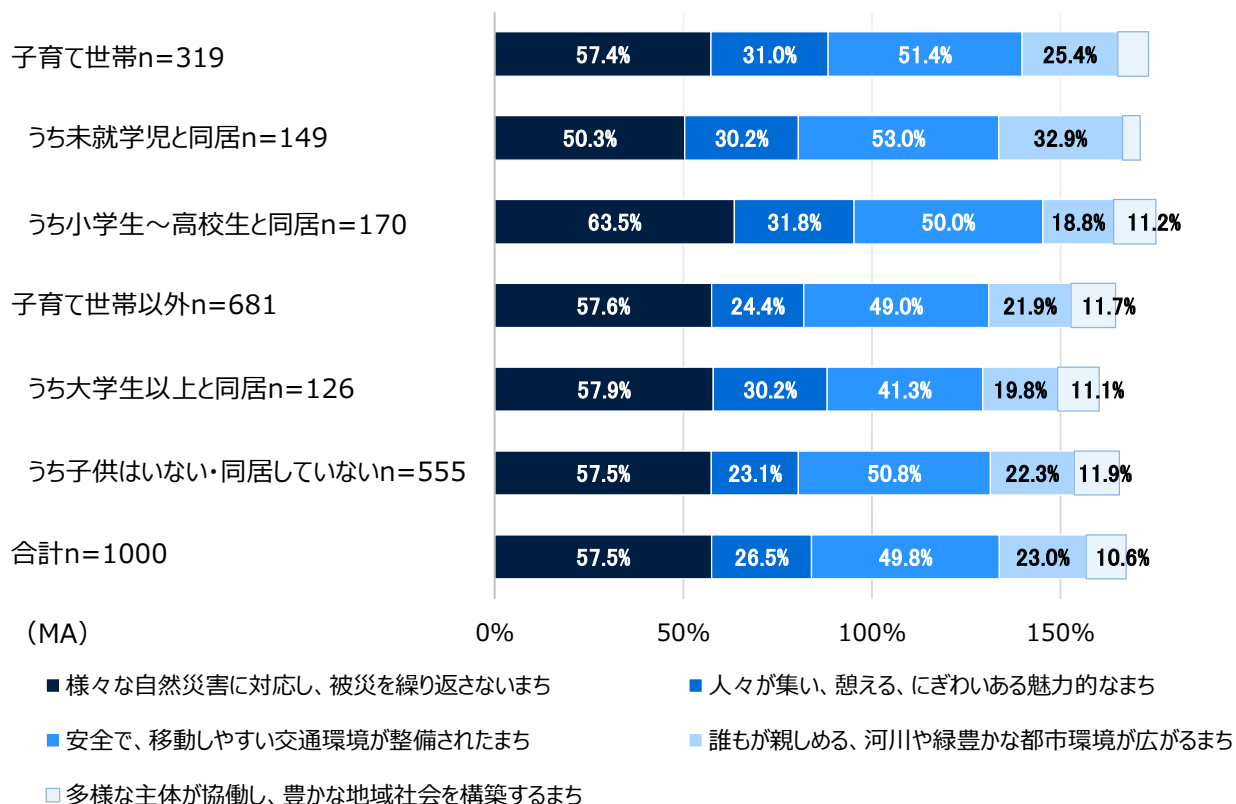
問3 将来にわたって残したい葛飾らしさ（3つまで選択）



○子育て世帯・子育て世帯以外のどちらも、「公園・緑地、みどりが豊かなまち」が約4割～約5割と高くなっている。特に子育て世帯の中でも未就学児と同居している世帯は、約58%と高くなっている。
 ○次いで、子育て世帯・子育て世帯以外のどちらも、「下町人情あふれ住民参加や地域交流がさかん」が約3割～約4割と高くなっている。特に子育て世帯（未就学児と同居している世帯、小学生～高校生と同居している世帯）は約39%と高くなっている。
 ○次いで、子育て世帯・子育て世帯以外のどちらも、「買い物に便利」が約3割と高くなっている。
 ○「寺社仏閣」、「裏路地で遊ぶ子どもたち」、「生活の場と働く場が近くにある町工場」「人の目線の高さ、ヒューマンスケールに配慮した街並み」を選ぶ回答者は、どの世帯でも10%未満となっている。

※10.0%未満の値は表示していない。

問4 まちづくりの目標で重要と思うもの（2つまで選択）

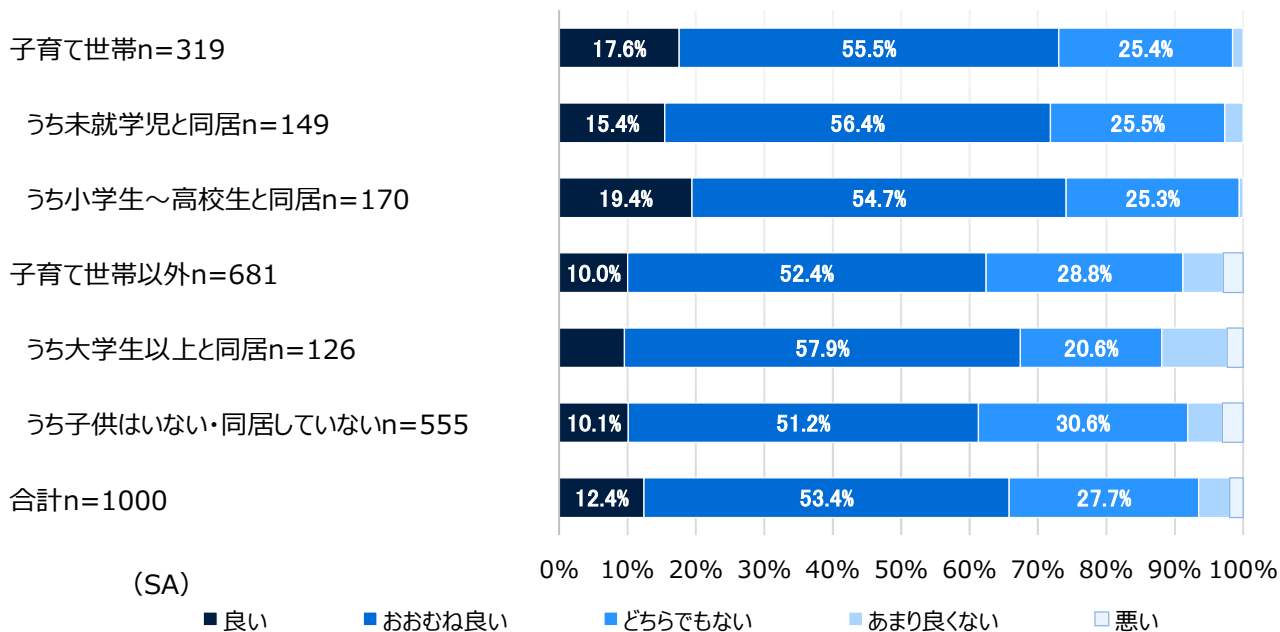


○子育て世帯・子育て世帯以外のどちらも、「様々な自然災害に対応し、被災を繰り返さないまち」が約6割と高くなっている。特に子育て世帯の中でも、小学生～高校生と同居している世帯が約64%と高くなっている。

○次いで、子育て世帯・子育て世帯以外のどちらも、「安全で、移動しやすい交通環境が整備されたまち」が約5割と高くなっている。

※10.0%未満の値は表示していない。

問5 50年程度先のまちの姿を描いた理想像（1つ選択）

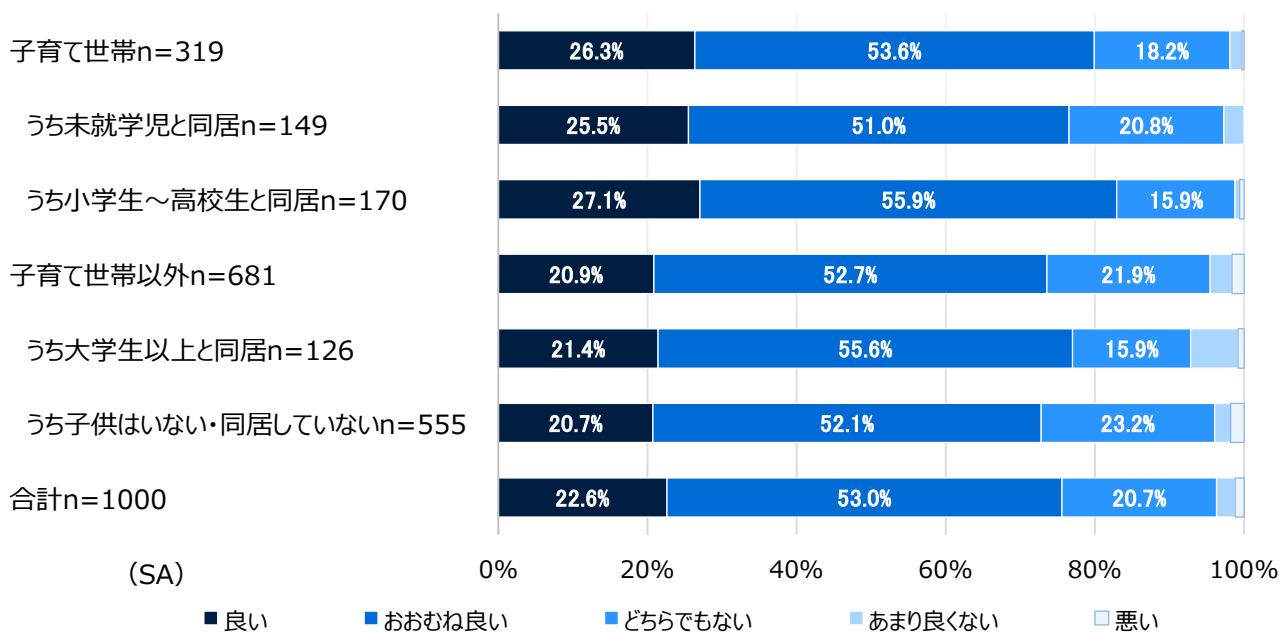


○子育て世帯・子育て世帯以外のどちらも、「良い」と「おおむね良い」の合計は約6割～約7割と高くなっている。特に子育て世帯の中でも、小学生～高校生と同居している世帯は約74%と高くなっている。

○一方で、子育て世帯・子育て世帯以外のどちらも、「どちらでもない」と回答する人が約3割を占める。

※10.0%未満の値は表示していない。

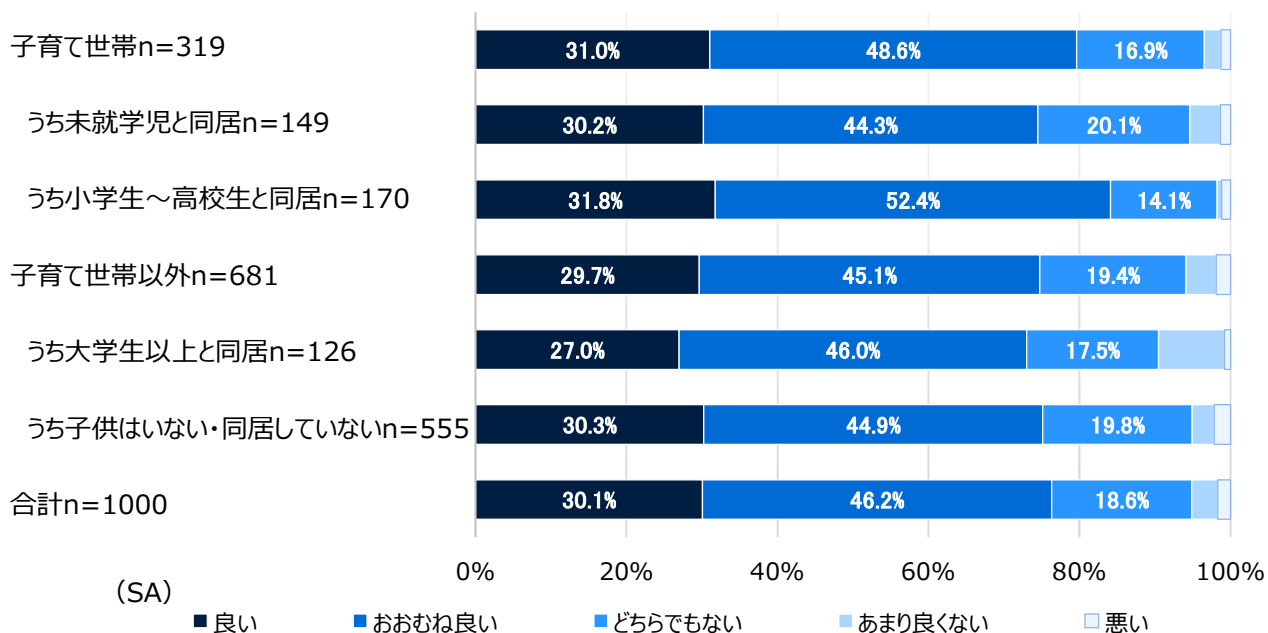
問 6 地域構造の「豊かな水や緑を保全するエリア」において、低層・低密度で緑豊かなゆとりある住宅地や農地を保全していくことについて（1つ選択）



○子育て世帯・子育て世帯以外のどちらも、「良い」と「おおむね良い」の合計は約7割～約8割と高くなっている。特に子育て世帯の中でも、小学生～高校生と同居している世帯は約83%と高くなっている。

※10.0%未満の値は表示していない。

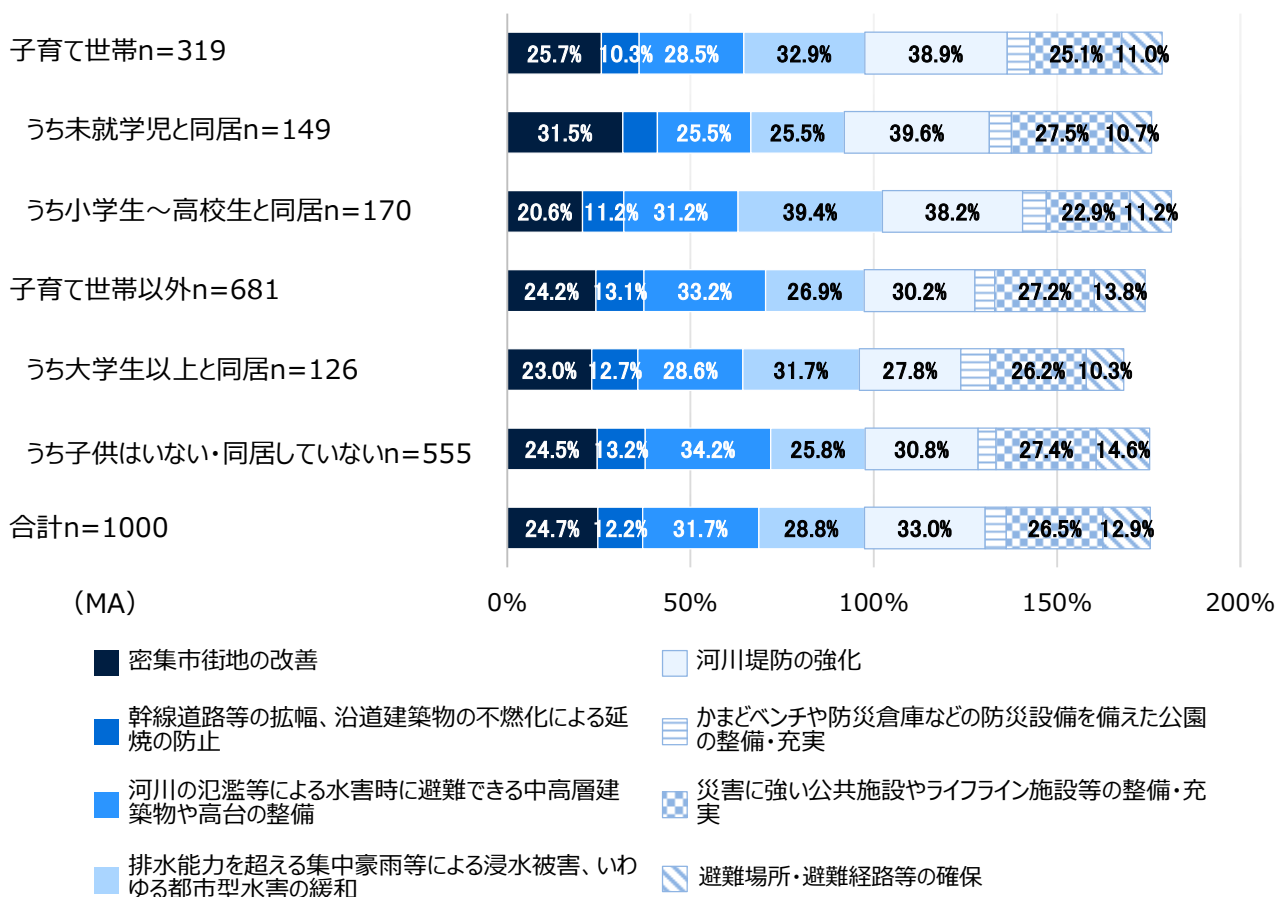
問 7 地域構造の「高台化など浸水対応を促進するエリア」において、自宅などの建物を建替える際、洪水時に2・3階へ避難できるなど、浸水に対応した建物にすることについて（1つ選択）



○子育て世帯・子育て世帯以外のどちらも、「良い」と「おおむね良い」の合計割合は約7割～約8割と高くなっている。特に子育て世帯の中でも、小学生～高校生と同居している世帯は約84%と高くなっている。

※10.0%未満の値は表示していない。

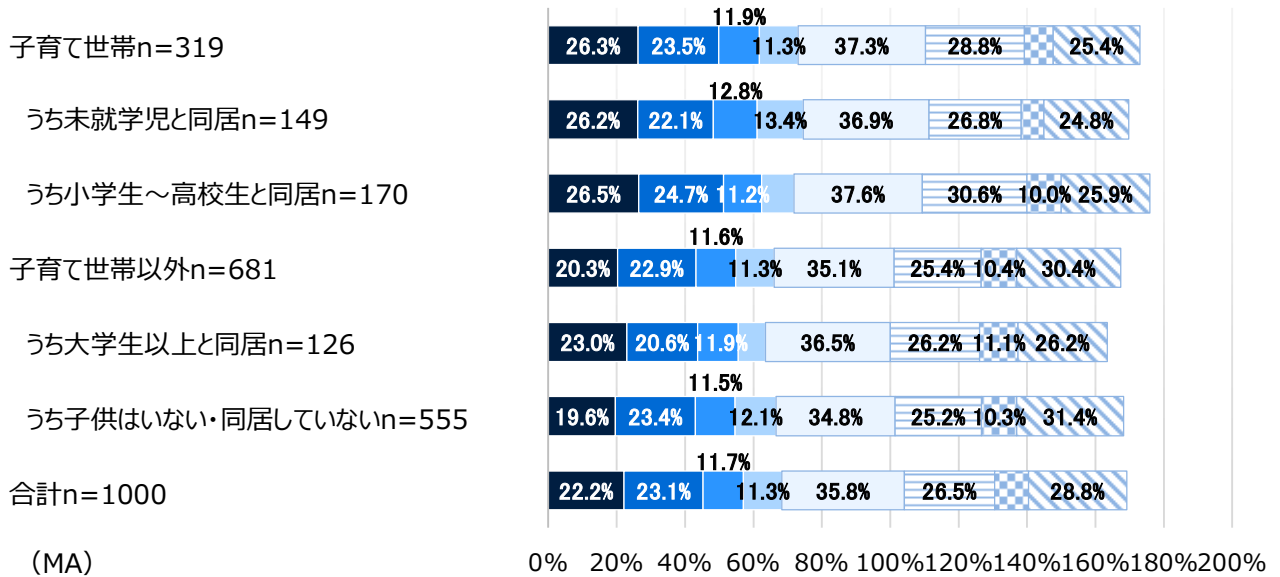
問 8 「防災まちづくりの方針」で特に重要と思う取組（2つまで選択）



- 子育て世帯・子育て世帯以外のどちらも、「河川堤防の強化」が約3割～約4割と高くなっている。特に子育て世帯では「河川堤防の強化」を重視する回答者が多い（未就学児と同居している世帯は約40%、小学生～高校生と同居している世帯は約38%）。
- 次いで、子育て世帯・子育て世帯以外のどちらも、「河川の氾濫等による水害時に避難できる中高層建築物や高台の整備」が約3割と高くなっている。特に子供はいない・同居していない世帯では、約34%と高くなっている。
- 次いで、子育て世帯・子育て世帯以外のどちらも、「排水能力を超える集中豪雨等による浸水被害、いわゆる都市型水害の緩和」が約3割と高くなっている。特に子育て世帯の中でも、小学生～高校生と同居している世帯は約39%と高くなっている。
- 次いで、子育て世帯・子育て世帯以外のどちらも、「災害に強い公共施設やライフライン施設等の整備・充実」が約3割と高くなっている。
- 「かまどベンチや防災倉庫などの防災設備を備えた公園の整備・充実」を選ぶ回答者は、どの世帯でも10%未満となっている。

※10.0%未満の値は表示していない。

問9 「土地利用の方針」で特に重要と思う取組（2つまで選択）



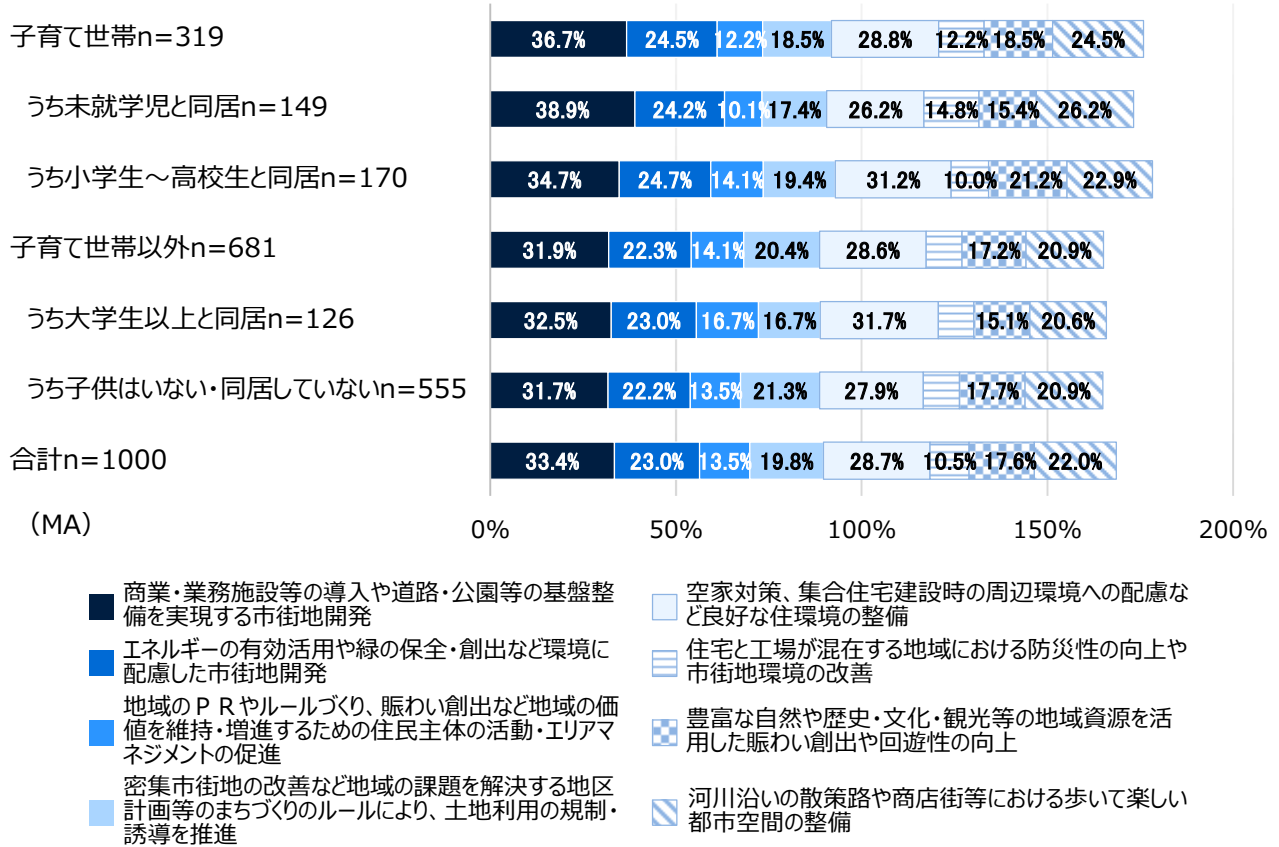
- 低層の戸建て住宅中心の緑豊かでゆとりある住環境の保全
- 中低層の住宅と商業・業務等施設が調和した利便性の高い市街地の形成
- 既存の町工場と周辺の居住環境が調和した市街地の形成
- 幹線道路沿道における中高層の商業・業務施設の立地誘導
- 主要駅周辺の広域的な商業・業務機能の集積（新小岩駅、金町駅、亀有駅、立石駅、高砂駅）
- 日常生活を支える商店街の活性化や地域の核となる施設の活用
- 周辺市街地に安全や賑わいを提供するよう工場跡地等の土地利用を誘導
- 車に依存せず、鉄道駅や身近な施設を中心として歩いて暮らせるまちづくり

○子育て世帯・子育て世帯以外のどちらも、「主要駅周辺の広域的な商業・業務機能の集積（新小岩駅、金町駅、亀有駅、立石駅、高砂駅）」が約4割と高くなっている。

○同様に、「車に依存せず、鉄道駅や身近な施設を中心として歩いて暮らせるまちづくり」や「日常生活を支える商店街の活性化や地域の核となる施設の活用」も、子育て世帯・子育て世帯以外のどちらも約3割の回答者が重要と考えている。

※10.0%未満の値は表示していない。

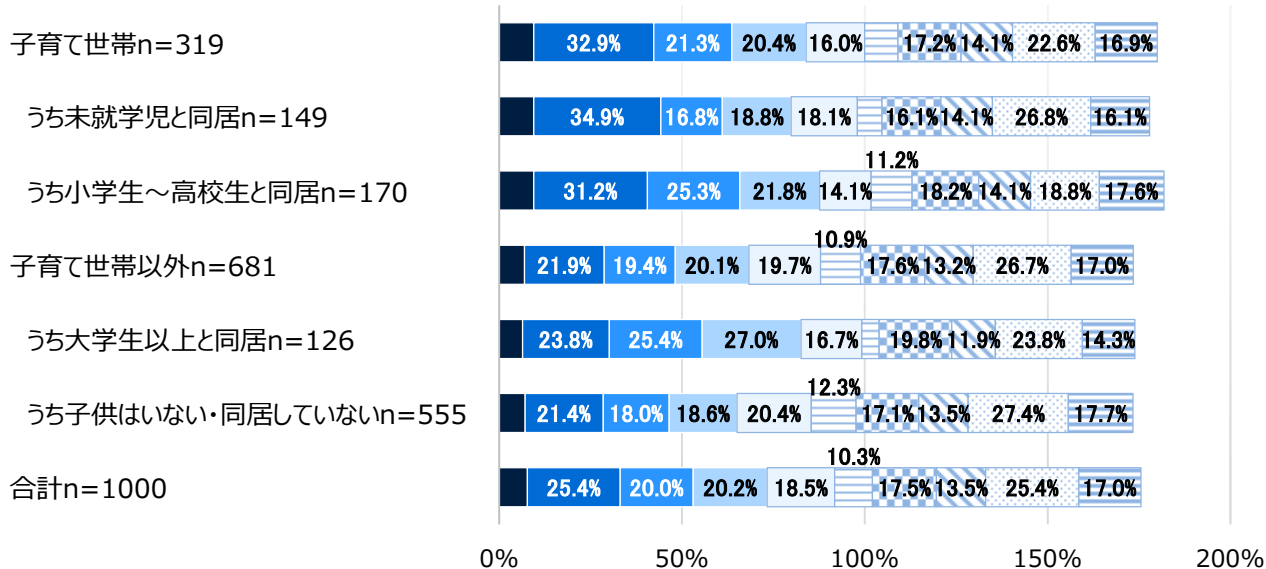
問 10 「市街地整備の方針」で特に重要と思う取組（2 つまで選択）



- 子育て世帯・子育て世帯以外のどちらも、「商業・業務施設等の導入や道路・公園等の基盤整備を実現する市街地開発」が約3割～約4割と高くなっている。特に子育て世帯の中でも、未就学児と同居している世帯は約39%と高くなっている。
- 次いで、子育て世帯・子育て世帯以外のどちらも、「空家対策、集合住宅建設時の周辺環境への配慮など良好な住環境の整備」が約3割と高くなっている。

※10.0%未満の値は表示していない。

問 11 「交通体系整備の方針」で特に重要と思う取組（2 つまで選択）



(MA)

■ 都市の骨格を形成する幹線道路の整備

■ 幅員の狭い生活道路の拡幅
(幅員 4 m 以上を確保)

■ 道路と鉄道の連続立体交差事業の推進

■ 新金線旅客化など南北方向の鉄道網の充実

■ バス交通網の充実、バス停等におけるバス利用者の利便性向上

■ シェアサイクルやキックボード、小型モビリティ等様々な交通手段の活用

■ 交通機能を強化する駅前広場の整備、地域の顔となる駅前空間づくり

■ バリアフリー化や分かりやすい案内表示など誰もが使いやすい駅周辺の整備

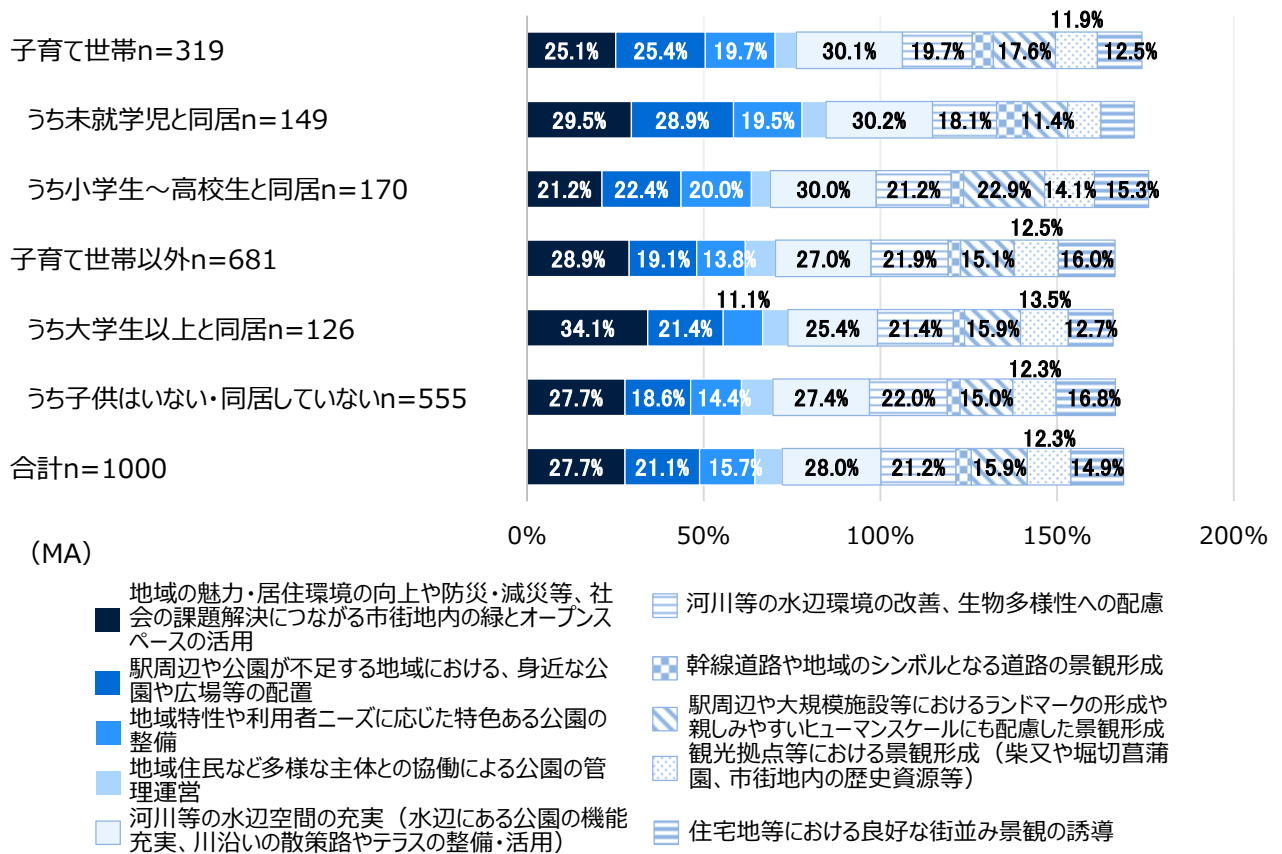
■ 歩きやすく、安全・快適な歩行空間の整備

■ 自転車の通行環境、駐輪場の整備

- 子育て世帯では、「幅員の狭い生活道路の拡幅（幅員 4 m 以上を確保）」が約 3 割と高く、特に未就学児と同居している世帯は約 35%となっている。次いで「歩きやすく、安全・快適な歩行空間の整備」が約 2 割の回答者から選ばれており、特に未就学児と同居している世帯は約 27%が重要としている。
- 子育て世帯以外でも、「歩きやすく、安全・快適な歩行空間の整備」は約 3 割と高く、特に子供はいない・同居していない世帯は約 27%となっている。
- 「新金線旅客化など南北方向の鉄道網の充実」は、大学生以上と同居している世帯が他の世帯に比べて重視しており、回答者の約 27%が重要としている。

※10.0%未満の値は表示していない。

問 12 「緑と水辺の整備、景観形成の方針」で特に重要と思う取組（2つまで選択）



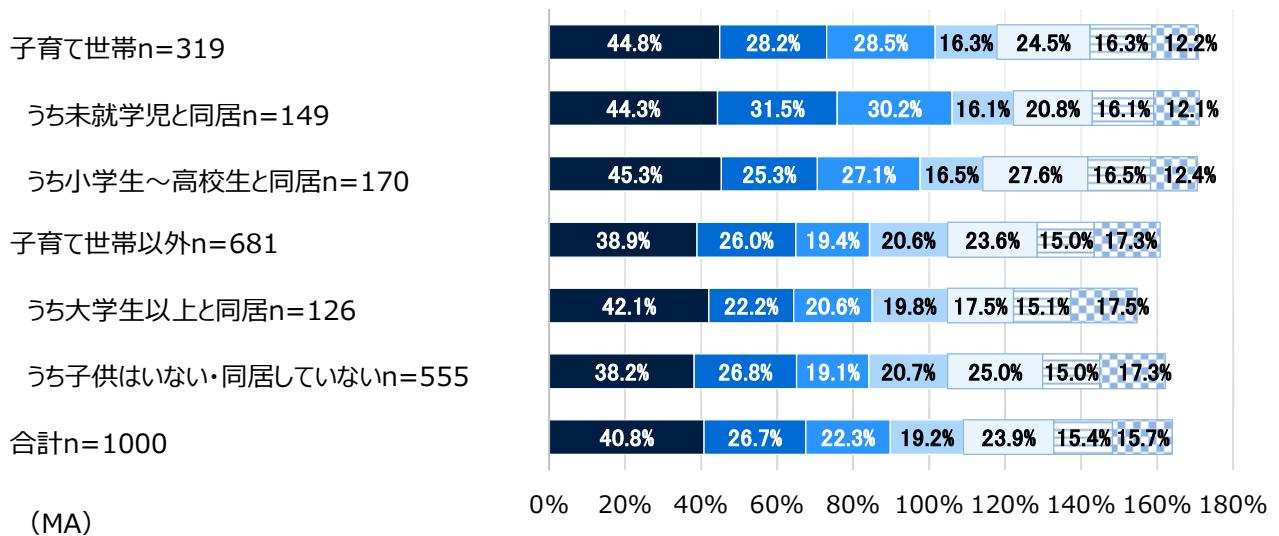
○子育て世帯・子育て世帯以外のどちらも、「河川等の水辺空間の充実（水辺にある公園の機能充実、川沿いの散策路やテラスの整備・活用）」が約3割と高くなっている。特に子育て世帯（未就学児と同居している世帯、小学生～高校生と同居している世帯）は約30%と高くなっている。

○次いで、子育て世帯・子育て世帯以外のどちらも、「地域の魅力・居住環境の向上や防災・減災等、社会の課題解決につながる市街地内の緑とオープンスペースの活用」が約3割と高くなっている。特に大学生以上と同居している世帯は約34%と高くなっている。

○「地域住民など多様な主体との協働による公園の管理運営」と「幹線道路や地域のシンボルとなる道路の景観形成」を選ぶ回答者は、どの世帯でも10%未満となっている。

※10.0%未満の値は表示していない。

問 13 「復興まちづくりの方針」で特に重要と思う取組（2 つまで選択）



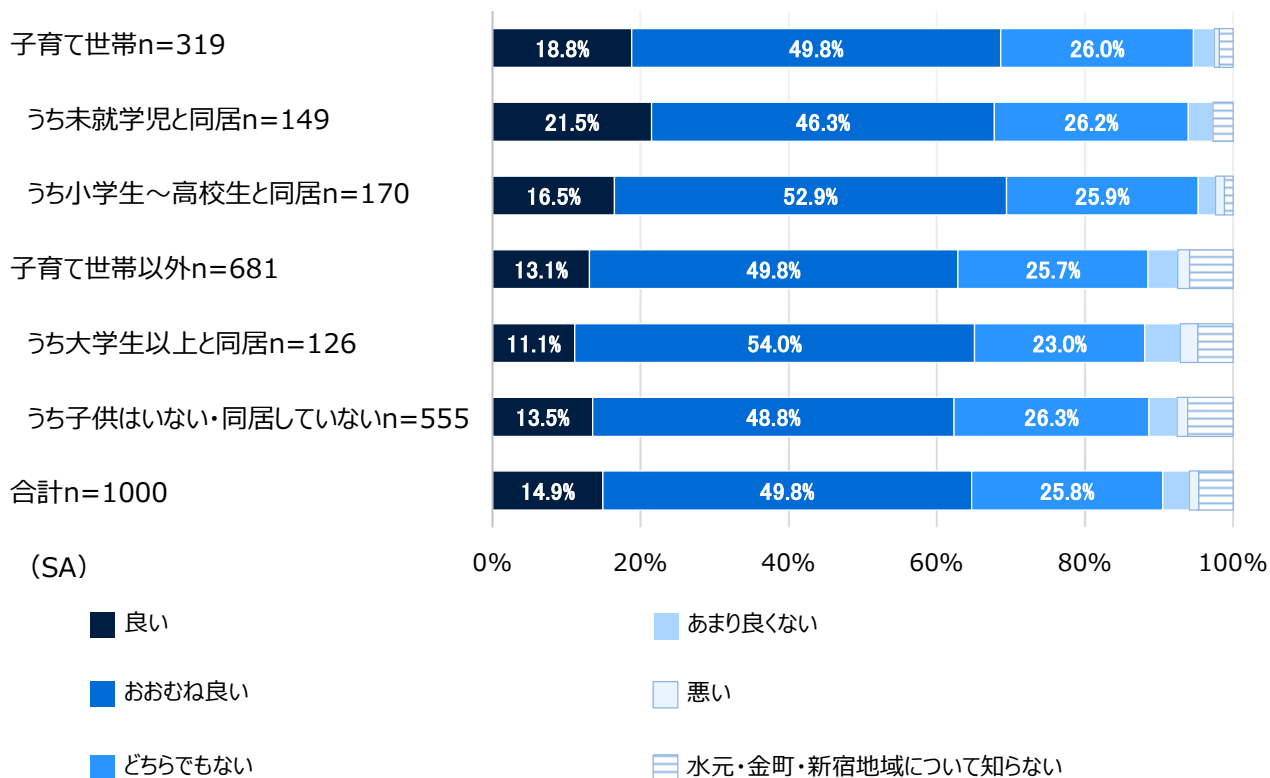
(MA)

- 災害から復興の際、被災を繰り返さないまちを目指すために、区民・事業者・区が、復興まちづくり方針を事前に共有
- 万一の災害時に、地域協働で行う都市と住まいの復興
- 万一の災害時に、従前からの地域コミュニティを維持しながら復興に取り組める仮のまちの形成
- 平時からの、区職員、区民、事業者等の事前復興に対する意識の向上
- 被災を想定し、平時から地域における復興体制と手順を考える復興まちづくり訓練の実施
- ▨ 区と区民が協働して取り組む復興まちづくりの手順を定めた震災復興マニュアルの充実
- ▩ 災害からの復興時に必要不可欠な土地の境界確認を平時から実施しておく地籍調査の推進

- 子育て世帯・子育て世帯以外のどちらも、「災害から復興の際、被災を繰り返さないまちを目指すために、区民・事業者・区が、復興まちづくり方針を事前に共有」が約4割と高くなっている。特に小学生～高校生と同居している世帯は約45%となっている。
- 次いで、子育て世帯・子育て世帯以外のどちらも、「万一の災害時に、地域協働で行う都市と住まいの復興」が約3割と高くなっている。特に未就学児と同居している世帯は約32%となっている。
- 「万一の災害時に、従前からの地域コミュニティを維持しながら復興に取り組める仮のまちの形成」は、特に子育て世帯が重視しており、約3割となっている。特に未就学児と同居している世帯は回答者の約30%が重要としている。

※10.0%未満の値は表示していない。

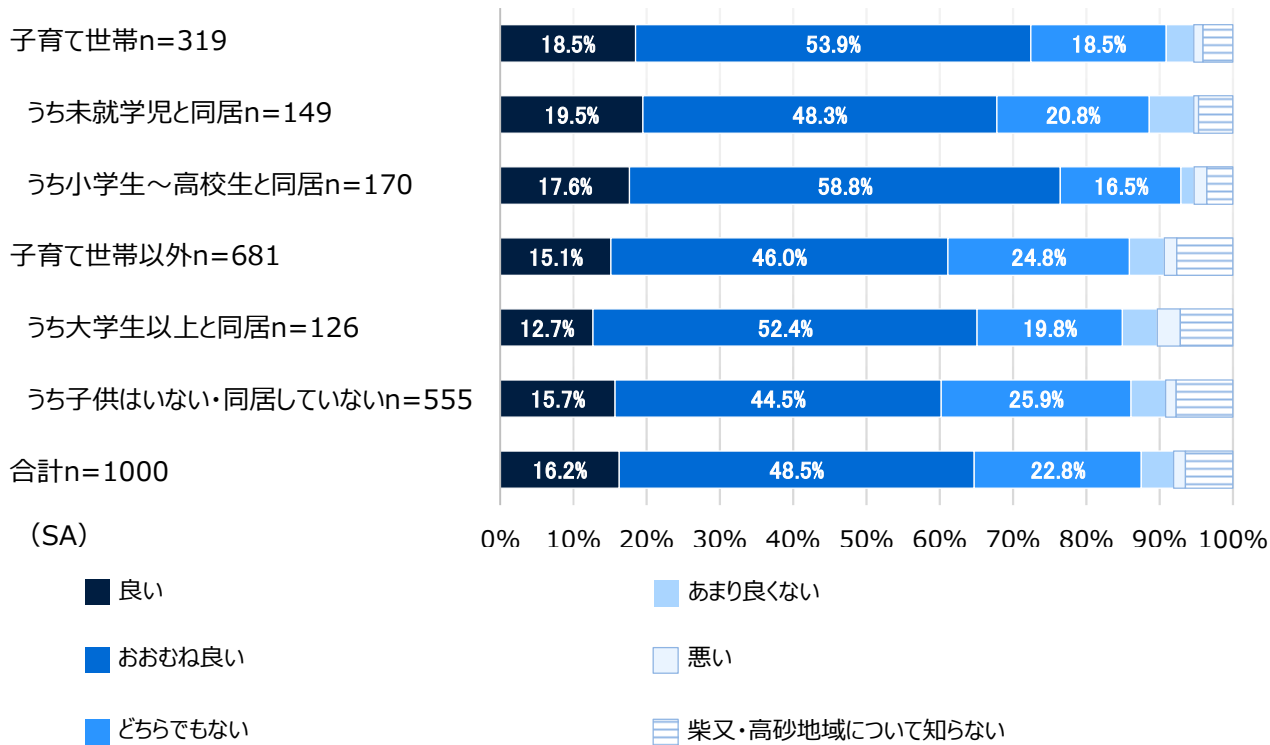
問 14 水元・金町・新宿地域の将来像「賑わいと活力ある拠点の形成と豊かな自然環境に恵まれ、都市の利便性・快適性を享受できる住み良いまち」について（1つ選択）



○子育て世帯・子育て世帯以外のどちらも、「良い」と「おおむね良い」の合計は約6割～約7割と高くなっている。
 ○一方で、子育て世帯・子育て世帯以外のどちらも、「どちらでもない」の割合が約3割となっている。

※10.0%未満の値は表示していない。

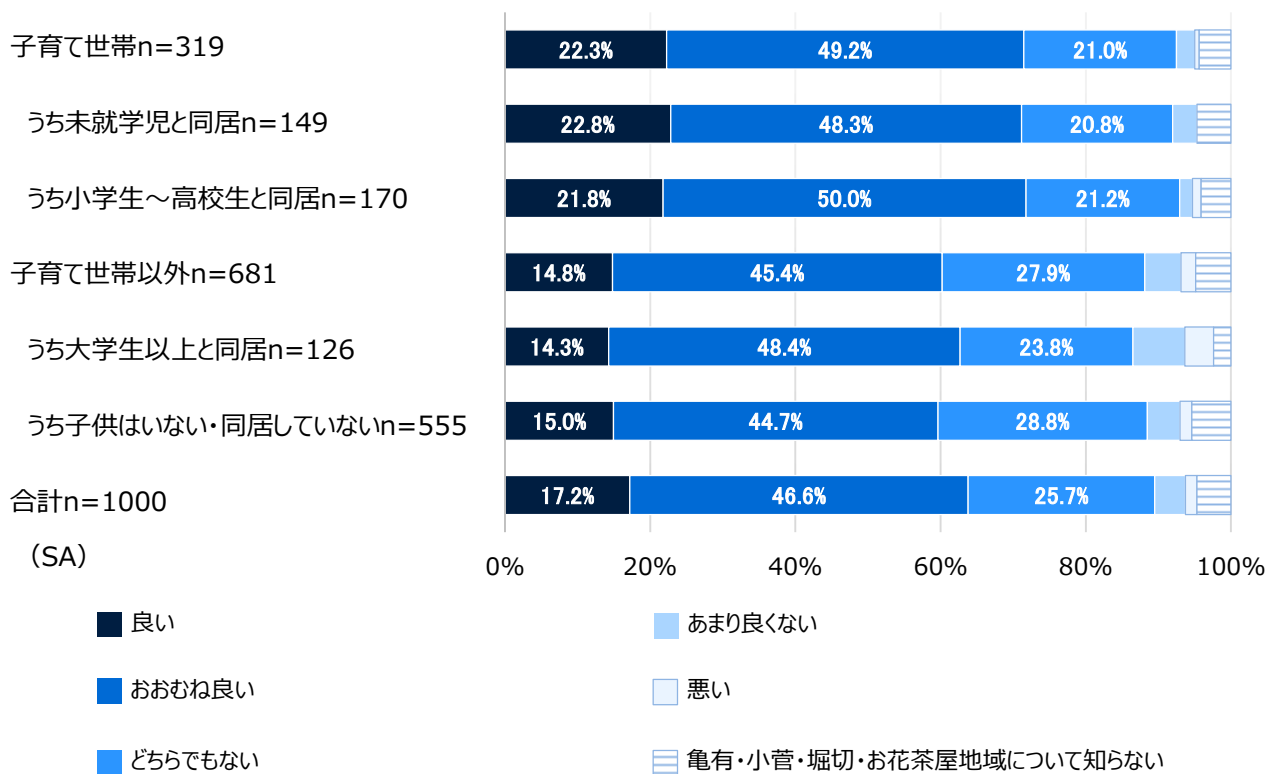
問 15 柴又・高砂地域の将来像「魅力ある歴史的景観資源と駅周辺の都市機能創出による賑わいある多世代が暮らしたくなる水辺のまち」について（1つ選択）



○子育て世帯・子育て世帯以外のどちらも、「良い」と「おおむね良い」の合計は約6割～約7割と高くなっている。特に子育て世帯の中でも小学生～高校生と同居している世帯は約77%と高くなっている。

※10.0%未満の値は表示していない。

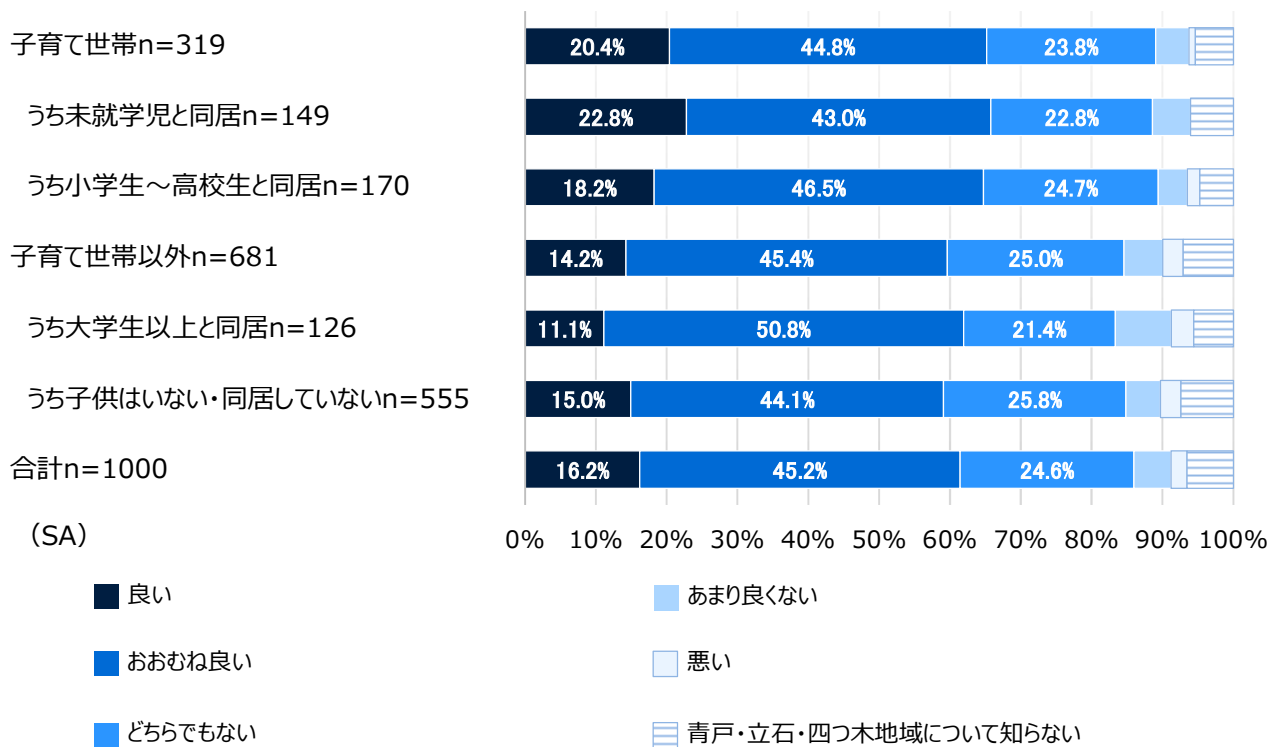
問 16 亀有・小菅・堀切・お花茶屋地域の将来像「広域拠点を中心に世代を越えた人々が集い、商業の賑わいと安全・快適で住み続けたい、自然と歴史を残すふるさとのまち」について（1つ選択）



○子育て世帯・子育て世帯以外のどちらも、「良い」と「おおむね良い」の合計は約6割～約7割と高くなっている。特に子育て世帯は約72%と高く、肯定的に捉える割合が大きい。

※10.0%未満の値は表示していない。

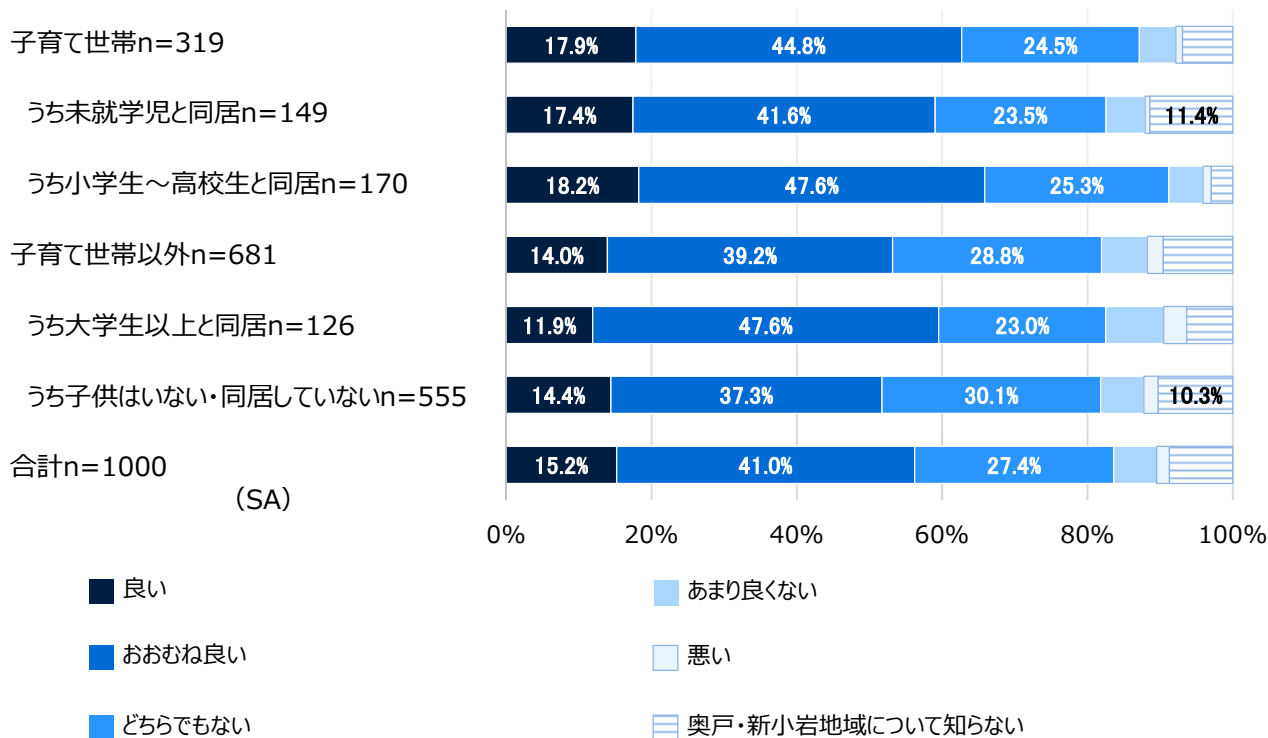
問 17 青戸・立石・四つ木地域の将来像「区を中心部として活気にあふれ、暮らしとなりわいが共生し、様々な世代が安全・快適に暮らせる、水と緑が身近に感じられるまち」について（1つ選択）



○子育て世帯・子育て世帯以外のどちらも、「良い」と「おおむね良い」の合計は約6割～約7割と高くなっている。

※10.0%未満の値は表示していない。

問 18 奥戸・新小岩地域の将来像「世代間交流が盛んで魅力的な広域拠点の形成と親水と浸水が両立した災害に強く緑が充実したまち」について（1つ選択）



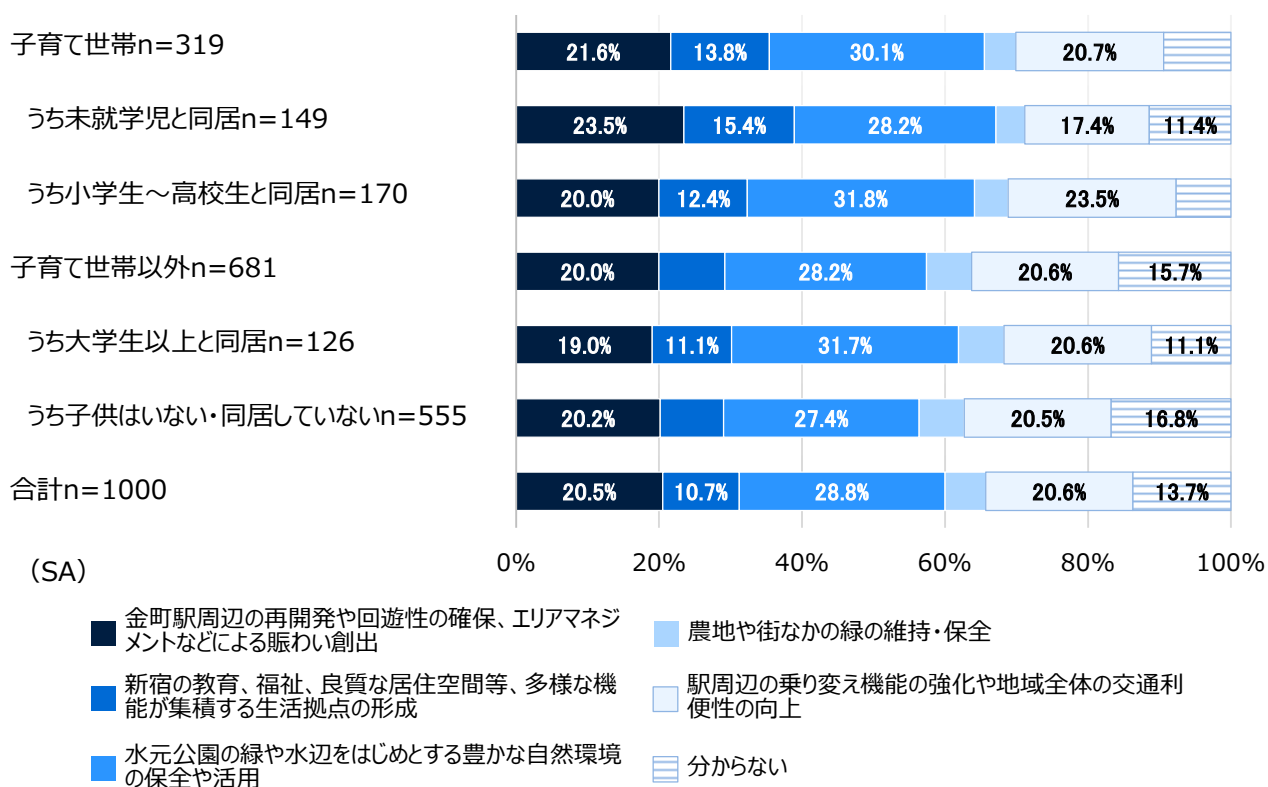
○子育て世帯・子育て世帯以外のどちらも、「良い」と「おおむね良い」の合計は約5割～約6割と高くなっている。特に子育て世帯の中でも、小学生～高校生と同居している世帯は約66%と高くなっている。

※10.0%未満の値は表示していない。

問 14～18 地域別の将来像についての共通事項

- どの地域の将来像に対しても、子育て世帯かどうかにかかわらず「良い」と「おおむね良い」が約5～7割を占めており、回答者の半数以上が将来像をおおむね肯定的に捉えている。
- 子育て世帯と子育て世帯以外の差に着目すると、子育て世帯では「良い」の割合がどの地域でも約2割を占めており、子育て世帯以外に比べて肯定的に捉える傾向が読み取れる。これは年齢とのクロス集計で、30代以下の方が40代以上に比べて「良い」と答える割合が高かった点と類似しており、年齢やライフステージによって将来像に対する回答の傾向が異なっている。

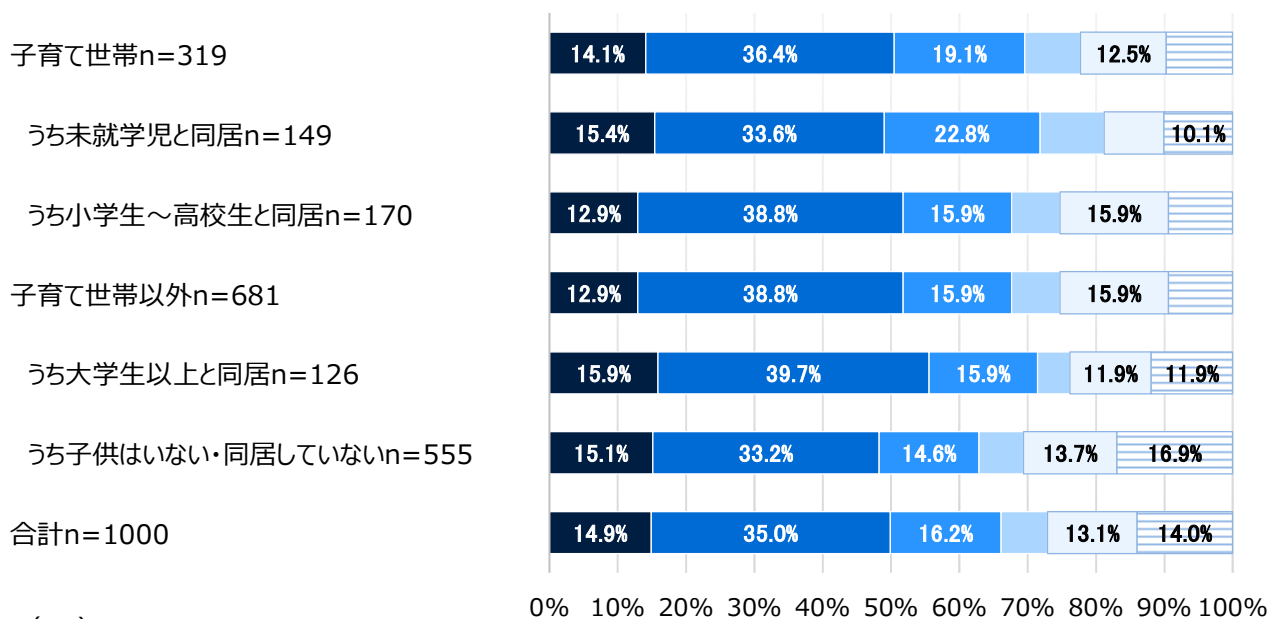
問 19 水元・金町・新宿地域で特に重要と思う取組（1つ選択）



- 子育て世帯・子育て世帯以外のどちらも、「水元公園の緑や水辺をはじめとする豊かな自然環境の保全や活用」が約3割と高くなっている。特に子育て世帯では小学生～高校生と同居している世帯、子育て世帯以外では大学生以上と同居している世帯が、それぞれ約32%と高くなっている。
- 次いで「金町駅周辺の再開発や回遊性の確保、エリアマネジメントなどによる賑わい創出」や「駅周辺の乗り換え機能の強化や地域全体の交通利便性の向上」を重要とする割合が、子育て世帯・子育て世帯以外のどちらでも約2割を占める。
- 「農地や街なかの緑の維持・保全」を重要とする回答者は、どの世帯でも10%未満であった。

※10.0%未満の値は表示していない。

問 20 柴又・高砂地域で特に重要と思う取組（1つ選択）



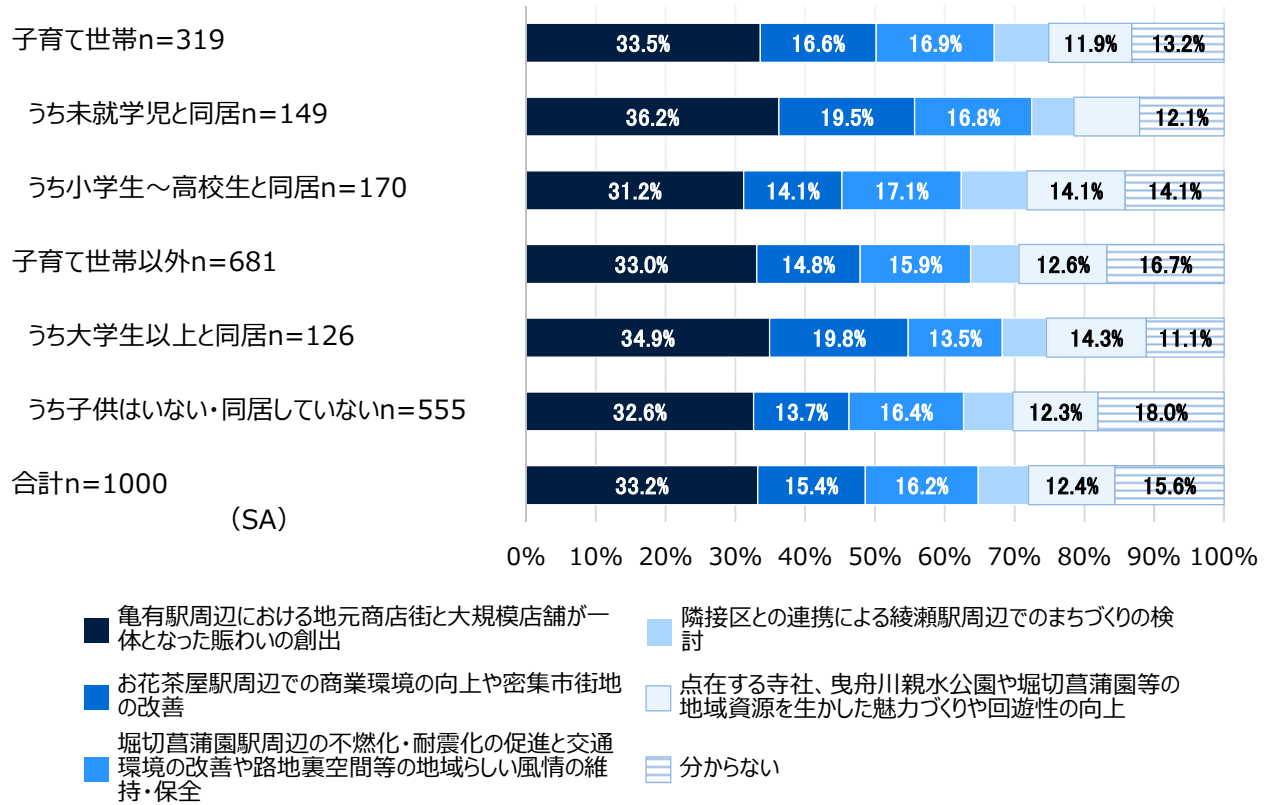
(SA)

- 高砂駅周辺の道路・駅前広場の整備や商業・業務機能の誘導、地域活動の促進などによる賑わいづくり
- 京成本線の連続立体交差事業の早期実現
- 柴又駅周辺の観光と良好な生活環境が共存する生活拠点の形成
- 密集市街地における防災まちづくりや住環境の改善の検討
- 柴又地域における風景・街並みの保全
- 分からない

- 子育て世帯・子育て世帯以外のどちらも、「京成本線の連続立体交差事業の早期実現」は約4割と高くなっている。特に子育て世帯の中でも小学生～高校生と同居している世帯、子育て世帯以外の中でも大学生以上と同居している世帯は、それぞれ約40%と高くなっている。
- 次いで、子育て世帯・子育て世帯以外のどちらも「柴又駅周辺の観光と良好な生活環境が共存する生活拠点の形成」は約2割となっている。特に子育て世帯の中でも、未就学児と同居している世帯は約23%と他の世帯に比べて高い。
- 「密集市街地における防災まちづくりや住環境の改善の検討」を重要とする回答者は、どの世帯でも10%未満であった。

※10.0%未満の値は表示していない。

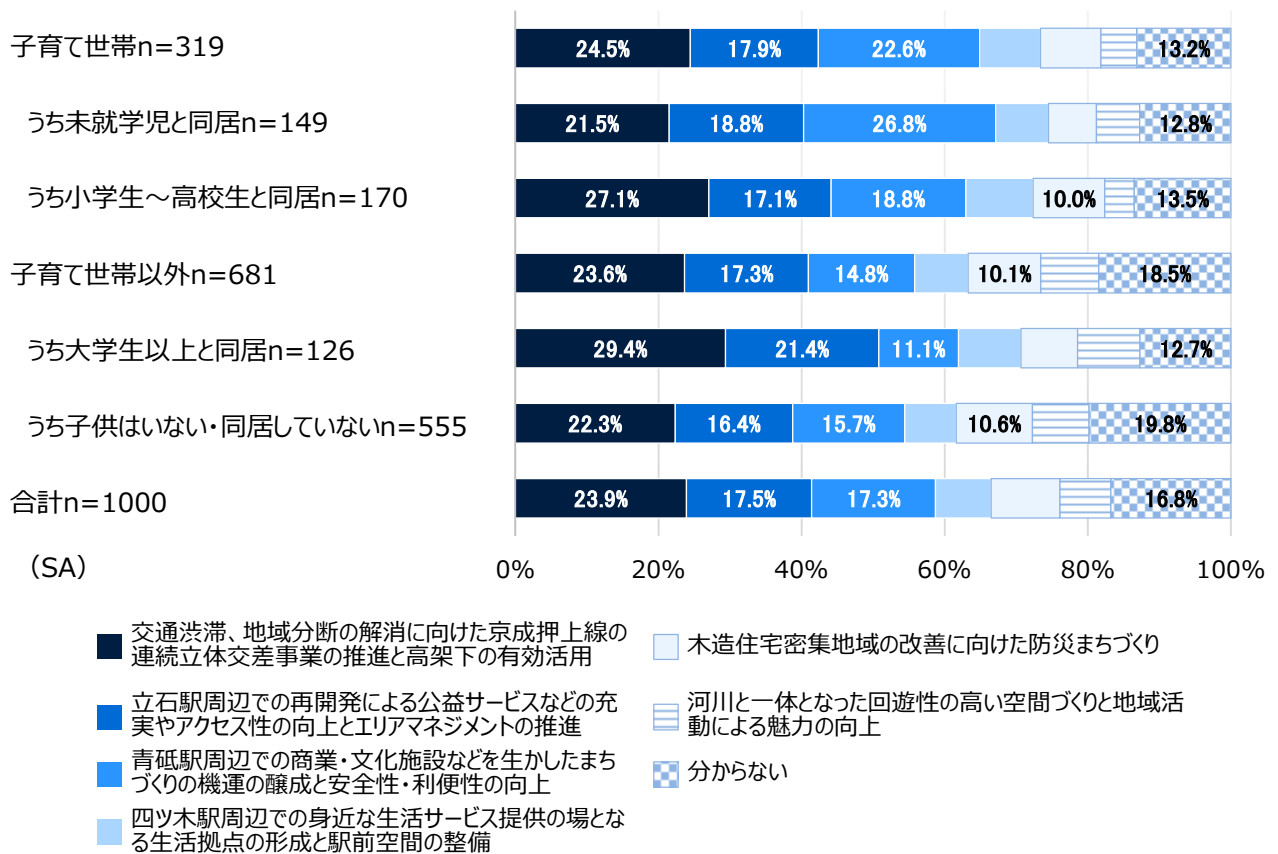
問 21 亀有・小菅・堀切・お花茶屋地域で特に重要と思う取組（1つ選択）



- 子育て世帯・子育て世帯以外のどちらも、「亀有駅周辺における地元商店街と大規模店舗が一体となった賑わいの創出」が約3割と高くなっている。特に子育て世帯の中でも、未就学児と同居している世帯は約36%と高くなっている。
- 次いで、子育て世帯・子育て世帯以外のどちらも、「お花茶屋駅周辺での商業環境の向上や密集市街地の改善」と「堀切菖蒲園駅周辺の不燃化・耐震化の促進と交通環境の改善や路地裏空間等の地域らしい風情の維持・保全」が約1割～約2割となっている。
- 「隣接区との連携による綾瀬駅周辺でのまちづくりの検討」を重要とする回答者は、どの世帯でも10%未満であった。

※10.0%未満の値は表示していない。

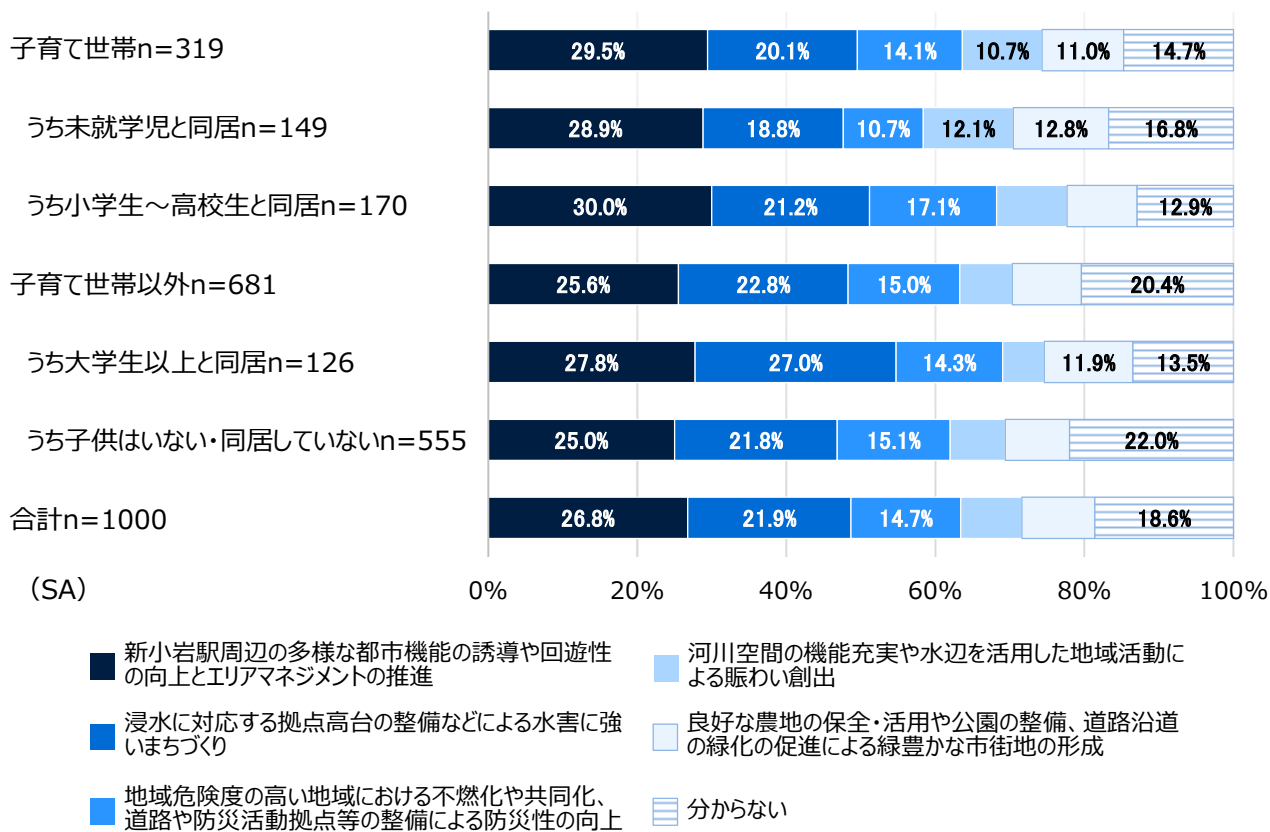
問 22 青戸・立石・四つ木地域で特に重要と思う取組（1つ選択）



- 子育て世帯・子育て世帯以外のどちらも、「交通渋滞、地域分断の解消に向けた京成押上線の連続立体交差事業の推進と高架下の有効活用」が約2割～約3割を占める。特に、子育て世帯以外の中でも、大学生以上と同居している世帯では約29%となっている。
- 次いで、子育て世帯・子育て世帯以外のどちらも、「立石駅周辺での再開発による公益サービスなどの充実やアクセス性の向上とエリアマネジメントの推進」が約1割～約2割を占める。
- 次いで、子育て世帯・子育て世帯以外のどちらも、「青砥駅周辺での商業・文化施設などを生かしたまちづくりの機運の醸成と安全性・利便性の向上」が約1割～約2割を占める。特に子育て世帯の中でも、未就学児と同居している世帯では約27%となっている。
- 「四つ木駅周辺での身近な生活サービス提供の場となる生活拠点の形成と駅前空間の整備」と「河川と一体となった回遊性の高い空間づくりと地域活動による魅力の向上」を重要とする回答者の割合は、どの世帯でも10%未満であった。

※10.0%未満の値は表示していない。

問 23 奥戸・新小岩地域で特に重要と思う取組（1つ選択）



○子育て世帯・子育て世帯以外のどちらも、「新小岩駅周辺の多様な都市機能の誘導や回遊性の向上とエリアマネジメントの推進」は約3割と高くなっている。特に小学生～高校生と同居している世帯は約30%となっている。

○次いで、子育て世帯・子育て世帯以外のどちらも、「浸水に対応する拠点高台の整備などによる水害に強いまちづくり」は約2割となっている。特に子育て世帯以外の中でも、大学生以上と同居している世帯では約27%となっている。

※10.0%未満の値は表示していない。

問 19～23 地域別の特に重要と思う取組みについての共通事項

○年齢ごとのクロス集計や居住地域ごとのクロス集計に比べると、子育て世帯に関するクロス集計では、重要と思う取組みの差は小さい。

○例えば問 19（水元・金町・新宿地域）の「水元公園の緑や水辺をはじめとする豊かな自然環境の保全や活用」を重要とする割合は、子育て世帯も子育て世帯以外も約3割が重要と回答しており、大きな差は見られない。しかし、前掲のクロス集計のうち、年齢別で見ると50歳代が、地域別に見ると他の地域の居住者（亀有・小菅・堀切・お花茶屋地域、奥戸・新小岩地域）がそれぞれ特に割合が高い、といった傾向の違いが見られる。

○一方で細かく見ると、小学生～高校生と同居する比較的長く居住する世帯と、大学生以上と同居する世帯は、ライフステージが連続しており、居住年数も長い傾向にあることから、共通した傾向を示す場合がある。例えば、問 20（柴又・高砂地域）の「京成本線の連続立体交差事業の早期実現」は、これらの世帯のそれぞれ約40%が重要と回答している。

4. 参考資料

4-1. アンケート依頼文・調査票

普段の生活に関するアンケート

モニターの皆様へのお願い

本アンケートには、一般に公開していない情報が含まれる場合があります。

アンケート内で知り得た情報について、決して第三者に口外しないよう、お願いします。

「第三者への口外」に含まれる例

- 口頭、電話、メール等で友人・知人に話す
- SNSやブログ、掲示板等に書き込む
- その他、手段を問わず、情報を第三者に伝達する行為

注意事項

- 複数のアンケート画面を同時に開くと、正常に回答できません。
アンケートはひとつずつ、回答ください。
- アンケートへの回答は、「動作環境」に記載の環境からお願いします。
- 本アンケートは、回答を中断してから1時間以内は中断した質問から再開可能です。
(システム緊急対応等により再開できない場合もありますので、予めご了承ください。)
- 回答結果は、当社の「個人情報保護方針」に基づき、性別・年齢・居住都道府県等を付記した上で、本アンケートの依頼主に提供されます。
アンケート内で個別に同意を得ない限り、氏名・メールアドレス等の個人を特定できる情報を提供することはありません。

上記の内容をご確認いただき、同意してご協力いただける場合のみ、「同意し、アンケート開始」を押してアンケートを開始してください。

同意し、アンケート開始

このアンケートでは、動画（音声付き）をご覧ください。質問がある場合があります。動画がみられる設定、音声が聞こえる設定にしてからアンケートを開始してください。動画はスマートフォンやアプリからもご覧いただけます。

また、このアンケートでは、動画を1本（合計15分程度）ご覧いただきますので、お時間のある時にご回答をお願いします。

次へ

SC1
必須

居住地をお選びください。

- | | | |
|----------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="radio"/> 1.葛飾区以外 | <input type="radio"/> 53.新小岩1丁目 | <input type="radio"/> 105.東新小岩2丁目 |
| <input type="radio"/> 2.青戸1丁目 | <input type="radio"/> 54.新小岩2丁目 | <input type="radio"/> 106.東新小岩3丁目 |
| <input type="radio"/> 3.青戸2丁目 | <input type="radio"/> 55.新小岩3丁目 | <input type="radio"/> 107.東新小岩4丁目 |
| <input type="radio"/> 4.青戸3丁目 | <input type="radio"/> 56.新小岩4丁目 | <input type="radio"/> 108.東新小岩5丁目 |
| <input type="radio"/> 5.青戸4丁目 | <input type="radio"/> 57.高砂1丁目 | <input type="radio"/> 109.東新小岩6丁目 |
| <input type="radio"/> 6.青戸5丁目 | <input type="radio"/> 58.高砂2丁目 | <input type="radio"/> 110.東新小岩7丁目 |
| <input type="radio"/> 7.青戸6丁目 | <input type="radio"/> 59.高砂3丁目 | <input type="radio"/> 111.東新小岩8丁目 |
| <input type="radio"/> 8.青戸7丁目 | <input type="radio"/> 60.高砂4丁目 | <input type="radio"/> 112.東立石1丁目 |
| <input type="radio"/> 9.青戸8丁目 | <input type="radio"/> 61.高砂5丁目 | <input type="radio"/> 113.東立石2丁目 |
| <input type="radio"/> 10.奥戸1丁目 | <input type="radio"/> 62.高砂6丁目 | <input type="radio"/> 114.東立石3丁目 |
| <input type="radio"/> 11.奥戸2丁目 | <input type="radio"/> 63.高砂7丁目 | <input type="radio"/> 115.東立石4丁目 |
| <input type="radio"/> 12.奥戸3丁目 | <input type="radio"/> 64.高砂8丁目 | <input type="radio"/> 116.東堀切1丁目 |
| <input type="radio"/> 13.奥戸4丁目 | <input type="radio"/> 65.宝町1丁目 | <input type="radio"/> 117.東堀切2丁目 |
| <input type="radio"/> 14.奥戸5丁目 | <input type="radio"/> 66.宝町2丁目 | <input type="radio"/> 118.東堀切3丁目 |
| <input type="radio"/> 15.奥戸6丁目 | <input type="radio"/> 67.立石1丁目 | <input type="radio"/> 119.東水元1丁目 |
| <input type="radio"/> 16.奥戸7丁目 | <input type="radio"/> 68.立石2丁目 | <input type="radio"/> 120.東水元2丁目 |
| <input type="radio"/> 17.奥戸8丁目 | <input type="radio"/> 69.立石3丁目 | <input type="radio"/> 121.東水元3丁目 |
| <input type="radio"/> 18.奥戸9丁目 | <input type="radio"/> 70.立石4丁目 | <input type="radio"/> 122.東水元4丁目 |
| <input type="radio"/> 19.お花茶屋1丁目 | <input type="radio"/> 71.立石5丁目 | <input type="radio"/> 123.東水元5丁目 |
| <input type="radio"/> 20.お花茶屋2丁目 | <input type="radio"/> 72.立石6丁目 | <input type="radio"/> 124.東水元6丁目 |
| <input type="radio"/> 21.お花茶屋3丁目 | <input type="radio"/> 73.立石7丁目 | <input type="radio"/> 125.東四つ木1丁目 |
| <input type="radio"/> 22.金町1丁目 | <input type="radio"/> 74.立石8丁目 | <input type="radio"/> 126.東四つ木2丁目 |
| <input type="radio"/> 23.金町2丁目 | <input type="radio"/> 75.新宿1丁目 | <input type="radio"/> 127.東四つ木3丁目 |
| <input type="radio"/> 24.金町3丁目 | <input type="radio"/> 76.新宿2丁目 | <input type="radio"/> 128.東四つ木4丁目 |
| <input type="radio"/> 25.金町4丁目 | <input type="radio"/> 77.新宿3丁目 | <input type="radio"/> 129.細田1丁目 |
| <input type="radio"/> 26.金町5丁目 | <input type="radio"/> 78.新宿4丁目 | <input type="radio"/> 130.細田2丁目 |
| <input type="radio"/> 27.金町6丁目 | <input type="radio"/> 79.新宿5丁目 | <input type="radio"/> 131.細田3丁目 |
| <input type="radio"/> 28.金町浄水場 | <input type="radio"/> 80.新宿6丁目 | <input type="radio"/> 132.細田4丁目 |
| <input type="radio"/> 29.鎌倉1丁目 | <input type="radio"/> 81.西亀有1丁目 | <input type="radio"/> 133.細田5丁目 |
| <input type="radio"/> 30.鎌倉2丁目 | <input type="radio"/> 82.西亀有2丁目 | <input type="radio"/> 134.堀切1丁目 |

- | | | |
|--------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|
| <input type="radio"/> 31.鎌倉3丁目 | <input type="radio"/> 83.西亀有3丁目 | <input type="radio"/> 135.堀切2丁目 |
| <input type="radio"/> 32.鎌倉4丁目 | <input type="radio"/> 84.西亀有4丁目 | <input type="radio"/> 136.堀切3丁目 |
| <input type="radio"/> 33.亀有1丁目 | <input type="radio"/> 85.西新小岩1丁目 | <input type="radio"/> 137.堀切4丁目 |
| <input type="radio"/> 34.亀有2丁目 | <input type="radio"/> 86.西新小岩2丁目 | <input type="radio"/> 138.堀切5丁目 |
| <input type="radio"/> 35.亀有3丁目 | <input type="radio"/> 87.西新小岩3丁目 | <input type="radio"/> 139.堀切6丁目 |
| <input type="radio"/> 36.亀有4丁目 | <input type="radio"/> 88.西新小岩4丁目 | <input type="radio"/> 140.堀切7丁目 |
| <input type="radio"/> 37.亀有5丁目 | <input type="radio"/> 89.西新小岩5丁目 | <input type="radio"/> 141.堀切8丁目 |
| <input type="radio"/> 38.小菅1丁目 | <input type="radio"/> 90.西水元1丁目 | <input type="radio"/> 142.水元1丁目 |
| <input type="radio"/> 39.小菅2丁目 | <input type="radio"/> 91.西水元2丁目 | <input type="radio"/> 143.水元2丁目 |
| <input type="radio"/> 40.小菅3丁目 | <input type="radio"/> 92.西水元3丁目 | <input type="radio"/> 144.水元3丁目 |
| <input type="radio"/> 41.小菅4丁目 | <input type="radio"/> 93.西水元4丁目 | <input type="radio"/> 145.水元4丁目 |
| <input type="radio"/> 42.柴又1丁目 | <input type="radio"/> 94.西水元5丁目 | <input type="radio"/> 146.水元5丁目 |
| <input type="radio"/> 43.柴又2丁目 | <input type="radio"/> 95.西水元6丁目 | <input type="radio"/> 147.水元公園 |
| <input type="radio"/> 44.柴又3丁目 | <input type="radio"/> 96.東金町1丁目 | <input type="radio"/> 148.南水元1丁目 |
| <input type="radio"/> 45.柴又4丁目 | <input type="radio"/> 97.東金町2丁目 | <input type="radio"/> 149.南水元2丁目 |
| <input type="radio"/> 46.柴又5丁目 | <input type="radio"/> 98.東金町3丁目 | <input type="radio"/> 150.南水元3丁目 |
| <input type="radio"/> 47.柴又6丁目 | <input type="radio"/> 99.東金町4丁目 | <input type="radio"/> 151.南水元4丁目 |
| <input type="radio"/> 48.柴又7丁目 | <input type="radio"/> 100.東金町5丁目 | <input type="radio"/> 152.四つ木1丁目 |
| <input type="radio"/> 49.白鳥1丁目 | <input type="radio"/> 101.東金町6丁目 | <input type="radio"/> 153.四つ木2丁目 |
| <input type="radio"/> 50.白鳥2丁目 | <input type="radio"/> 102.東金町7丁目 | <input type="radio"/> 154.四つ木3丁目 |
| <input type="radio"/> 51.白鳥3丁目 | <input type="radio"/> 103.東金町8丁目 | <input type="radio"/> 155.四つ木4丁目 |
| <input type="radio"/> 52.白鳥4丁目 | <input type="radio"/> 104.東新小岩1丁目 | <input type="radio"/> 156.四つ木5丁目 |

次へ

■動画が見られる設定、音声聞こえる設定にしてから再生ボタンを押して動画をご覧ください。

X2

葛飾区都市計画マスタープランの改定について



※通信環境によっては再生できない、または再生に時間がかかる場合があります。
※動画が再生されない場合、再度再生ボタンを押した上でしばらくお待ちください。
※必ずクリックし、動画をご覧になってからお進みください。

次へ

Q1
必須

葛飾区内での居住年数をお選びください。

- 1. 1年未満
- 2. 1～3年未満
- 3. 3～5年未満
- 4. 5～10年未満
- 5. 10年以上

次へ

Q2 同居しているお子様について当てはまるものを全て選択してください。
必須 (いくつでも)

- 1.小学校入学前
- 2.小学生
- 3.中学生
- 4.高校生
- 5.大学生
- 6.社会人
- 7.その他 (回答必須)(入力制限なし)(200文字まで)
- 8.子供はいないもしくは同居していない(排他)

次へ

Q3 将来にわたって残したい葛飾らしさはどれですか？
必須 (3つまで)

- 1.下町人情あふれ住民参加や地域交流がさかん
- 2.バスや鉄道等の公共交通が充実
- 3.公園・緑地、みどりが豊かなまち
- 4.河川等の水辺空間、親水空間
- 5.買い物に便利
- 6.閑静で落ち着いた住宅地
- 7.寺社仏閣
- 8.スポーツ施設
- 9.裏路地で遊ぶ子どもたち
- 10.生活の場と働く場が近くにある町工場
- 11.昭和感が残る個人商店や飲み屋街
- 12.人の目線の高さ、ヒューマンスケールに配慮した街並み
- 13.平坦で自転車利用が多い
- 14.その他 (回答必須)(入力制限なし)(200文字まで)

次へ

Q4 まちづくりの目標で重要と思うものはどれですか？
必須 (2つまで)

※より考えに近いものをお選びください。

- 1. 様々な自然災害に対応し、被災を繰り返さないまち
- 2. 人々が集い、憩える、にぎわいある魅力的なまち
- 3. 安全で、移動しやすい交通環境が整備されたまち
- 4. 誰もが親しめる、河川や緑豊かな都市環境が広がるまち
- 5. 多様な主体が協働し、豊かな地域社会を構築するまち

次へ

Q5 50年程度先の理想のまちの姿を描いた理想像についてどう思いますか？
必須

- 1. 良い
- 2. おおむね良い
- 3. どちらでもない
- 4. あまり良くない
- 5. 悪い

次へ

Q6 地域構造の「豊かな水や緑を保全するエリア」では、低層・低密度で緑豊かなゆとりある住宅地や農地を保全していくことについてどう思いますか？
必須

- 1. 良い
- 2. おおむね良い
- 3. どちらでもない
- 4. あまり良くない
- 5. 悪い

次へ

Q7 地域構造の「高台化など浸水対応を促進するエリア」では、自宅などの建物を建替える際、洪水時に2・3階へ避難できるなど、浸水に対応した建物にすることについてどう思いますか？
必須

- 1.良い
- 2.おおむね良い
- 3.どちらでもない
- 4.あまり良くない
- 5.悪い

次へ

Q8 「防災まちづくりの方針」で特に重要と思う取組はどれですか？
(2つまで)
必須

※より考えに近いものをお選びください。

- 1.密集市街地の改善
- 2.幹線道路等の拡幅、沿道建築物の不燃化による延焼の防止
- 3.河川の氾濫等による水害時に避難できる中高層建築物や高台の整備
- 4.排水能力を超える集中豪雨等による浸水被害、いわゆる都市型水害の緩和
- 5.河川堤防の強化
- 6.かまどベンチや防災倉庫などの防災設備を備えた公園の整備・充実
- 7.災害に強い公共施設やライフライン施設等の整備・充実
- 8.避難場所・避難経路等の確保

次へ

Q9 「土地利用の方針」で特に重要と思う取組はどれですか？
必須 (2つまで)

※より考えに近いものをお選びください。

- 1.低層の戸建て住宅中心の緑豊かでゆとりある住環境の保全
- 2.中低層の住宅と商業・業務等施設が調和した利便性の高い市街地の形成
- 3.既存の町工場と周辺の居住環境が調和した市街地の形成
- 4.幹線道路沿道における中高層の商業・業務施設の立地誘導
- 5.主要駅周辺の広域的な商業・業務機能の集積（新小岩駅、金町駅、亀有駅、立石駅、高砂駅）
- 6.日常生活を支える商店街の活性化や地域の核となる施設の活用
- 7.周辺市街地に安全や賑わいを提供するよう工場跡地等の土地利用を誘導
- 8.車に依存せず、鉄道駅や身近な施設を中心として歩いて暮らせるまちづくり

次へ

Q10 「市街地整備の方針」で特に重要と思う取組はどれですか？
必須 (2つまで)

※より考えに近いものをお選びください。

- 1.商業・業務施設等の導入や道路・公園等の基盤整備を実現する市街地開発
- 2.エネルギーの有効活用や緑の保全・創出など環境に配慮した市街地開発
- 3.地域のPRやルールづくり、賑わい創出など地域の価値を維持・増進するための住民主体の活動・エリアマネジメントの促進
- 4.密集市街地の改善など地域の課題を解決する地区計画等のまちづくりのルールにより、土地利用の規制・誘導を推進
- 5.空家対策、集合住宅建設時の周辺環境への配慮など良好な住環境の整備
- 6.住宅と工場が混在する地域における防災性の向上や市街地環境の改善
- 7.豊富な自然や歴史・文化・観光等の地域資源を活用した賑わい創出や回遊性の向上
- 8.河川沿いの散策路や商店街等における歩いて楽しい都市空間の整備

次へ

Q11 「交通体系整備の方針」で特に重要と思う取組はどれですか？
必須 (2つまで)

※より考えに近いものをお選びください。

- 1.都市の骨格を形成する幹線道路の整備
- 2.幅員の狭い生活道路の拡幅（幅員4m以上を確保）
- 3.道路と鉄道の連続立体交差事業の推進
- 4.新金線旅客化など南北方向の鉄道網の充実
- 5.バス交通網の充実、バス停等におけるバス利用者の利便性向上
- 6.シェアサイクルやキックボード、小型モビリティ等様々な交通手段の活用
- 7.交通機能を強化する駅前広場の整備、地域の顔となる駅前空間づくり
- 8.バリアフリー化や分かりやすい案内表示など誰もが使いやすい駅周辺の整備
- 9.歩きやすく、安全・快適な歩行空間の整備
- 10.自転車の通行環境、駐輪場の整備

次へ

Q12 「緑と水辺の整備、景観形成の方針」で特に重要と思う取組はどれですか？
必須 (2つまで)

※より考えに近いものをお選びください。

- 1.地域の魅力・居住環境の向上や防災・減災等、社会の課題解決につながる市街地内の緑とオープンスペースの活用
- 2.駅周辺や公園が不足する地域における、身近な公園や広場等の配置
- 3.地域特性や利用者ニーズに応じた特色ある公園の整備
- 4.地域住民など多様な主体との協働による公園の管理運営
- 5.河川等の水辺空間の充実（水辺にある公園の機能充実、川沿いの散策路やテラスの整備・活用）
- 6.河川等の水辺環境の改善、生物多様性への配慮
- 7.幹線道路や地域のシンボルとなる道路の景観形成
- 8.駅周辺や大規模施設等におけるランドマークの形成や親しみやすいヒューマンスケールにも配慮した景観形成
- 9.観光拠点等における景観形成（柴又や堀切菖蒲園、市街地内の歴史資源等）
- 10.住宅地等における良好な街並み景観の誘導

次へ

Q13 「復興まちづくりの方針」で特に重要と思う取組はどれですか？
必須 (2つまで)

※より考えに近いものをお選びください。

- 1.災害から復興の際、被災を繰り返さないまちを目指すために、区民・事業者・区が、復興まちづくり方針を事前に共有
- 2.万一の災害時に、地域協働で行う都市と住まいの復興
- 3.万一の災害時に、従前からの地域コミュニティを維持しながら復興に取り組める仮のまちの形成
- 4.平時からの、区職員、区民、事業者等の事前復興に対する意識の向上
- 5.被災を想定し、平時から地域における復興体制と手順を考える復興まちづくり訓練の実施
- 6.区と区民が協働して取り組む復興まちづくりの手順を定めた震災復興マニュアルの充実
- 7.災害からの復興時に必要不可欠な土地の境界確認を平時から実施しておく地籍調査の推進

次へ

Q14 水元・金町・新宿地域の将来像「賑わいと活力ある拠点の形成と豊かな自然環境に恵まれ、都市の利便性・快適性を享受できる住み良いまち」についてどう思いますか？

- 1.良い
- 2.おおむね良い
- 3.どちらでもない
- 4.あまり良くない
- 5.悪い
- 6.水元・金町・新宿地域について知らない

次へ

Q15 柴又・高砂地域の将来像「魅力ある歴史的景観資源と駅周辺の都市機能創出による賑わいある多世代が暮らしたくなる水辺のまち」についてどう思いますか？

- 1.良い
- 2.おおむね良い
- 3.どちらでもない
- 4.あまり良くない
- 5.悪い
- 6.柴又・高砂地域について知らない

次へ

Q16 必須 亀有・小菅・堀切・お花茶屋地域の将来像「広域拠点を中心に世代を越えた人々が集い、商業の賑わいと安全・快適で住み続けたい、自然と歴史を残すふるさとのまち」についてどう思いますか？

- 1.良い
- 2.おおむね良い
- 3.どちらでもない
- 4.あまり良くない
- 5.悪い
- 6.亀有・小菅・堀切・お花茶屋地域について知らない

次へ

Q17 必須 青戸・立石・四つ木地域の将来像「区の一部として活気にあふれ、暮らしとなりわいが共生し、様々な世代が安全・快適に暮らせる、水と緑が身近に感じられるまち」についてどう思いますか？

- 1.良い
- 2.おおむね良い
- 3.どちらでもない
- 4.あまり良くない
- 5.悪い
- 6.青戸・立石・四つ木地域について知らない

次へ

Q18 奥戸・新小岩地域の将来像「世代間交流が盛んで魅力的な広域拠点の形成と親水と浸水が両立した災害に強く緑が充実したまち」についてどう思いますか？
必須

- 1.良い
- 2.おおむね良い
- 3.どちらでもない
- 4.あまり良くない
- 5.悪い
- 6.奥戸・新小岩地域について知らない

次へ

Q19 水元・金町・新宿地域で特に重要と思う取組はどれですか？
必須

※より考えに近いものをお選びください。

- 1.金町駅周辺の再開発や回遊性の確保、エリアマネジメントなどによる賑わい創出
- 2.新宿の教育、福祉、良質な居住空間等、多様な機能が集積する生活拠点の形成
- 3.水元公園の緑や水辺をはじめとする豊かな自然環境の保全や活用
- 4.農地や街なかの緑の維持・保全
- 5.駅周辺の乗り換え機能の強化や地域全体の交通利便性の向上
- 6.分からない

次へ

Q20 柴又・高砂地域で特に重要と思う取組はどれですか？

必須

※より考えに近いものをお選びください。

- 1.高砂駅周辺の道路・駅前広場の整備や商業・業務機能の誘導、地域活動の促進などによる賑わいづくり
- 2.京成本線の連続立体交差事業の早期実現
- 3.柴又駅周辺の観光と良好な生活環境が共存する生活拠点の形成
- 4.密集市街地における防災まちづくりや住環境の改善の検討
- 5.柴又地域における風景・街並みの保全
- 6.分からない

次へ

Q21 亀有・小菅・堀切・お花茶屋地域で特に重要と思う取組はどれですか？

必須

※より考えに近いものをお選びください。

- 1.亀有駅周辺における地元商店街と大規模店舗が一体となった賑わいの創出
- 2.お花茶屋駅周辺での商業環境の向上や密集市街地の改善
- 3.堀切菖蒲園駅周辺の不燃化・耐震化の促進と交通環境の改善や路地裏空間等の地域らしい風情の維持・保全
- 4.隣接区との連携による綾瀬駅周辺でのまちづくりの検討
- 5.点在する寺社、曳舟川親水公園や堀切菖蒲園等の地域資源を生かした魅力づくりや回遊性の向上
- 6.分からない

次へ

Q22 青戸・立石・四つ木地域で特に重要と思う取組はどれですか？

必須

※より考えに近いものをお選びください。

- 1.交通渋滞、地域分断の解消に向けた京成押上線の連続立体交差事業の推進と高架下の有効活用
- 2.立石駅周辺での再開発による公益サービスなどの充実やアクセス性の向上とエリアマネジメントの推進
- 3.青砥駅周辺での商業・文化施設などを生かしたまちづくりの機運の醸成と安全性・利便性の向上
- 4.四つ木駅周辺での身近な生活サービス提供の場となる生活拠点の形成と駅前空間の整備
- 5.木造住宅密集地域の改善に向けた防災まちづくり
- 6.河川と一体となった回遊性の高い空間づくりと地域活動による魅力の向上
- 7.分からない

次へ

Q23 奥戸・新小岩地域で特に重要と思う取組はどれですか？

必須

※より考えに近いものをお選びください。

- 1.新小岩駅周辺の多様な都市機能の誘導や回遊性の向上とエリアマネジメントの推進
- 2.浸水に対応する拠点高台の整備などによる水害に強いまちづくり
- 3.地域危険度の高い地域における不燃化や共同化、道路や防災活動拠点等の整備による防災性の向上
- 4.河川空間の機能充実や水辺を活用した地域活動による賑わい創出
- 5.良好な農地の保全・活用や公園の整備、道路沿道の緑化の促進による緑豊かな市街地の形成
- 6.分からない

次へ

Q24 葛飾区都市計画マスタープランに期待すること、今回の説明動画やアンケートについてお気づきの点など、ご意見がございましたら、お願いします。

(文字数制限なし)

次へ

アンケートにご回答いただき、ありがとうございました。

【普段の生活に関するアンケート】の獲得ポイント

〇〇ポイント

閉じる

JRA あなたの中に未来がある。
一般社団法人 日本マーケティングリサーチ協会
正会員 No. 20168

4-2. 自由記入欄の整理

各設問の自由記入欄を抜粋・要約した。

⇒：複数見受けられる意見のうち、他の設問で是非や需要度を聞いていない、素案にない事項等

→：特徴的な項目

問3 将来にわたって残したい葛飾らしさはどれですか？【その他記入欄】(合計 21 件)

⇒物価の安さ (物価が安い、庶民的な物の価格、安い)

問24 葛飾区都市計画マスタープランに期待すること、今回の説明動画やアンケートについてお気づきの点など、ご意見がございましたら、お願いします。【自由記述】(合計 386 件)

<全体構想等素案>

⇒下町の雰囲気を残してほしい

- ・立石駅周辺の飲食店や街並み
- ・下町の良さ
- ・下町情緒あふれる昔ながらの街並み
- ・古き良き空気感、下町感
- ・昔のままのなつかしい雰囲気

⇒画一的で同じにならない景観を考えてほしい

<地域別構想等素案>

⇒金町駅自体の改良、改札の増設 (金町)

⇒お花茶屋駅周辺の活性化、改善、高架化

→細田地域の具体的なプランが見られない

⇒区民に考え方を伝えてほしい (広報かつしか)

⇒歩道が狭く、改善してほしい (亀有・小菅・堀切・お花茶屋)

⇒立石駅にエレベーターがなく、バリアフリー化してほしい (立石)

<説明動画>

⇒動画が長い、堅苦しい

⇒ナレーションに工夫が必要

- ・単調すぎるのでテンションを上げる
- ・淡々とし過ぎ、一本調子、抑揚をつけて
- ・音声が古い
- ・ナレーターのリズムを上げて
- ・もう少し早く話した方が中だるみしない

	合計件数	割合
意見・感想・疑問	107	28%
都市計画に関連する要望・提案	166	43%
アンケートや周知など伝え方に関連する意見	26	7%
その他	9	2%
特になし	78	20%
合計	386	100%

	意見・感想・疑問	都市計画に関連する要望・提案	アンケートや周知など伝え方に関連する意見	その他	特になし	合計件数	割合
水元・金町・新宿	22	32	3	4	16	77	20%
柴又・高砂	18	23	3	0	16	60	16%
亀有・小菅・堀切・お花茶屋	22	49	6	1	20	98	25%
青戸・立石・四つ木	22	34	9	2	13	80	21%
奥戸・新小岩	23	28	5	2	13	71	18%
合計	107	166	26	9	78	386	100%

	意見・感想・疑問	都市計画に関連する要望・提案	アンケートや周知など伝え方に関連する意見	その他	特になし	合計件数	割合
20代以下	13	15	3	0	16	47	12%
30～40代	59	113	14	7	35	228	59%
50代	35	38	9	2	27	111	29%
合計	107	166	26	9	78	386	100%

		意見・感想・疑問	都市計画に関連する要望・提案	アンケートや周知など伝え方に関連する意見	その他	特になし	合計件数	割合
水元・金町・新宿	20代以下	5	2	0	0	3	10	13%
	30～40代	12	23	1	3	6	45	58%
	50代	5	7	2	1	7	22	29%
	小計	22	32	3	4	16	77	100%
柴又・高砂	20代以下	3	1	0	0	4	8	13%
	30～40代	9	17	2	0	7	35	58%
	50代	6	5	1	0	5	17	28%
	小計	18	23	3	0	16	60	100%
亀有・小菅・堀切・お花茶屋	20代以下	4	4	0	0	6	14	14%
	30～40代	13	34	2	1	9	59	60%
	50代	5	11	4	0	5	25	26%
	小計	22	49	6	1	20	98	100%
青戸・立石・四つ木	20代以下	1	5	2	0	2	10	13%
	30～40代	14	23	6	1	6	50	63%
	50代	7	6	1	1	5	20	25%
	小計	22	34	9	2	13	80	100%
奥戸・新小岩	20代以下	0	3	1	0	1	5	7%
	30～40代	11	16	3	2	7	39	55%
	50代	12	9	1	0	5	27	38%
	小計	23	28	5	2	13	71	100%
合計		107	166	26	9	78	386	

葛飾区 若者・子育て・現役世代アンケート調査報告書
令和4年10月発行

発行：葛飾区 都市整備部 都市計画課
〒124-8555 葛飾区立石 5-13-1
電話：03-6657-6583